

^{デジタルカメラ} COOLPIX A1000 活用ガイド



- 製品をお使いになる前に本書をよくお読みください。
- 「安全上のご注意」(vi ページ)も必ずお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

Jp

肻 見たいページを探す

閲覧中のページで右下の 🎧 をタッチまたはクリックすると、いつでもこのページ に戻れます。

目次項目から探す

はじめに	iii
目次	x
各部の名称	1
撮影の準備	
撮影と再生の基本操作	
いろいろな撮影	
いろいろな再生	83
動画	
テレビ、プリンター、パソコンとの接続	
メニューを使う	
資料	













故障かな?

と思ったら





はじめに

はじめにお読みください

このたびは、COOLPIX A1000をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書の記載について

- ページ右下の るをタッチまたはクリックすると「見たいページを探す」(口ii) を表示します。
- 本文中のマークについて

マーク	意味
V	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたい ことを記載しています。
I	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
	関連情報が記載されているページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「メモリーカード」と表記することがあります。
- スマートフォンおよびタブレットを「スマートフォン」と表記することがあります。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- カメラの画面に表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、 メッセージなどは、[]で囲って表記しています。
- 本書では、画面上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。





ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影(結婚式や海外旅行など)の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正 常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損 害(撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等)についての補償はご 容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー(電池、バッテリーチャージャー、ACアダプ ター、USBケーブル)に適合するように作られていますので、当社製品との組み 合わせでお使いください。

- 専用Li-ionリチャージャブルバッテリーには、ニコン純正品を 示すホログラムシールが貼られています。
- ・ 模倣品の Li-ion リチャージャブルバッテリーをお使いになる と、カメラの十分な性能が出せないことや、電池の異常な発熱 や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。



他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能
 性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●説明書について

- 説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 「使用説明書」が破損などで判読できなくなったときは、PDFファイルを下記の ウェブサイトからダウンロードできます。 https://downloadcenter.nikonimglib.com
 ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます(有料)。
- 印刷した「活用ガイド」をご注文いただけます(有料)。詳細はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。



はじめにお読みください

●著作権について

カメラで著作物を撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著 作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、個人として楽しむなどの目的 であっても、実演や興行、展示物などは、撮影や録音が制限されている場合があ りますのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー(メモリーカード/カメラ内蔵メモリーを含む)内のデータはカメラやパ ソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄し た後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要な データが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任 において管理してください。

譲渡/廃棄前に、必ず、セットアップメニュー(□120)の[設定クリアー]でカ メラの各種設定を初期化してください。初期化後、市販のデータ削除専用ソフト ウェアなどを使ってメモリー内のデータを完全に削除するか、セットアップメ ニュー(□120)の[メモリーの初期化]または[カードの初期化]でメモリー を初期化後、メモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをお すすめします。メモリーカードを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況 やけがなどに十分ご注意ください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

(VCCIマークは以下の操作で画面に表示されます。MENU ボタンを押す → ¥メ ニューアイコン → 認証マークの表示 → ∞ボタン)

VCCI-B



🖌 はじめに

はじめにお読みください

安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用の前に 「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。 この説明書をお読みになった後は、いつでも参照できるように保管してください。



お守りいただく内容を、以下の図記号で区分しています。



は、実行しなければならない内容です。

	警告
--	----

\bigcirc	禁止	歩きながらや運転・操縦しながらの操作はしない 事故やけがの原因になります。
	分解 禁止	分解、修理または改造をしない 落下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない 感電やけがの原因になります。
0	実行	熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちに電池や電 源を取り外す 放置すると、発火、やけどの原因になります。
\bigcirc	禁止	水でぬらさない ぬれた手で触らない ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電や発火の原因になります。



安全上のご注意

vi



○ 禁止	電源を入れたまま長時間直接触らない 低温やけどの原因になります。
◎ 禁止	引火、爆発のおそれのある場所では使わない プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉 塵の発生する場所で使うと、爆発や発火の原因になります。
│ 禁止	フラッシュを運転者に向けて発光しない 事故の誘発につながります。
◎ 禁止	幼児の手の届くところに置かない 故障やけがの原因になります。 小さな付属品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。 飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。
│ 禁止	ストラップ類を首に巻きつけない 事故の原因になります。
○ 禁止	指定外の電池、充電器、ACアダプター、USBケーブルは使わない 指定の電池、充電器、ACアダプター、USBケーブルを使う際は、 以下の点に注意する ・ コードやケーブルを傷つけたり、加工したりしない。 重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、無理に曲げ たりしない ・ 海外旅行者用電子式変電圧器(トラベルコンバーター)や DC/ ACインバーターなどの電源に接続して使わない 発火、感電の原因になります。
│ 禁止	充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグ に触らない 感電の原因になります。
⑧ 接触 禁止	高温環境や低温環境では、直接触らない やけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。

🕂 注意



レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

禁止 集光して、内部部品の破損や発火の原因になることがあります。 逆光撮影では、太陽を画角から十分にずらしてください。

 vii



	実行	使用が禁止されている場所では、電源をOFFにする 無線通信が禁止されている場所では、無線通信機能が作動しな いようにする 医療機関や航空機内では、本機器が出す電磁波が、周囲の機器に 悪影響を与えるおそれがあります。
0	実行	長時間使わないときは、電池やACアダプターを取り外す 故障や発火の原因になります。
	接触 禁止	レンズなどの可動部には触らない けがの原因になります。
	接触 禁止	フラッシュを人体やものに密着させて発光させない やけどや発火の原因になります。
\bigcirc	禁止	夏場の車内や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない 故障や発火の原因になります。
\bigcirc	禁止	三脚などにカメラを取り付けたまま移動しない 故障やけがの原因になります。



電池は誤った使いかたをしない

注意事項を無視してお使いになると、液もれ、発熱、破裂、発火の 原因になります。



- 電池を火の中に入れたり、加熱したりしない
- 電池を分解しない
 - 電池をネックレスやヘアピンなどの金属類に接触させて ショート(短絡)しない
 - 電池、または電池の入った製品に強い衝撃を与えたり、投げたりしない

実行 指定の方法で充電する

液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗 い流し、医師の診察を受ける 放置すると、目に傷害を与える原因になります。



安全上のご注意

禁止

viii





│ 禁止	電池を乳幼児の手の届く所に置かない 飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。
◎ 禁止	水につけたり、雨にぬらしたりしない 発火や故障の原因になります。 ぬれてしまったら、乾いたタオルなどで十分にふき取ってくだ さい。
│ 禁止	変色・変形、そのほか異状に気づいたら使わない リチャージャブルバッテリー EN-EL12は、所定の時間を超えて も充電が完了しなければ、充電を中止する 放置すると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。
〔 〕 実行	使用済みの電池は、ビニールテーブなどで接点部を絶縁する 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因になります。
() 実行	電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたら、すぐにきれいな水 で洗い流す 放置すると、皮膚のかぶれなどの原因になります。





目次

見たいページを探す	ii
目次項目から探す	ii
目的から探す	ii
はじめに	iii
はじめにお読みください	iii
本書の記載について	iii
で確認ください	iv
安全上のご注意	vi
各部の名称	1
カメラ本体	
操作部別機能一覧	4
タッチパネルの操作方法	7
画像モニター / 電子ビューファインダーの表示内容	
撮影画面の表示内容	
再生画面の表示内容	13
撮影の準備	14
撮影の準備 ストラップの取り付け方	14
撮影の準備ストラップの取り付け方 電池とメモリーカードを入れる	14 15 16
撮影の準備 ストラップの取り付け方 電池とメモリーカードを入れる	
撮影の準備 ストラップの取り付け方 電池とメモリーカードを入れる 電池やメモリーカードを取り出すには 電池を充電する	
 撮影の準備	14 15 16 16 16 17 17 19
撮影の準備 ストラップの取り付け方 電池とメモリーカードを入れる 電池やメモリーカードを取り出すには 電池を充電する 画像モニターの角度を変える 電源を ON にして、カメラをセットアップする	14 15 16 16 17 19 20
撮影の準備ストラップの取り付け方 電池とメモリーカードを入れる 電池やメモリーカードを取り出すには 電池を充電する 画像モニターの角度を変える 電源を ON にして、カメラをセットアップする 撮影と再生の基本操作	
 撮影の準備	14 15 16 16 17 19 20 22 22 23
撮影の準備 ストラップの取り付け方 電池とメモリーカードを入れる 電池やメモリーカードを取り出すには 電池を充電する	14 15 16 16 17 19 20 22 23 23 25
 撮影の準備	14 15 16 16 17 19 20 22 23 23 25 25
 撮影の準備	14 15 16 16 17 19 20 22 23 25 25 25 26
 撮影の準備	14 15 16 16 17 19 20 22 23 25 25 25 26 26 26
 撮影の準備	14 15 16 16 17 19 20 22 23 25 25 25 26 26 26 26 27
 撮影の準備	14 15 16 16 17 19 20 22 23 25 25 25 26 26 26 26 27 28



h

いろいろな撮影	. 30
撮影モードを選ぶ	31
◘(オート撮影)モード	32
シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)	33
シーンモードのヒントとご注意	34
かんたんパノラマの撮影方法	42
かんたんパノラマの再生方法	44
ベストフェイスの撮影方法(顔をよりきれいに撮影する)	45
クリエイティブモード(効果を付けて撮影する)	51
P、S、A、M モード(露出を設定して撮影する)	53
露出設定のヒント	54
シャッタースピードの制御範囲(P、S、A、M モード時)	56
マルチセレクターで設定する撮影機能(\$/心/♥/☑)	57
フラッシュモード	58
セルフタイマー	61
フォーカスモード	63
マニュアルフォーカスの使い方	64
クリエイティブスライダーを使う	66
露出補正(明るさを調節する)	68
Fn(ファンクション)ボタンを使う	69
ズームを使う	70
タッチ撮影を使う	72
ピント合わせについて	73
シャッターボタンの半押しと全押し	73
ターゲットファインドAFについて	74
顔認識撮影について	75
オートフォーカスが苦手な被写体	76
フォーカスロック撮影	77
フラッシュモード、セルフタイマー、フォーカスモードの初期設定一覧…	78
撮影時に組み合わせて使えない機能	80

いろいろな再生	83
サムネイル表示 / カレンダー表示	
グループ画像の再生と削除	
グループ画像の再生方法	
グループ画像を削除する	



i	画像の編集(静止画)	88
		88
	簡単レタッチ (コントラストと鮮やかさを高める)	89
	D- ライティング (画像の暗い部分を明るく補正する)	89
	赤目補正(フラッシュ撮影による赤目を補正する)	90
	メイクアップ効果 (人物の顔をきれいに見せる)	90
	フィルター効果(デジタルフィルター)	. 92
	トリミング(画像の一部を切り抜く)	
動	画	95
1	動画の基本的な撮影と再生	96
1	動画撮影中に静止画を記録する	100
	タイムラプス動画を撮影する	101
	ショートムービーショーモード (つなげて作る短編動画)	103
1	動画再生中の操作	106
1	動画の編集	107
-	動画の必要な部分だけを切り出す	107
	動画の1フレームを静止画として保存する	108
テ	レビ、プリンター、パソコンとの接続 [.]	109
i	 画像の活用方法	110
	テレビで鑑賞する	111
	パソコンを使わずにプリントする	112
	カメラとプリンターを接続する	112
	1コマずつプリントする	113
	複数の画像をプリントする	114
	パソコンに画像を取り込む (ViewNX-i)	116
	ViewNX-iをインストールする	116
	パソコンに画像を取り込む	116
×:	ニューを使う	119
	ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	120
	画像選択画面の操作方法	122
		123
	撮影メニュー	123
	動画メニュー	124
	※二//	124
	- 19エッ - ユー 通信メニュー	125
	 ヤットアップメニュー	126
ł		127
	画質	127
	 画像サイズ	129





撮影メニュー (P、S、A、M モード)	130
ホワイトバランス(色合いの調整)	130
測光方式	133
連写	134
ISO感度設定	138
AEブラケティング	139
AFエリア選択	140
AFモード	143
	144
M モード露出反映表示	144
動画メニュー	145
➡	145
AFモード	150
動画手ブレ補正	151
3001 9 9 0 11 20	152
フレートレート設定	152
<u>再生メー</u> ユー	153
(3-2) 送信画像の指定	153
スライドショー	154
プロテクト設定	155
「「「」「」「」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」」「」」「」」」「」」」「」」」「」」」」	155
画像コピー(メモリーカードと内蔵メモリー間のコピー)	156
グループ表示設定	157
通信メニュー	158
之后,二二 文字入力画面の操作方法	160
ヤットアップメニュー	161
- 地域と日時	161
-2-3 (2017) モニター設定	163
FVFの自動切り換え(雷子ビューファインダーの自動切り換え)	165
日付写し込み	166
1.2.5 0 2 2 9 0 2	167
静止画手ブレ補正	168
AF補助光	169
電子ズーム	169
サイドズームレバー設定	170
AE-L/AF-Lボタン設定	171
操作音	172
オートパワーオフ	172
カード/メモリーの初期化(フォーマット)	173
言語/Language	174
HDMI 出力	174
パソコン接続充電	175





画像コメント	176
著作権情報	177
位置情報	178
 Av/Tv 操作切り換え	178
MFピーキング	179
設定クリアー	179
タッチ操作	179
認証マークの表示	180
バージョン情報	180

資料	1
無線通信機能についてのご注意18	2
取り扱い上のご注意	4
カメラについて	4
電池について	5
本体充電ACアダプターについて18	6
メモリーカードについて	7
お手入れ方法	8
クリーニングについて	8
保管について	8
警告メッセージ	9
故障かな?と思ったら	2
記録データのファイル名	3
使用できるアクセサリー	4
リモコン ML-L7	5
主な仕様	9
使用できるメモリーカード	3
索引	5
ニコンプラザについて	9
修理サービスのご案内	0
修理に関するお問い合わせ先	1
製品の使い方に関するお問い合わせ先	1



⑤ 目次

各部の名称

カメラ本体	2
操作部別機能一覧	4
タッチパネルの操作方法	7
画像モニター / 電子ビューファインダーの表示内容	10





カメラ本体



2	コマンドダイヤル	53
3	シャッターボタン24、	73
4	ズームレバー ₩:広角ズーム T:望遠ズーム 2:サムネイル表示 Q:拡大	70 70 70 85 84
5	撮影モードダイヤル23、	31
6	セルフタイマーランプ AF補助光1	61 69
7	フラッシュ25、	58







※ 本書では、マルチセレクターの上下左右を押す操作を▲▼◀▶と表記しています。



3

6 各部の名称

カメラ本体

操作部別機能一覧

操作部	主な機能		
は して、 して、 して、 して、 して、 して、 して、 して、	撮影時	撮影モードを選ぶ(口31)	
	撮影時	 ▼(Q)(望遠)側で被写体を大きく、W (☎)(広角)側で広い範囲を写す 	
※ ズームレバー	再生時	 ▼(Q)側で拡大表示、W(図)側で サムネイル/カレンダー表示する 動画再生の音量を調節する 	
「」 「」 「「」 ズームボタン	撮影時	一時的に画角(見える範囲)を広げる	
Т С Г Г Г Г Г Г Г Г	撮影時	 「サイドズームレバー設定」で割り当てた 機能を使う ・ズームレバー(初期設定):「(望遠) 側で被写体を大きく、W(広角)側で 広い範囲を写す ・MFレバー:フォーカスモードがMF(マ ニュアルフォーカス)時にピントを合 わせる ・絞り値、ISO感度、露出補正またはホワ イトバランスを設定する 	
	撮影時	半押し:ピントと露出を合わせる 全押し:シャッターをきる	
シャッターボタン	再生時	撮影に戻る	



ら 各部の名称

操作部別機能一覧

操作部	主な機能		
	撮影時	動画撮影を開始/終了する	
 ● (*果動画撮影) ボタン 	再生時	撮影に戻る	
	撮影時	 撮影画面の表示中: 以下の設定画面を表示する 上(▲):↓(フラッシュモード) 左(◀):◇(セルフタイマー) 下(▼): ○(セルフタイマー) 市(▼):○(電出補正/明るさ、鮮やかさ、色合い、アクティブD-ライティング) 撮影モードP時(□53):回転してブログラムシフトを設定する 撮影モードS時(□53):回転してシャッタースピードを設定する 	
x1052053-	再生時	 再生画面の表示中:上(▲)、左(◀)、 下(▼)、右(▶)、または回転で表示 画像を切り換える 拡大表示中:表示位置を移動する 	
	設定時	▲▼◀ ▶または回転で項目を選ぶ、 ・ のボ タンで選択を決定する	
	再生時	 グループ画像を1コマすつ表示する (口28) かんたんパノラマで撮影した画像をス クロール再生する 動画を再生する サムネイル表示/拡大表示から1コマ表 示に戻る 	
● (決定) ボタン	設定時	マルチセレクターで選んだ項目を、決定 する	



操作部別機能一覧

操作部		主な機能
\bigcirc	撮影時	 撮影モードP時(□53): プログラム シフトを設定する 撮影モードS、M時(□53): シャッ タースピードを設定する 撮影モードA時(□53): 絞り値を設 定する
コマンドダイヤル	再生時	 再生画面の表示中:表示画像を切り換える 拡大表示中:拡大率を切り換える
	設定時	項目を選ぶ
(MENU) MENU (メニュー) ボタン	撮影時/再生時	メニューを表示/終了する(囗120)
Fn ボタン	撮影時	撮影モード P、S、A、M 時: [連写] や [静止画手ブレ補正] などの設 定メニューを表示/終了する
AE-L AF-L 織 (AE-L/AF-L) ボタン	撮影時	[AE-L/AF-Lボタン設定]の設定にした がって、露出やピントを固定する
(ロ) (モニター) ボタン	撮影時/再生時	画像モニターと電子ビューファインダー を切り換える(口26)
	撮影時	画像を再生する(①27)
(再生) ボタン	再生時	 電源 OFF 時に長押しして、再生モード で電源を ON にする(CL27) 撮影に戻る
	撮影時	最後に保存した画像を1 コマ削除する (口28)
山 山 (削除) ボタン	再生時	画像を削除する(□28)



操作部別機能一覧



タッチパネルの操作方法

このカメラの画像モニターはタッチパネルになっており、指で画面に触れて操作 できます。

タップする

タッチパネルに触れて離す操作です。

- 撮影画面やメニュー画面などで、項目を選ぶ
- サムネイル表示中に画像を選ぶ
- 1コマ表示で素早く2回タップして、拡大表示する。 拡大表示で素早く2回タップして、拡大表示を解除 する

- タッチ撮影を使う
- キーボードで文字を入力する

以下の項目をタップできます(タップできる項目は、カメラの設定や状態によっ て異なります)。

- 撮影画面:グレーの枠が付いている部分など
- メニュー画面:メニュー切り換えアイコン、メニュー項目、グレーの枠が付い ている部分など



撮影画面

設定を変更しないで 前の画面に戻る



メニュー画面





フリックする

タッチパネルを、指で上下左右に払う操作です。

- 再生中(1コマ表示時)に前後の画像を表示する
- メニュー画面やサムネイル表示などで、画面をスク ロールする

スライドする

タッチパネルに触れたまま指を上下左右に動かして、 離す操作です。

- メニュー画面やサムネイル表示などで、画面をスク ロールする
- 画像の拡大表示中に表示範囲を移動する
- クリエイティブスライダーなどで、スライダーを操 作する
- 動画編集時に始点/終点を調節する

広げる/つまむ

タッチパネルに2本の指を触れたまま、指の間隔を広 げたり、つまむように狭めたりする操作です。

- サムネイル表示で表示コマ数を切り換える
- 再生中に画像を拡大/縮小する











6 各部の名称

タッチパネルの操作方法

▶ タッチパネルについてのご注意

- このカメラのタッチパネルは静電式です。爪でタッチしたり、手袋などをはめたまま タッチしたりすると反応しないことがあります。
- 先のとがった硬い物で押さないでください。
- タッチパネルを必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- 市販の保護フィルムを貼ると反応しないことがあります。

▶ タッチパネル操作時のご注意

- タッチするときに、指をタッチパネルに触れたままにしたり、タッチパネルの他の部分にも何かが触れていると、適切に動作しないことがあります。
- スライドするとき/広げるとき/つまむときに、以下の操作をすると、適切に動作しないことがあります。
 - タッチパネルを弾く
 - 指を動かす距離が短すぎる
 - タッチパネルを軽くなでるように指を動かす
 - 指を動かす速度が速すぎる
 - 広げるとき/つまむときに、2本の指のタイミングの差が大きい

ダ タッチ操作の有効/無効について

セットアップメニュー(CL120)の[**タッチ操作**]で、タッチ操作の有効/無効を切り換えられます。





画像モニター/電子ビューファインダーの表示内容

撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。 初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に消灯します([**モニター** 設定](□□163)→[**モニター表示設定**]→[**情報オート**]時)。

撮影画面の表示内容



6 各部の名称

画像モニター/電子ビューファインダーの表示内容



19	カラーバー
20	露出インジケーター 55
21	露出補正值
22	記録可能時間(動画)96、98
23	レディーライト58
24	記録可能コマ数(静止画)…23
25	内蔵メモリー表示 23
26	絞り値53
27	シャッタースピード53
28	ISO感度138
29	ISO感度オート表示138
30	ISO感度表示138
31	電池残量表示23
	本体充電ACアダプター接続中
32	表示 AC アダプター接続中表示
	AL アタリター接続中表示

33	日付写し込み	166
34	訪問先	161
35	日時未設定	193
36	Bluetooth通信表示	159
37	Wi-Fi通信表示	159
38	Bluetoothリモコン接続中	207
39	機内モード	158
40	タッチ撮影	72
41	アクティブD-ライティング	66
42	ソフト	45
43	ホワイトバランス	130
44	ファンデーション	45



画像モニター/電子ビューファインダーの表示内容

11



45	色合い	45	66
46	美肌		45
47	スペシャルエフェクト		104
48	鮮やかさ	.45	66
49	連写モード	88、	134
50	AEブラケティング		139
51	手持ち撮影/三脚撮影	35	. 36
52	逆光(HDR)		37
53	タイムラプス動画		101
54	比較明合成		40
55	目つぶり軽減		49
56	セルフタイマー		61
57	自分撮りタイマー		61

58	ペット自動シャッター	38
59	セルフコラージュ	47
60	笑顔自動シャッター	50
61	動画撮影中の静止画記録…	100
62	AFエリア (顔認識、ペット核 	食出) 140
63	AFエリア(マニュアル、中 77、	央) 141
64	AFエリア(ターゲット追尾) 141
65	AFエリア(ターゲットファ ドAF)74、	イン 141
66	中央部重点測光範囲	133
67	スポット測光範囲	133



12

ら 各部の名称

画像モニター /電子ビューファインダーの表示内容

再生画面の表示内容



1	プロテクト表示	155
2	グループ画像([1枚ずつ] 時)	設定 157
3	フィルター効果済み表示	92
4	メイクアップ効果済み表示	90
5	D-ライティング済み表示	89
6	簡単レタッチ済み表示	89
7	赤目補正済み表示	90
8	送信予約済み表示	153
9	内蔵メモリー表示	23
10	画像の番号/全画像数	
11	動画の再生時間	
12	画像サイズ	129
13	かんたんパノラマ	44

14	動画設定	145
15	画質	127
16	トリミング済み表示84	. 94
17	音量表示	106
18	動画再生ガイド グループ画像再生ガイド かんたんパノラマ再生ガイ	۲
19	撮影時刻	
20	撮影日	
21	電池残量表示	23
22	本体充電ACアダプター接 表示 ACアダプター接続中表示	続中
23	フォルダー名	203
24	ファイル名	203



画像モニター/電子ビューファインダーの表示内容

13



撮影の準備

ストラップの取り付け方	15
電池とメモリーカードを入れる	16
電池を充電する	17
画像モニターの角度を変える	19
電源を ON にして、カメラをセットアップする	20



ストラップの取り付け方



• ストラップは、左右どちらのストラップ取り付け部にも取り付けられます。



ストラップの取り付け方



電池とメモリーカードを入れる

電池ロックレバー

メモリーカードスロット



- 電池は、+と-を正しい向きにし、オレンジ色の電池ロックレバーをずらしながら(③)、奥まで差し込みます(④)。
- メモリーカードは、正しい向きでカチッと音がするまで差し込みます(⑤)。
- 電池やメモリーカードの向きを間違えると、故障の原因になりますので、ご注意ください。
- メモリーカードの書き込み禁止スイッチがロックされていると、撮影、画像の 削除、カードの初期化ができません。
- 撮影したデータは、メモリーカードまたは内蔵メモリーのどちらかに記録されます。内蔵メモリーを使うときは、メモリーカードを取り出してください。

▶ メモリーカードの初期化について

他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラ で初期化してください。

- メモリーカードを初期化すると、メモリーカード内のデータは、すべて削除されます。
 初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- メモリーカードをカメラに入れ、MENUボタンを押し、セットアップメニュー(□120)の[カードの初期化]を選びます。

電池やメモリーカードを取り出すには

電源をOFFにして、電源ランプと画面の消灯を確認してから、電池/メモリーカー ドカバーを開けます。

- 電池ロックレバーをずらすと、電池が押し出されます。
- メモリーカードを指で軽く押し込むと、メモリーカードが押し出されます。
- カメラを使った直後は、カメラや電池、メモリーカードが熱くなっていること がありますので、ご注意ください。



電池とメモリーカードを入れる

電池を充電する



電源ランプ(充電ランプ)

- 電池を入れたカメラを、図のように家庭用コンセントに接続すると充電が始まります。充電中は電源ランプ(充電ランプ)がゆっくり点滅します。
- 充電が終わると、電源ランプ(充電ランプ)が消灯します。コンセントから本体 充電ACアダプターを外し、USBケーブルを外してください。
 充電時間は、残量がない電池の場合、約2時間30分です。
- 電源ランプ(充電ランプ)が速い点滅を繰り返す場合は、充電できません。以下の原因が考えられます。
 - 充電可能な温度ではない。
 - USBケーブルまたは本体充電ACアダプターが正しく接続されていない。
 - 電池に異常がある。

✔ USBケーブルについてのご注意

- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- プラグは形状と向きを確認して、まっすぐに抜き差ししてください。



▶ 充電についてのご注意

- 充電中もカメラを操作できますが、充電時間は長くなります。操作中は電源ランプ(充 電ランプ)は消灯します。
- 充電中は動画を撮影できません。
- EH-73P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器 は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。





画像モニターの角度を変える

画像モニターは、向きや角度を調節できます。

通常の撮影時



ハイアングル撮影時









自分撮り時



▶ 画像モニターについてのご注意

- 画像モニターを動かすときは、接続部が破損しないよう、無理な力を加えず、可動範 囲内でゆっくりと動かしてください。
- ・ 画像モニターの内側には触れないでください。故障の原 となります。





19

❺ 撮影の準備

画像モニターの角度を変える

電源をONにして、カメラをセットアップする

電源をはじめてONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計を設定する画面が表示 されます。

1 カメラの電源をONにする

• 設定項目の変更や決定には、マルチセレクターを使います。



 言語選択の画面が表示されます。マルチセレ クターの▲▼で言語を選び、®ボタンを押し て決定します。国や地域によって、表示され る言語は異なります。



2 [はい]を選び、®ボタンを押す





電源をONにして、カメラをセットアップする



- 3 ボタンを押す
 - ▲を押すと夏時間を設定できます。設定オン で時計が1時間早くなり、%が表示されます。 ▼を押して設定オフにすると、時計が1時間戻 ります。



- 4 日付の表示順を▲▼で選び、@ボタンを押す
- 5 内蔵時計の日付と時刻を設定して、网ボ タンを押す
 - ◆で項目を選び、▲▼で日時を合わせます。
 - [分]を選んでのボタンを押し、設定を確認し ます。

Y	日時の設定	Ê				5
	_年			時		
	201	9.01	. 01	00	: 00	
		כ				
			٣	+ 💭	- 03	決定

- 6 確認画面が表示されたら [はい] を選び、 @ボタンを押す
 - セットアップが完了すると、撮影画面に切り換わります。

信語を設定し直すには

言語は、】セットアップメニュー(□120)の[言語/Language]で設定できます。

✓ 地域と日時の設定を変更するには

*セットアップメニューの [地域と日時] で設定します。

[**タイムゾーン**]で、夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、オフにすると 1時間戻ります。



電源をONにして、カメラをセットアップする





撮影と再生の基本操作

画像を撮影する	23
画像を再生する	27
画像を削除する	




画像を撮影する

▲(オート撮影)モードを例に説明します。▲(オート撮影)モードでは、さまざまな撮影状況で標準的な撮影ができます。

撮影モードダイヤルを回して、▲に合わせる



- 電池残量表示
 (二):電池残量はあります。
 (二):電池残量が少なくなりました。
- 記録可能コマ数 メモリーカードをカメラに入れていないと きは、IMが表示され、画像を内蔵メモリー に記録します。

記録可能コマ数



電池残量表示

2 カメラを構える

 レンズやフラッシュ、AF補助光、アイセンサー、マイク、スピーカーなどに、指 などがかからないようにご注意ください。







画像を撮影する



3 構図を決める

- ズーム位置を変えるには、ズームレバーまたはサイドズームレバーを動かします。
- 望遠側で撮影中に被写体を見失ったときは、🛒 (クイックバックズーム) ボタン を押すと、見える範囲が一時的に広がり、被写体を捉えやすくなります。





- 4 シャッターボタンを半押しする
 - 半押しとは、シャッターボタンを押して、軽 く抵抗を感じるところで止めたままにするこ とをいいます。
 - ピントが合うと、AFエリアまたはAF表示が緑 色に点灯します。
 - 画面中央でピントが合います。
 - AF エリアまたは AF 表示が点滅したときはピ ントが合っていません。構図を変えて半押し をやり直してください。





AFエリア

5 シャッターボタンを半押ししたまま、 全押しして撮影する







画像を撮影する

▶ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または 動画の記録中です。電池/メモリーカードカバーを開けたり、電池やメモリーカードを取 り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやメ モリーカードが壊れることがあります。

🖉 オートパワーオフについて

- カメラを操作しない状態が約1分続くと、画面が消灯して待機状態になり、電源ランプ が点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
- 待機中に画面を再点灯するには、電源スイッチやシャッターボタンなどを押します。

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
 暗い場所でフラッシュが③(発光禁止)のとき
 - ズーム位置が望遠側のとき
- 三脚などで固定して撮影するときは、補正機能の誤動作を防ぐためセットアップメニュー(□120)の[静止画手ブレ補正]を[しない]にしてください。

フラッシュを使う

暗いところや逆光などでフラッシュが必要 なときは、**\$**(フラッシュポップアップ) レバーを動かし、フラッシュをポップアップ させます。

 撮影画面でマルチセレクターの▲(\$)を 押すと、フラッシュモードを設定できま す。フラッシュを常に発光させるには、\$ (強制発光)にします。



フラッシュを使わないときは、フラッシュを手で軽く押し下げて、閉じてください。

動画を撮影する

撮影画面を表示し、●(▶▼動画撮影)ボタンを押す と撮影を開始します。終了するにはもう一度●(▶▼) ボタンを押します。





❺ 撮影と再生の基本操作

タッチ撮影について

撮影画面でタッチ撮影アイコンをタップすると、 タッチ撮影の機能を切り換えられます。

 初期設定の面[タッチシャッター]では、シャッ ターボタンを使わずに、画面上の被写体にタッ プするだけでシャッターがきれます。



画像モニターと電子ビューファインダーを切り換える

日差しの強い屋外など、明るい場所で画像モニター が見えにくいときは、電子ビューファインダーの使 用をおすすめします。

- 電子ビューファインダーに顔を近づけると、アイ センサーが反応し、電子ビューファインダーが点 灯して、画像モニターが消灯します(初期設定)。
- (ロ)(モニター)ボタンを押しても、画像モニター または電子ビューファインダーに表示が切り換 わります。

ファインダーの視度調節

ファインダー内の表示が見えにくいときは、ファイ ンダーをのぞきながら、視度調節ダイヤルを回して 調節します。

• 爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。

▶ ■像の色などの確認や調節をするときのご注意

電子ビューファインダーよりも色再現性の高い背面の画像モニターをお使いください。

画像を撮影する



視度調節ダイヤル





画像を再生する

- ▶ (再生) ボタンを押して、再生モード にする
 - 電源OFFの状態で▶ボタンを長押しすると、再 生モードで電源がONになります。

2 マルチセレクターで前後の画像を表示する

- ▲▼< ▶を長押しすると、画像が速く切り換わります。
- マルチセレクターまたはコマンドダイヤルを回しても画像を選べます。
- ・撮影した動画を再生するには、
 ・
 ・
 ボタンを押します。
- 撮影に戻るには、▶ ボタンまたはシャッターボ タンを押します。
- 1 コマ表示でズームレバーをT
 (Q)側に動かすと、拡大表示されます。

前の画像を表示







1コマ表示でズームレバーをW
 (図)側に動かすと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。



27



④ 再生画面でのタッチパネル操作について

タッチパネルを使って、再生画面の操作ができます(27)。



画像を再生する



画像を削除する

再生モードで、削除したい画像を表示して
 (削除)ボタンを押す



- マルチセレクターの▲▼で削除方法を 選び、®ボタンを押す
 - 削除をやめるには、MENUボタンを押します。



- 3 [はい]を選び、®ボタンを押す
 - 削除した画像は、元に戻せません。



✔ RAWとJPEGを同時記録した画像の削除についてのご注意

[画質](□123)の設定を [RAW+FINE] または [RAW+NORMAL] で撮影した画像 を、このカメラで削除すると、同時記録したRAWとJPEG画像が両方とも削除されます。 片方のみを削除することはできません。

▶ グループ画像の削除について

- 連写した画像やセルフコラージュで撮影した画像は「グループ画像」として保存され、再生すると1 コマ(代表画像)のみを表示します(初期設定)。
- 代表画像の表示中に面ボタンを押すと、そのグルー プ内の画像すべてが削除されます。



撮影モードで面ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。

❺ 撮影と再生の基本操作

画像を削除する

28



削除画像選択画面の操作方法

- マルチセレクターの◀▶または回転で、 削除したい画像を選ぶ
 - ズームレバー (□2) をT (Q) 側に動かすと 1コマ表示に、W(■) 側に動かすと一覧表 示に切り換わります。



 ONにすると、選択画像の下にアイコンが表示 されます。複数の画像に設定したいときは、 手順1と2を繰り返します。





- 3 ®ボタンを押して画像選択を決定する
 - 確認画面が表示されます。表示内容に従って操作してください。



いろいろな撮影

撮影モードを選ぶ	31
🖸(オート撮影)モード	32
シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)	33
クリエイティブモード(効果を付けて撮影する)	51
P、S、A、Mモード(露出を設定して撮影する)	53
マルチセレクターで設定する撮影機能(\$/心/&/2)	57
フラッシュモード	58
セルフタイマー	61
フォーカスモード	63
クリエイティブスライダーを使う	66
露出補正(明るさを調節する)	68
Fn(ファンクション)ボタンを使う	69
ズームを使う	70
タッチ撮影を使う	72
ピント合わせについて	73
フラッシュモード、セルフタイマー、フォーカスモードの初期設定一覧…	78
撮影時に組み合わせて使えない機能	80



🕤 いろいろな撮影

撮影モードを選ぶ

撮影モードダイヤルを回し、指標に合わせます。



- SCENE (シーン) モード MENUボタンを押して、シーンモードを選ぶと、その状況に適した設定で撮影が できます。
 [おまかセシーン](初期設定)にすると、構図を決めるだけでカメラが撮影状 況を判別し、状況に適した撮影ができます。
- 聞(ショートムービーショー)モード 数秒間ずつ撮影した動画を自動でつなげて、最長30秒間のショートムービー ショー(「飯 1080/30p] または「飯 1080/25p])を作成します。
- P、S、A、Mモード
 シャッタースピードや絞り値などを自分で決めて、より本格的な撮影を楽しめます。

🖉 ヘルプ表示について

撮影モードの切り換え中や設定画面の表示中に機能の説明が表示されます。 すぐに撮影画面にするには、シャッターボタンを半押しします。説明の表示/非表示は、 セットアップメニュー [**モニター設定**] (〇126)の [ヘルプの表示] で切り換えられます。





🗖 (オート撮影)モード

さまざまな撮影状況で標準的な撮影ができます。

 カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが 合います(□75)。



□(オート撮影)モードで設定できる機能

- フラッシュモード (□58)
- セルフタイマー (□61)
- フォーカスモード (□63)
- 露出補正(〇〇68)
- 撮影メニュー(撮影モード共通)(□127)



🖸 (オート撮影) モード



シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)

撮影状況に合わせてシーンモードを選ぶと、その状況に適した設定で撮影ができ ます。



MENUボタンを押してシーンメニューを表示し、マルチセレクターで以下のシーンモード を選びます。

SCEWE♥	おまかせシーン(初期設定)(〇〇34)	■ 夜景(□36)*1
ž	ポートレート	📅 クローズアップ(口36)
	風景 **1	fl 料理 (口36)
ß	タイムラプス動画(囗101)	④ 打ち上げ花火(ロ37) ^{※3、4}
×	スポーツ (囗34) ^{※2}	🖺 逆光(囗37) ^{※1}
	夜景ポートレート(囗35)	🛱 かんたんパノラマ (🎞42) **1
X	パーティー (口35) *1	% ペット (皿38)
2	ビーチ ^{**1}	SOFT ソフト (ロ39) ^{※1}
8	雪 ^{※1}	
**	夕焼け ^{※1、3}	
ä	トワイライト ^{※1、3}	ビ ベストフェイス (🎞45)

※1 ピントは画面中央のエリアで合わせます。

- ※2 ピントは画面中央のエリアで合わせます(オートフォーカス時)。
- ※3 シャッタースピードが遅くなるため、三脚などの使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの [静止画手ブレ補正] (□168)を [しない] にしてください。
- ※4 ピントは遠景に合います(オートフォーカス時)。
- ※5 シャッタースピードが遅くなるため、三脚などの使用をおすすめします。





シーンモードのヒントとご注意

SCENE → * おまかせシーン

• 構図を決めるだけでカメラが撮影状況を判別し、状況に適した撮影ができます。

£°	ポートレート (1~2人程度のアップ)
Éi	ポートレート(人数の多い場合や背景の面積が大きい場合)
F	風景
P	夜景ポートレート(1~2人程度のアップ)
	夜景ポートレート(人数の多い場合や背景の面積が大きい場合)
P	夜景
œ	クローズアップ
	逆光(人物以外の撮影)
-	逆光(人物撮影)
B °	その他の撮影状況

- 撮影状況によっては、意図した設定に切り換わらないことがあります。その場合は、 他の撮影モードに切り換えて撮影してください(口31)。
- 電子ズーム使用時は、撮影状況の判別は 🕿 になります。

SCENE → ミ スポーツ

- シャッターボタンを全押ししている間、連写します。
- 約 10 コマ/秒の速度で約 10 コマまで連写できます(画質 [NORMAL]、画像サイズ [២ 4608×3456] 時)。
- ・ 画質、画像サイズ、メモリーカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- 2 コマ目以降のピント、露出および色合いは、1 コマ目と同じ条件に固定されます。



らいろいろな撮影

SCENE → I 夜景ポートレート

- フラッシュをポップアップさせてから撮影してください。
- 「(夜景ポートレート)を選ぶと表示される画面で、 (4) [手持ち撮影] または (2) [三 脚撮影]を選びます。
- ・ 🗗 [手持ち撮影]:
 - 撮影画面の I アイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
 - 撮影画面の I アイコンが白色のときは、シャッターボタンを全押しすると1 コマ 撮影します。
 - シャッターボタンを全押しした後は、静止画が表示されるまで、カメラがぶれないようにしっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
 - 連写している間、被写体が動くと画像がゆがんだり、重なったり、ぼやけること があります。
 - 保存される画像の画角(写る範囲)は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
 - 撮影条件により、連続撮影されない場合があります。
- ・ • [三脚撮影]:
 - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで1コマ撮影します。
 - セットアップメニューの [静止画手ブレ補正] (□168)の設定にかかわらず、手 ブレ補正を行いません。

SCENE → 💥 パーティー

手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの [静止画手ブレ補正] (□168)を [しない] にしてください。



ら いろいろな撮影

SCENE → 🖬 夜景

- [夜景] を選ぶと表示される画面で、□ [手持ち撮影] または ♀ [三脚撮影] を 選びます。
- ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 ・ は
 - 撮影画面の Wアイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
 - 撮影画面の M アイコンが白色のときは、シャッターボタンを全押しすると1 コマ 撮影します。
 - シャッターボタンを全押しした後は、静止画が表示されるまで、カメラがぶれな いようにしっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電 源を OFF にしないでください。
 - 保存される画像の画角(写る範囲)は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
 - 撮影条件により、連続撮影されない場合があります。
- ・ • [三脚撮影]:
 - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで1コマ撮影します。
 - セットアップメニューの [静止画手ブレ補正] (□168) の設定にかかわらず、手 ブレ補正を行いません。

SCENE → 聞クローズアップ

- フォーカスモード(□63)が ♥ (マクロ AF)になり、最短撮影距離で撮影可能な 位置までズームが自動的に移動します。

SCENE → ¶ 料理

- フォーカスモード(□63)が♥(マクロ AF)になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- コマンドダイヤルまたはマルチセレクターを回して、色合いを調節できます。色合いの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。
- ピントを合わせるエリア(AFエリア)を移動できます。
 (AFエリア)を移動できます。
 (AFエリア)を移動し、マルチセレクターの▲▼

 ▶または回転で移動し、
 (AFエリア)を移動し、
 (AFエリア)を移動できます。



36



SCENE → ③ 打ち上げ花火

- シャッタースピードは、4秒に固定されます。
- 露出補正は使えません(□68)。

SCENE → 图 逆光

- ・
 [[逆光]を選ぶと表示される画面で、HDR(ハイダイナミックレンジ)合成の[する]/[しない]を撮影状況に合わせて選びます。
- [しない]:人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。フラッシュをポップアップさせてから撮影してください。
- シャッターボタンを全押しすると、1 コマ撮影します。
- [する]:明暗差の大きい風景撮影に適しています。
 - シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、以下の2コマを記録します。
 - HDR合成していない画像
 - HDR合成した画像(白とびや黒つぶれを抑えた画像)
 - 記録可能コマ数が1コマの場合は、撮影時に D-ライティング(1189) で暗い部分を明るく補正し、1コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後は、静止画が表示されるまで、カメラがぶれな いようにしっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電 源を OFF にしないでください。
 - 保存される画像の画角(写る範囲)は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
 - 撮影状況によっては、明るい被写体の周辺に暗い影が出たり、暗い被写体の周辺 が明るくなったりします。

▶ HDRについてのご注意

三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの「静止画手ブレ補正」(〇〇168)を [しない] にしてください。



らいろいろな撮影

SCENE > Wペット

- 犬または猫にカメラを向けると、顔を検出してピントを合わせます。初期設定では、 犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます(ペット自動シャッ ター)。
- ・ √ [ペット] を選ぶと表示される画面で、 ⑤ [単写] または □ [連写] を選びます。
 ⑤ [単写]: 犬または猫の顔を検出するたびに、1 コマ撮影します。
 - □ [連写]: 犬または猫の顔を検出するたびに、3 コマ連写します。

✔ ペット自動シャッターと自分撮りタイマーについて

マルチセレクターの◀(ご)を押すと、以下の設定ができます。

- ・
 ・
 「「ペット自動シャッター]:
 ・
 、
 ナまたは猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます。
 ・
 ・
 自動シャッターで連写を5回繰り返すと
 [DFF]になります。
 - シャッターボタンを押してもシャッターがきれます。
 「連写]設定時は、シャッターボタンを全押ししている間、連写できます。
- 95s [自分撮りタイマー]:シャッターボタンを全押ししてから5秒後にシャッターが きれます。

シャッターボタンを全押ししてから構図を決めてください。

- 詳しくは「セルフタイマー」(CD61)をご覧ください。
- 犬、猫または人物の顔を検出してピントを合わせます。
- 連写はできません。
- [OFF]:シャッターボタンを全押しするとシャッターがきれます。
 - 犬、猫または人物の顔を検出してピントを合わせます。
 - □ [連写] 設定時は、シャッターボタンを全押ししている間、連写できます。

AFエリアについて

- 検出した顔は、黄色い枠で囲まれます。二重枠の AFエリア表示で囲まれた顔にピントが合うと、表示が緑色に変わります。顔を検出していないときは、ピントは画面中央の被写体で合わせます。
- 撮影条件によっては、顔を検出しないことや、犬、猫 または人物以外に枠が表示されることがあります。





38

ら いろいろな撮影

SCENE → SOFT ソフト

- 画像全体を少しぼかし、やわらかな雰囲気にします。
- 選べない [動画設定] (□145) があります。

SCENE → グセレクトカラー

- 選択した色だけを残し、他の色は白黒にします。
- コマンドダイヤルを回して色を選びます。





ら いろいろな撮影

SCENE → № 比較明合成

- 動きのある被写体を一定間隔で自動撮影し、それぞれの画像を比較し明るい部分だけを合成して1コマの画像として記録します。車のライトの流れや星の動きなど、光の軌跡を撮影します。
- ・
 『
 に較明合成
)を選ぶと表示される画面で、

 ・
 [夜景と光跡
]、
 [
 記
 [夜景と星軌
)
]
 または
 [
 2軌
]
 を選びます。

項目	内容				
感 夜景と光跡	 夜景を背景に、車のライトの流れなどを撮影するのに適しています。 ピントは画面中央のエリアで合わせます。 コマンドダイヤルまたはマルチセレクターを回して撮影間隔を設定できます。設定した撮影間隔が、シャッタースピードになります。撮影画面のシャッタースピード表示をタッブしても設定できます。 50 コマ撮影すると自動終了します。 10 コマ撮影するごとに、撮影開始時からの軌跡を合成した画像を、自動保存します。 				
🗟 夜景と星軌跡	夜景を構図に入れて、星の動きを撮影するのに適しています。 ・ ピントは無限遠に固定されます。撮影画面に ☎ が表示され ます。 ・ ズームが、最も広角側に自動的に移動します。 ・ 約5秒ごとにシャッタースピード 20秒で撮影します。 300 コマ撮影すると自動終了します。 ・ 30 コマ撮影するごとに、撮影開始時からの軌跡を合成した画 像を、自動保存します。				
図 星軌跡	 星の動きを撮影するのに適しています。 ピントは無限遠に固定されます。撮影画面に S が表示されます。 ズームが、最も広角側に自動的に移動します。 約5秒ごとにシャッタースピード 25秒で撮影します。 300 コマ撮影すると自動終了します。 30 コマ撮影するごとに、撮影開始時からの軌跡を合成した画像を、自動保存します。 				

撮影の合間は画面が消灯することがあります。画面の消灯中は、電源ランプが点灯します。

- ・ 途中で撮影を終了するには、画面の点灯中に ∞ ボタンを押します。
- お好みの軌跡を得られたら撮影を終了してください。撮影を続けると、合成部分が白 とびすることがあります。



40

らいろいろな撮影

▶ 比較明合成についてのご注意

- メモリーカードを入れていないときは、撮影できません。
- 撮影が終了するまでは、撮影モードダイヤルを回したり、メモリーカードを抜いたりしないでください。
- ・ 途中で電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。
- 露出補正は使えません(□68)。
- セットアップメニューの [静止画手ブレ補正] (□168)の設定にかかわらず、手ブレ 補正を行いません。

ダ 残り時間について

ら いろいろな撮影

シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)

撮影が自動終了するまでの残り時間を、画面で確認で きます。





かんたんパノラマの撮影方法

撮影モードダイヤルをSCENEに合わせる → MENUボタン → ロかんたんパノラマ → ®ボタン

】 撮影する範囲をは [標準] またはは [10] [ワイド] から選び、 (10) ボタンを押す

- 2 一番端の被写体に構図を合わせ、 シャッターボタンを半押ししてピント を合わせる
 - ズーム位置は、広角側に固定されます。
 - ・
 ・
 画面中央でピントが合います。
- 3 シャッターボタンを全押しし、シャッ ターボタンから指を離す
 - カメラを動かす方向を示す △▽〈♪ マークが 表示されます。
- 4 カメラを4方向のいずれかに、ガイドの 終端まで動かす
 - カメラが動いている方向を検出すると、撮影が始まります。
 - 設定の範囲を撮影し終えると撮影が終了します。
 - ピントと露出は、撮影終了まで固定されます。







42









カメラの動かし方の例

- 撮影者を軸にして、カメラをマーク(△▽⟨D) と平行に、円弧を描くようにゆっくり動かします。
- ガイドが端まで到達しないまま、撮影開始から約15秒(ご)[標準]時)、または約30秒(ご)[「ワイド]時)が経過すると撮影は終了します。



▶ かんたんパノラマ撮影時のご注意

- 保存される画像の範囲は、撮影時に画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 動かす速度が速すぎるときや、ブレが大きいとき、または壁や暗闇など被写体に変化 が少ないときなどはエラーになります。
- パノラマ範囲の半分に到達する前に撮影が止まると、パノラマ画像は保存されません。

🖉 かんたんパノラマの画像サイズについて

最大画像サイズ(ピクセル)は、以下の4種類になります。パノラマ範囲の半分以上を撮 影していて、終端に到達する前に撮影が終了したときは、画像サイズは以下よりも小さ くなります。



▶ [ワイド] に設定時

ら いろいろな撮影





かんたんパノラマの再生方法

再生モードにして(□27)、かんたんパノラマで 撮影した画像を1コマ表示し、◎ボタンを押すと、 撮影したときと同じ方向でスクロールします。

 マルチセレクターまたはコマンドダイヤルを 回すと、早送り/巻き戻しができます。

再生中は、画面に操作パネルが表示されます。 マルチセレクターの◀▶で操作パネルのアイコン を選び、⑩ボタンを押すと以下の操作ができます。





機能	アイコン	内容			
巻き戻し	*	●ボタンを押している間、スクロールを巻き戻しします。※			
早送り	*	●ボタンを押している間、スクロールを早送りします。*			
		一時停止します。一時停止中に以下の操作ができます。			
味度正	-	411	▶ ● ボタンを押している間、巻き戻しします。*		
一时停止			●ボタンを押している間、スクロールします。*		
			自動スクロールを再開します。		
再生終了		1コマ表示に戻ります。			

※ マルチセレクターまたはコマンドダイヤルを回しても操作できます。

▶ かんたんパノラマ画像についてのご注意

- このカメラでは画像編集はできません。
- このカメラ以外のかんたんパノラマで撮影した画像は、スクロール再生や拡大表示が できないことがあります。

▶ パノラマ写真をプリントするときのご注意

プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリン ターによっては、プリントできないことがあります。



44

ら いろいろな撮影

ベストフェイスの撮影方法(顔をよりきれいに撮影する)

人物の顔にメイクアップ効果を付けて撮影できます。

モードダイヤルをSCENEに合わせる → MENUボタン → \boxdot ベストフェイス → 𝔅ボタン → MENUボタン

 マルチセレクターの▶を押して、効果 を付ける

- ・
 ●で効果を選びます。
- ▲▼で効果の度合いを調節します。
- 同時に複数の効果が付けられます。
 〇[美肌]、〇[ファンデーション]、〇[ソフト]、〇[鮮やかさ]、〇[明るさ(露出補正)]
- スライダーを非表示にするには、X [終了]
 を選びます。
- すべての効果を確認したら、
 ・図ボタンを押す
 か、
 × [終了]を選びます。





2 構図を決め、シャッターボタンを押す

✔ ベストフェイスについてのご注意

- [ソフト]を設定すると、選べない [動画設定] (□145) があります。
- 撮影画面の画像と保存した画像では、効果の度合いが異なる場合があります。

ダメイクアップ効果の設定について

明るさ(露出補正)を選ぶと、ヒストグラムが表示されます。→□68



ら いろいろな撮影

ベストフェイスで設定できる機能

- メイクアップ効果(0045)
- セルフコラージュ (□47)
- 目つぶり軽減(0049)
- ・ 笑顔自動シャッター (□50)
- フラッシュモード (□58)
- セルフタイマー (□61)
- 撮影メニュー(撮影モード共通)(□127)

[美肌] と [ファンデーション] について

- シーンモードの [ベストフェイス] で [美肌] または [ファンデーション] を 設定すると、カメラが人物の顔を検出時に、画像処理で顔の肌をなめらかにし たり、顔色を調整したりしてから記録します(最大3人)。
- シーンモードの [おまかセシーン]、[ポートレート]または [夜景ポートレート] での撮影時も、[美肌]の効果を付けて記録します。効果の度合いは設定できません。
- 再生メニューの[メイクアップ効果]でも、撮影後に[美肌]や[ファンデー ション]の効果を付けられます(□90)。

▶ 美肌機能についてのご注意

- 撮影後の画像の記録時間は、通常より長くなることがあります。
- 撮影条件によっては、効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることが あります。



セルフコラージュを使う

4回または9回のインターバル撮影をした画像を1 コマの画像として記録できます(コラージュ画像)。



モードダイヤルをSCENE に合わせる \rightarrow MENUボタン $\rightarrow \boxdot$ ベストフェイス $\rightarrow \odot$ ボタン \rightarrow セルフコラージュ $\rightarrow \odot$ ボタン

1 セルフコラージュの設定をする

- [撮影回数]:自動撮影する回数(集約画像のコマ数)を設定します。 [4回](初期設定)と[9回]から選びます。
- [撮影間隔]:1コマの撮影から次の撮影に移るまでの時間を設定します。
 [短い]、[中間](初期設定)、[長い]から選びます。
- [シャッター音の設定]:セルフコラージュで撮影するときのシャッター音を設定します。
 [標準]、[一眼レフ風]、[マジカル](初期設定)、[なし]から選びます。
 [なし]以外を設定すると、カウントダウン音を鳴らします。
 セットアップメニューの[操作音]の[シャッター音]とは連動していません。
- ・ 設定が終了したら、MENUボタンまたはシャッターボタンを押してメニュー画面を 終了してください。
- マルチセレクターの ◀を押し、 器 [セ ルフコラージュ]を選んで @ ボタンを 押す
 - 確認画面が表示されます。
 - メイクアップ効果を付けて撮影する場合は、 先に設定してください(□45)。







47

らいろいろな撮影

3 撮影をする

- シャッターボタンを押すと、カウントダウン (約5秒)が始まり、自動的にシャッターがき れます。
- 2コマ目以降は自動でシャッターがきれます。 撮影の約3秒前になると、カウントダウンが始まります。



 ● 画面に撮影する回数分の ○ が表示されます。 撮影中は黄色で表示され、撮影後は白色になります。

4 設定回数の撮影が終わると表示される画面で[はい]を選び、®ボ タンを押す

- コラージュ画像が保存されます。
- 撮影した画像はコラージュ画像とは別に1コマずつ保存されます。これらの画像 はグループ化され、コラージュ画像が代表画像となります(□186)。
- [いいえ] を選んだときは、コラージュ画像は保存されません。

▼ セルフコラージュについてのご注意

- 設定した回数の撮影が終わる前に以下の操作をすると、撮影が中断されコラージュ画像は保存されません。中断前に撮影した1コマ画像は保存されます。
 - シャッターボタンを押す
 - フラッシュをポップアップしたり閉じたりする
- [日付写し込み] (□166)を使って撮影した場合、日付と時刻は、集約画像の右下の みに写し込まれます。集約画像内の各画像には、日付と時刻を写し込めません。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(1280)。



シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)

48



目つぶり軽減を使う

撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目を つぶっていない画像を優先して1コマだけ記録し ます。

 目をつぶっている可能性のある画像を記録した ときは、右のメッセージが数秒間表示されます。



モードダイヤルをSCENE に合わせる → MENU ボタン → 図 ベストフェイス → ® ボタン → 目つぶり軽減 → ® ボタン

[する] または [しない] (初期設定)を選び、 ®ボタンを押す

▶ 目つぶり軽減についてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(1180)。





笑顔自動シャッターを使う

カメラが人物の笑顔を検出するたびに、自動でシャッターがきれます。

モードダイヤルをSCENEに合わせる → MENUボタン → \boxdot ベストフェイス → 𝔅ボタン → MENUボタン

マルチセレクターの ◀を押し、 図 [笑顔自 動シャッター] を選んで®ボタンを押す

- メイクアップ効果は、笑顔自動シャッターよりも先に設定してください(□145)。
- シャッターボタンを押して撮影すると、笑顔自動 シャッターが終了します。





✔ 笑顔自動シャッターについてのご注意

- 撮影条件などによっては、適切に顔認識や笑顔検出ができないことがあります (□75)。シャッターボタンを押しても撮影できます。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(印80)。

🖉 セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は 速く点滅します。



シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)

50



クリエイティブモード(効果を付けて撮影する)

画像に効果を付けて撮影できます。

[ライト](初期設定)、[デブス]、[メモリー]、
 [クラシック]、[ノワール]の5種類の効果グループから選べます。



- 1 図ボタンを押す
 - 効果の選択画面が表示されます。
- 2 マルチセレクターの◀▶で効果を選ぶ
 - コマンドダイヤルを回すと、効果グループを 切り替えられます。
 - 中止するときは、▲を押します。



3 効果を調整する場合は、▼を押す

 効果を調整しない場合は、
 ・
 ・
 ボタンを押して 手順6へ進んでください。



4 調整する項目を◀▶で選び、▼を押す

• [露出補正] 、[コントラスト] 、[色味] 、[彩 度] 、[周辺光量] から選びます。選べる項目 は、グループによって異なります。





ら いろいろな撮影

クリエイティブモード (効果を付けて撮影する)



6 シャッターボタンまたは●(*▼動画撮影)ボタンを押して撮影する

 カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせます(ターゲットファインド AF)(ロ74)。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。

🖉 効果グループの選択について

手順1の画面でMENUボタンを押しても、効果グループを選べます。

クリエイティブモードで設定できる機能

- フラッシュモード (□58)
- セルフタイマー (□61)
- フォーカスモード (□63)
- 露出補正 (〇〇68)
- 撮影メニュー(撮影モード共通)(□127)



クリエイティブモード(効果を付けて撮影する)

P、S、A、Mモード(露出を設定して撮影する)

P、S、A、Mモードでは、撮影意図に応じて露出 (シャッタースピードや絞り値などの組み合わせ) を自分で設定できます。さらに撮影メニュー (CL120)の項目を設定して、より本格的な撮影 を楽しめます。



撮影モード	内容
Ρ プログラムオート	 シャッタースピードと絞り値の設定をカメラまかせにして撮影できます。 コマンドダイヤルまたはマルチセレクターを回すと、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変更できます(ブログラムシフト)。プログラムシフトやは画面左上に ②(プログラムシフトマーク)が表示されます。 ブログラムシフトを解除するには、③が消えるまでコマンドダイヤルまたはマルチセレクターを設定時の逆方向に回すか、撮影モードを切り換えるか、または電源を OFF にします。
S シャッター優先 オート	コマンドダイヤルまたはマルチセレクターを回してシャッター スピードを設定すると、絞り値をカメラが自動制御します。**1
A 絞り優先オート	コマンドダイヤルまたはマルチセレクターを回して絞り値を設 定すると、シャッタースピードをカメラが自動制御します。**2
Mマニュアル露出 ^{※3}	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。 シャッタースピードはコマンドダイヤルを回して設定します。 ^{※1} 絞り値はマルチセレクターを回して設定します。 ^{※2}

- ※1 撮影画面のシャッタースピード表示をタップしても設定できます。
- ※2 撮影画面の絞り値表示をタップしても設定できます。
- ※3 露出設定の操作部は、セットアップメニュー(□120)の[Av/Tv操作切り換え]で 割り当てを変更できます。



PP プログラムシフト中



シャッタースピード 絞り値





露出設定のヒント

同じ露出でもシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えると、被写体の流 動感や背景のぼかし具合が変わります。

シャッタースピードによる効果

動きの速い被写体を速いシャッタースピードで撮影して動きを止めたり、遅い シャッタースピードで動きを強調したりできます。



1/1000秒

1/30秒

絞り値による効果

ら いろいろな撮影

被写体を手前から奥まで鮮明に写したり、被写体の背景を意図的にぼかしたりで きます。



小さくする (絞りを開く) f/3.4



🖉 シャッタースピードと絞り値について

- シャッタースピードの制御範囲は、ズーム位置や絞り値、ISO感度の設定によって異なります。
- このカメラのレンズは、絞り値がズーム位置によっても変化します。
- 露出を設定した後にズーム操作をすると、露出の組み合わせや絞り値が変化すること があります。
- レンズの絞り値は、数値が小さくなるほど(絞りを開くほど)明るくなり、数値が大きくなるほど(絞りを絞るほど)暗くなります。数値が一番小さい状態を「開放絞り」、 一番大きい状態を「最小絞り」といいます。

54

P、S、A、Mモード(露出を設定して撮影する)

▶ 露出設定についてのご注意

被写体が暗すぎたり明るすぎたりすると、適切な露出が得られない場合があります。このときにシャッターボタンを半押しすると、シャッタースピード表示や絞り値表示が点滅したり(P、S、Aモード時)、露出インジケーターが赤色表示になったり(Mモード時)します。設定したシャッタースピード、または絞り値を変えてください。

▶ 動画撮影時の露出設定について

P、S、A、Mモードでの動画撮影時は、シャッタースピードや絞り値の設定は反映されません。

露出インジケーターについて(Mモード時)

設定した露出値とカメラが測定した適正露出値の 差が画面の露出インジケーターに表示されます。 露出インジケーターは、-2 EVから+2 EVの範囲 で1/3 EVごとに表示されます。



露出インジケーター

▶ ISO感度についてのご注意

Mモード時のISO感度は、[ISO感度設定] (□123) を [オート] (初期設定) または [感 度制限オート] に設定すると、ISO 100に固定されます。

P、S、A、Mモードで設定できる機能

- フラッシュモード (□57)
- セルフタイマー (ロ57)
- フォーカスモード (□57)
- クリエイティブスライダー (ロ57)
- 撮影メニュー (□120)
- Fn (ファンクション) ボタンで設定できる機能(凹121)

✓ AFエリアについて

ピント合わせをするエリアは、撮影メニューの [AF エリア選択] (印123)の設定に よって異なります。初期設定の [ターゲットファインドAF] では、カメラが主要な被写 体を検出し、ピントを合わせます。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先し ます。



P、S、A、Mモード(露出を設定して撮影する)

55



シャッタースピードの制御範囲(P、S、A、Mモード時)

シャッタースピードの制御範囲は、ズーム位置や絞り値、ISO感度の設定によって 異なります。さらに、以下の連写設定時は、制御範囲が変わります。

設定		制御範囲(秒)			
		Pモード	Sモード	Aモード	Mモード
	オート**2		1/2000~8秒		
ISO感度 設定 ^{※1}	ISO 100-400 ^{*2} ISO 100-800 ^{*2}	1/2000~			
([[]138)	ISO 100、200、 400、800、1600、 3200、6400	1秒			
	連写 H、連写 M、 連写 L	1/2000~1秒			
連写	先取り撮影	1/4000~1/125秒			
(🛄134)	高速連写 120 fps	1/4000~1/125秒			
	高速連写 60 fps	1/4000~1/60秒			
	インターバル撮影	[単写] 設定時と同じ			

※1 連写の設定によっては、ISO感度の設定が制限されます(□181)。

※2 Mモードのときは、ISO 100に固定されます。



ら いろいろな撮影

P、S、A、Mモード(露出を設定して撮影する)

マルチセレクターで設定する撮影機能(4/心/心/2/2)

撮影画面でマルチセレクターの▲(\$)◀(凶)▼(乙)▶(凶)を押すと、以下 の機能を設定できます。



・ ◆ フラッシュモード フラッシュのポップアップ時に、発光モード(フラッシュモード)を撮影状況 に合わせて設定できます。 ◆ (強制発光)または ◆ (通常発光)を選ぶと、フ ラッシュが常に発光します。

- ・ ご セルフタイマー / 自分撮りタイマー
 シャッターボタンを押してから、設定した秒数が経過するとシャッターがきれます。
- ・ スフォーカスモード 被写体との距離によって、AF(通常AF)または、マクロAF)に設定できます。撮影モードがP、S、A、M、シーンモードの[スポーツ]または[打ち上 げ花火]のときは、MF(マニュアルフォーカス)も設定できます。
- ・ 🗹 クリエイティブスライダー /露出補正
 - クリエイティブスライダー:撮影モードが P、S、A、M モードのとき、明 るさ(露出補正)、鮮やかさ、色合い、アクティブD-ライティングを調節で きます。
 - 露出補正:撮影モードが P、S、A、M モード以外のとき、明るさ(露出補正)を調節できます。

設定できる機能は、撮影モードによって異なります。

らいろいろな撮影

マルチセレクターで設定する撮影機能(\$/心/*/図)

57



フラッシュモード

フラッシュのポップアップ時に、発光モード(フラッシュモード)を撮影状況に 合わせて設定できます。

- ↓G(フラッシュポップアップ)レ バーを動かし、フラッシュをポッ プアップさせる
 - フラッシュを閉じているときは発光禁止になり、
 したなり、
 のが表示されます。



2 マルチセレクターの▲(\$)を押す



- 3 フラッシュモード(□59)を選び、◎ ボタンを押す
 - ・
 ・
 ・
 ボタンを押さないと、
 選択はキャンセルされます。





ん。充電が完了していると、後が点灯します。




フラッシュモードの種類

\$AITO 自動発光

暗い場所などで、必要に応じてフラッシュを発光します。 ・ 撮影画面のフラッシュモードアイコンは、設定直後のみ表示されます。

2 ● 赤目軽減自動発光/赤目軽減発光

フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します(CC60)。 • [赤目軽減発光] では、常にフラッシュを発光します。

常にフラッシュを発光します。

\$SLOW スローシンクロ

タ景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。自動発光でメインの被写体 を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

▶ フラッシュ撮影についてのご注意

ズーム位置が広角側で、フラッシュを使うと、撮影距離によっては画像の周辺部が暗く なることがあります。

望遠側に少しズーム操作すると、改善することがあります。

ダ フラッシュモードの設定について

設定できるフラッシュモードは、撮影モードによって以下のように異なります。

フ	/ラッシュモード		SCENE	1	P*1	S*1	A*1	M ^{*1}
\$ AUTO	自動発光	0		×	×	×	×	×
\$®	赤目軽減自動発光	0	*2	×	×	×	×	×
	赤目軽減発光	×		×	0	0	0	0
\$	強制発光	0		×	×	×	×	×
	通常発光	×		×	0	0	0	0
\$ SLOW	スローシンクロ	0		×	0	×	0	×

※1 P、S、A、Mモードで設定した場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

※2 設定によって異なります。→「フラッシュモード、セルフタイマー、フォーカスモードの初期設定一覧」(□78)



✓ 赤目軽減自動発光/赤目軽減発光について

画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。 撮影する際は、以下にご注意ください。

- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- まれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。



フラッシュモード



セルフタイマー

シャッターボタンを押してから、設定した秒数が経過するとシャッターがきれます。 三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの [静止画手ブレ補 正](口168)を [しない] にしてください。

1 マルチセレクターの◀(心)を押す



シャッターがきれるまでの秒数を選び、のボタンを押す

- [心10s] (10秒):記念撮影などに適しています。
- [3](3秒):手ブレの軽減に適しています。
- [**95s**] (5 秒、自分撮りタイマー):自分撮り に適しています。



3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- [心10s] (10秒) / [心3s] (3秒) では、ピントが合っているか確認してください。
- [95s] (5秒、自分撮りタイマー)では、手順4でシャッターボタンを全押ししてから構図を決めてください。

4 シャッターボタンを全押しする

- カウントダウンが始まります。セル フタイマーランプが点滅し、シャッ ターがきれる約1秒前になると、点 灯に変わります。
- カウントダウンを止めるには、もう 一度シャッターボタンを押します。





ら いろいろな撮影

セルフタイマー

- [心10s] / [心3s]: シャッターボタンを全押しすると、ピントと露出が固定されます。
- [**95s**]:シャッターがきれる直前にピントと露出を合わせます。

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります(CQ78)。
- 撮影後にセルフタイマーを解除するかどうかを、セットアップメニューの [セルフタ イマー解除設定](□167)で設定できます。



セルフタイマー

フォーカスモード

撮影距離に適したフォーカスモードを選べます。

1 マルチセレクターの▼(影)を押す



- 2 フォーカスモード(□63)を選び、∞ ボタンを押す



フォーカスモードの種類

AF 通常AF

レンズから50 cm以上(最も望遠側の場合は2.0 m以上)離れた被写体を撮影 するときに使います。

🙁 マクロAF

被写体に近づいて撮影するときに設定します。 ^Qマークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約10 cm の被写体から、△マークより広角のズーム位置ではレンズ前約1 cmの被写体 から、ピント合わせができます。 最も望遠側のズーム位置では、レンズ前約2.0 mの被写体から、ピント合わせ ができます。

MF マニュアルフォーカス

レンズ前約1cm~無限遠(∞)の任意の被写体にピントを合わせられます (□164)。最短撮影距離は、ズーム位置によって異なります。

🖉 フォーカスモードの設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります(印78)。
- ・ 撮影モードP、S、A、Mの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。



フォーカスモード



マニュアルフォーカスの使い方

以下の撮影モードで使えます。

- P、S、A、Mモード
- シーンモードの [スポーツ] または [打ち上げ花火]
- マルチセレクターの▼(♥) を押し、MF(マニュアル フォーカス)を選んで、[®] ボタンを押す





 拡大表示で確認しながら、マルチセレ クターでピントを合わせる

- ・ 画像中央部が拡大表示されます。拡大率は、 を押すと2倍、4倍または等倍に切り換わります。
- マルチセレクターを時計回りに回すと近くに、反時計回りに回すと遠くにピントが合います。ゆっくり回すと、より細かくピント合わせができます。コマンドダイヤルを回しても、ピント合わせができます。



ピーキングレベル

- <

 ◆ を押すと、画面中央の被写体にオートフォーカスします。オートフォーカスで ピントを合わせてから、マニュアルフォーカスの操作ができます。
- ピントが合った箇所は、白色で強調(ピーキング)表示し、ピント合わせを補助します(□65)。▲▼を押すと、ピーキングレベルを調節できます。
- シャッターボタンを半押しすると構図を確認できます。そのまま全押しすると撮影ができます。

3 ®ボタンを押す

- 設定したピントに固定されます。
- シャッターボタンを全押しすると撮影できます。





🖉 MF (マニュアルフォーカス) について

- ・ 手順2で画面右のゲージに表示される数字は、ゲージを中央付近にしたときにピントが 合う距離の目安です。
- ピント合わせができる最短撮影距離は、ズーム位置によって異なります。最も広角側のズーム位置では、レンズ前約1 cmの被写体からピント合わせができます。最も望遠側のズーム位置では、レンズ前約2.0 mの被写体からピント合わせができます。
- 実際にピントが合う範囲は、絞り値やズーム位置によって異なります。ピントが合っているかどうかは、撮影後の画像で確認してください。
- セットアップメニューの [サイドズームレバー設定] (□126) を [MFレバー] にす ると、手順2でマルチセレクターのかわりにサイドズームレバーでもピント合わせが できます。

✓ 動画撮影中のマニュアルフォーカスについて

フォーカスモードをMFにして●(*景動画撮影)ボタンを押すと、動画撮影中もコマン ドダイヤルやマルチセレクターでピントを合わせることができます。

🖉 ピーキングについて

- ピーキングレベルを調節すると、ピントが合っていると見なす範囲を変更できます。
 コントラストの高い被写体では弱めに、低い被写体では強めに設定すると効果的です。
- ピーキングでは、画像のコントラストが高い部分を白色で強調します。撮影条件によっては、適切に強調できないことや、ピントの合っていない部分を強調して表示することがあります。
- セットアップメニューの [MFビーキング] (□126) でピーキング表示しない設定に できます。
- ・動画メニューの「動画設定」(□124)がHS動画のときは、動画撮影中のピーキング 表示はできません。

マニュアルフォーカス撮影画面でのタッチパネル操作について

タッチパネルを使って、画面を操作できます(□7)。

- 拡大表示中に広げる/つまむと、拡大率を切り換えられます。
- 拡大表示中にスライドすると、表示位置を移動できます。田をタップすると、表示位置が画面中央に戻ります。

🖉 リモコン ML-L7 (別売)を使用してピントを合わせるには

 リモコンのマルチセレクターの▲▼を押すと、マニュアルフォーカス時にリモコンで ピントを合わせることができます。

65

リモコンの®ボタンを押すと、設定したピントに固定できます。



フォーカスモード

クリエイティブスライダーを使う

撮影モードがP、S、A、Mモードのとき、明るさ(露出補正)、鮮やかさ、色合い、アクティブD-ライティングを調節して撮影できます。

1 マルチセレクターの▶(図)を押す



- **3** [色合い]: 画像全体の色合い(赤み/青み) を調節します。
- ・

 [明るさ(露出補正)]:画像全体の明るさ
 を調節します。
- ・ 昭 [アクティブ D- ライティング]:白とびや
 黒つぶれを軽減します。効果の度合いを昭H(強め)、昭N(標準)、昭L(弱め)から選びます。

3 ▲▼で調節する

- ・
 ・
 画面で調節の度合いを確認できます。
- 他の項目を設定するには、手順2に戻ります。
- スライダーを非表示にするには、★ [終了] を選びます。
- すべての設定を取り消すには、R [リセット]
 を選び∞ボタンを押します。手順2からやり
 直してください。

明るさ(露出補正)	
OK	+3.0
and the second sec	-0.3
	-3.0 Ē
👝 👶 🌚 📴 🖽 🗙 R	
- ヒストグラム表示	

- 4 設定が終了したら、®ボタンを押す
 - 設定が反映され、撮影画面に戻ります。



クリエイティブスライダーを使う





スライダー



🖉 クリエイティブスライダーの設定について

- 撮影モードがMモードの場合、[明るさ (露出補正)] は使えません。
- 「動画設定」を「2008 HS 720/4 倍」にして撮影した動画には、「アクティブD-ライティング」が反映されません。
- [アクティブD-ライティング]を使うと、撮影状況によっては、ノイズ(ざらつき、むら、すじ)が強調されたり、明るい被写体の周辺に暗い影が出たり、暗い被写体の周辺が明るくなったりすることがあります。
- [アクティブ D- ライティング]を使うと、被写体によっては画像に階調とびが発生することがあります。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(2280)。
- 以下の設定は、電源をOFFにしても記憶されます。
 - [色合い]
 - [鮮やかさ]
 - [明るさ(露出補正)]
 - [アクティブD-ライティング]
- •「ヒストグラム表示について」→□168

🖉 [アクティブD-ライティング] と [D-ライティング] の違い

- [アクティブ D- ライティング] は、白とびを抑えるように撮影し、記録時に階調を調節します。
- ・ 再生メニューの [D-ライティング] (□189) は、記録した画像の階調を調節します。





露出補正(明るさを調節する)

撮影モードが ☎ (オート撮影) モード、シーンモード、クリエイティブモードま たはショートムービーショーモードのとき、明るさ(露出補正)を調節できます。

1 マルチセレクターの▶(図)を押す

補正値を選び、碗ボタンを押す

- 明るくする:「+」側に設定します。
 - 暗くする:「-」側に設定します。
 - ・ 図ボタンを押さなくても、補正値が設定されます。
 - 撮影モードがシーンモードの[ベストフェイス]のときは、メイクアップ効果が表示されます(CD45)。



スライダー



ヒストグラム表示

夕 露出補正の設定について

- 以下のシーンモードでは、露出補正は使えません。
 - [タイムラプス動画]([星空/150 分間撮影] または [星軌跡/150 分間撮影] 時)
 - [打ち上げ花火]
 - [比較明合成]

2

 フラッシュ使用時に露出補正を設定した場合は、背景露出とフラッシュの発光量の両 方が補正されます。

🖉 ヒストグラム表示について

ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表すグラフです。フラッシュを使わない撮影で、 露出を補正するときの目安になります。

- 横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画 素数を示します。
- 露出補正を「+」側にすれば山が右側に寄り、「-」側にすれば山が左側に寄ります。



露出補正(明るさを調節する)



Fn (ファンクション) ボタンを使う

P、S、A、MモードでFnボタンを押すと、あらかじめ登録したメニュー項目をす ばやく設定できます。

• 登録できるメニュー項目は以下のとおりです。

画質(囗127)	連写(囗134)
画像サイズ(〇129)	ISO感度設定(囗138)
ホワイトバランス(囗130)	AFエリア選択(01140)
測光方式(□133)	静止画手ブレ補正(□168)

1 撮影画面で、Fn(ファンクション)ボタンを押す

登録したメニュー(初期設定は[連写])の設定項目と「[Fnボタン設定]を選べます。





2 マルチセレクターで設定項目を選び、®ボタン を押す

ら いろいろな撮影

Fn (ファンクション) ボタンを使う

- ●ボタンを押さないと、選択はキャンセルされます。
- 設定を変更せずに撮影画面に戻るには、Fnボタンまたはシャッターボタンを押します。



 メニュー項目の登録を変更するには、「「Fnボタン設定」を選んで®ボタンを 押します。登録したいメニュー項目を選び®ボタンを押すと、登録を変更します。



ズームを使う

ズームレバーまたはサイドズームレバーを動かすと、ズーム位置が変わります。

- 大きく写す: T側
- 広い範囲を写す: ₩側 電源をONにしたときは、最も広角側になっています。





 ズームレバーまたはサイドズームレバーを動かす と、撮影画面にズームの量と焦点距離(35mm判 換算)が表示されます。

- 光学ズームの最大倍率でズームレバーまたはサイ ドズームレバーをT側に動かすと、電子ズームが作動し、さらに約4倍まで拡大 できます。
- ズームレバーをいっぱいまで回すと、ズームが速くなります(動画撮影中を除く)。
- サイドズームレバーの機能は、セットアップメニューの [サイドズームレバー 設定] (□170) で変更できます。
- リモコン ML-L7 (別売)使用時は、リモコンの+ボタンを押すと望遠側に、-ボタンを押すと広角側にズームします。

🖉 電子ズームについて

電子ズームが作動するとズーム表示が青色に変わり、さらに倍率を上げると黄色に変わ ります。

- ズーム表示が青色のとき:ダイナミックファインズームにより、電子ズームによる画 質の劣化が抑えられます。
- ズーム表示が黄色のとき:画質の劣化が目立つことがあります。
- 青色の領域は、画像サイズが小さいほど広くなります。
- 以下の場合は、ズーム表示は青色になりません。
 - [AEブラケティング] 設定時
 - 動画撮影時
- 連写の設定などによっては、ズーム表示が青色にならないことがあります。



70

ら いろいろな撮影

ズームを使う

クイックバックズームを使う

望遠側で撮影中に被写体を見失ったときは、 (クイックバックズーム)ボタンを押すと、見える 範囲(画角)が一時的に広がり、被写体を捉えや すくなります。

- 資ボタンを押したまま、撮影画面のフレーミング 枠内に被写体を捉えます。見える範囲を広げるに は、資ボタンを押したまま、ズームレバーまたは サイドズームレバーをW側に操作します。
- 「ズボタンを離すと、元のズーム位置に戻ります。
- 動画撮影中はクイックバックズームを使えま せん。





フレーミング枠



タッチ撮影を使う

撮影画面でタッチ撮影アイコンをタップすると、 タッチ撮影の機能を切り換えられます。



項目	内容
■ タッチシャッター (初期設定)	タップした被写体にオートフォーカスでピント合わせを して、シャッターがきれます。 ・ 顔認識(ロ75)しているときは、二重枠の AF エリア が表示されている被写体にピントを合わせます。 ・ シャッターボタンを押しても撮影できます。
ਊAF タッチAF	以下の場合に、オートフォーカスでピント合わせをする AFエリアを、タップして選べます。 • P、S、A、M モードで、[AF エリア選択](①140) が[マニュアル(スポット)]、[マニュアル(標準)] または[マニュアル(ワイド)] • シーンモードの[クローズアップ]、[料理]
≧⊕ タッチターゲット追尾	P、S、A、Mモードで、[AFエリア選択] が [ターゲット追尾] のとき、追尾したい被写体をタップで登録できます。
র্ভাff タッチ撮影 OFF	タッチ撮影をしません。

▼ タッチ撮影についてのご注意

- 表示される項目は、撮影モードや設定によって異なります。
- タップして設定できるAFエリアは、撮影モードや設定によって異なります。
- フォーカスモードがMF(マニュアルフォーカス)のときは、タップしてもピント合わせをしません。
- APLの表示中は、ピントが固定されているため、タップしてもピント合わせをしません。
- 連写に設定していても、1コマしか撮影されません。連続撮影するには、シャッターボタンを押してください。
- 動画撮影中は、タッチ撮影を使えません。



タッチ撮影を使う



ピント合わせについて

シャッターボタンの半押しと全押し

半押し	 シャッターボタンを押して、軽く抵抗を感じるところで止めたままにすることを「半押し」といいます。 半押しするとピントと露出(シャッタースピードと絞り値)が合います。半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。 ピントを合わせる位置(AFエリア)は、撮影モードによって異なります。
全押し	 シャッターボタンを深く押し込むことを「全押し」といいます。 ・ 全押しするとシャッターがきれます。 ・ 全押しするときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像が ぶれる(手ブレする)ことがあるので、ゆっくりと押し込ん でください。



ターゲットファインドAFについて

P、S、A、Mモードで[AFエリア選択](口140)が[ターゲットファインドAF] のとき、またはクリエイティブモードのときは、シャッターボタンを半押しする と、以下の動作でピントを合わせます。

- カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わ せます。ピントが合うと、AFエリア表示が緑 色に点灯します。カメラが人物の顔を検出した ときは、人物を優先します。
- カメラが主要な被写体を検出していないとき は、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写 体をとらえているAFエリアでピントが合いま す。ピントが合うと、ピントが合った場所のAF エリア表示が緑色に点灯します。



AFエリア



V ターゲットファインドAFについてのご注意

- どの被写体を主要被写体とみなして検出するかは、撮影条件によって異なります。
- [ホワイトバランス]やクリエイティブモードの効果グループの設定によっては、主要 被写体を検出できないことがあります。
- 以下のような場合、カメラが主要被写体を適切に検出できないことがあります。
 - 被写体が非常に暗い、または明るい
 - 主要被写体の色に特徴が少ない
 - 主要被写体が画面の周辺部にある
 - 主要被写体が同じパターンを繰り返す



74



顔認識撮影について

以下の設定では、人物の顔にカメラを向けると自 動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。

- 🖸 (オート撮影) モード (口32)
- シーンモード(□33)の[おまかセシーン]、 [ポートレート]、[夜景ポートレート]、[ベス トフェイス]
- ショートムービーショーモード(□103)
- 「AFエリア選択」(□□140)を「顔認識オート」に設定時

複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、 AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。

顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しした場合:

- ・

 ① (オート撮影) モード、ショートムービーショーモード、[AFエリア選択] を [顔認識オート] に設定時は、最も手前の被写体をとらえているAFエリア でピントが合います。
- [おまかセシーン]では、カメラが判別した撮影状況によって AF エリアが変わります。
- [ポートレート]、[夜景ポートレート] または [ベストフェイス] では、画面中 央にピントが合います。

▶ 顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。
- 以下のような場合は、顔を認識できません。
 - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
 - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている









オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないこと があります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っ ていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい(太陽が背景に入った日陰の人物など)
- 被写体にコントラストがない(白壁や背景と同色の服を着ている人物など)
- 遠いものと近いものが混在する被写体(オリの中の動物など)
- 同じパターンを繰り返す被写体(窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど)
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影(C277)をお試しください。

マニュアルフォーカスでピントを合わせることもできます(□263、64)。



フォーカスロック撮影

AF(オートフォーカス)エリアが画面中央でも、ピントを固定(フォーカスロック) する方法を使うと、構図を工夫して撮影できます。

- 1 被写体を画面中央に配置し、 シャッターボタンを半押しする • ピントが合い、AFエリア表示が緑色 に点灯します。 露出も固定されます。
 - 被写体との距離は変えないでください。

2 半押ししたまま構図を変える



3 シャッターボタンを全押しして撮影する

✓ AFエリアを任意の場所に移動するには

撮影モードP、S、A、Mでは、撮影メニューの [AFエリア選択] (□140) をマニュア ルに設定すると、マルチセレクターでAFエリアを移動できます。

シャッターボタンを半押しし続けるかわりに、料ボタンで露出またはピントを固定する こともできます(凹171)。







フラッシュモード、セルフタイマー、フォーカス モードの初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュモード (囗57)	セルフタイマー (ロ57)	フォーカスモード (口57)
▲ (オート撮影)	\$ AUTO	OFF	AF ^{™1}
☆ (クリエイティブモード)	\$ AUTO	OFF	AF ^{*1}
SCENE(シーンモード) [●] (おまかせシーン)	\$AUTO ^{**2}	OFF	AF ^{⋇3}
え (ポートレート)	\$®	OFF	AF ^{**3}
🖬 (風景)	③ ^{≈3}	OFF ^{%4}	AF ^{**3}
😼 (タイムラプス動画)	3 *3	OFF	AF ^{*3}
💐 (スポーツ)	③ ^{≈3}	OFF ^{*3}	AF ^{*5}
☑(夜景ポートレート)	\$@ ^{₩3}	OFF	AF ^{**3}
💥 (パーティー)	‡⊛ ^{⋇6}	OFF	AF ^{⋇3}
🗣 (ビーチ)	\$ AUTO	OFF	AF ^{*1}
8 (雪)	\$ AUTO	OFF	AF ^{*1}
🚔 (夕焼け)	③ ^{※3}	OFF	AF ^{⋇3}
當 (トワイライト)	(b ^{*3}	OFF ^{*4}	AF ^{**3}
■(夜景)	(b ^{*3}	OFF ^{*4}	AF ^{**3}
🗱 (クローズアップ)	\$ AUTO	OFF	₩*3
¶(料理)	() *3	OFF	₩*3
(打ち上げ花火)	() *3	OFF ^{*3}	MF ^{*3}
≧(逆光)	\$/ ③ ^{※7}	OFF	AF ^{⋇3}
🗖 (かんたんパノラマ)	(3)**3	OFF ^{*3}	A F ^{₩3}
鬗 (ペット)	3 *3	^{8%8}	AF ^{*1}
SOFT (ソフト)	\$ AUTO	OFF	AF ^{⋇1}
	\$ AUTO	OFF	AF ^{*1}
🔊 (比較明合成)	() *3	ণ্ট3s	AF ^{⋇3}
ご (ベストフェイス)	\$AUTO ^{**9}	OFF ^{*10}	AF ^{**3}
■(ショートムービーショー)	3 *3	OFF	AF ^{*1}
Ρ. S. Α. Μ	\$	OFF	AF

78

6 いろいろな撮影

フラッシュモード、セルフタイマー、フォーカスモードの初期設定-覧



- ※1 MF (マニュアルフォーカス) は選べません。
- ※2 判別した撮影状況に合わせて、カメラが自動でフラッシュモードを設定します。 ③(発光禁止)に変更できます。
- ※3 変更できません。
- ※4 95s [自分撮りタイマー] は使えません。
- ※5 AF (通常AF) またはMF (マニュアルフォーカス) に変更できます。
- ※6 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。
- ※7 [HDR] が [しない] のときは\$(強制発光)に、[HDR] が [する] のときは
 ③(発光禁止)に固定されます。
- ※8 回 [ペット自動シャッター] と95s [自分撮りタイマー] が使えます。[心10s] または [心3s] は使えません。
- ※9 [目つぶり軽減] が [する] のときは使えません。
- ※10 [心10s]、[心3s]、95s [自分撮りタイマー]以外に図[笑顔自動シャッター]や 間[セルフコラージュ]も使えます。



フラッシュモード、セルフタイマー、フォーカスモードの初期設定-覧



撮影時に組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。

制限される機能	設定	内容
	画質(囗127)	RAW画像で記録するときは、4●(赤目軽減 自動発光/赤目軽減発光)に設定していても 赤目軽減処理はされません(JPEG同時記録 時のJPEG画像を含む)。
フラッシュモード	連写(囗134)	[連写 H]、[連写 M]、[連写 L]、[先取り撮 影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps] にすると、フラッシュは使えません。
	AEブラケティング (囗139)	フラッシュは使えません。
	目つぶり軽減 (口49)	[目つぶり軽減]を[する]に設定すると、 フラッシュは使えません。
セルフタイマー	AFエリア選択 (口140)	[ターゲット追尾] にすると、セルフタイ マーは使えません。
クリエイティブスラ イダーの色合い/鮮 やかさ	画質(囗127)	[RAW]、[RAW+FINE]または[RAW+NORMAL] にすると、クリエイティブスライダーの色合い、 鮮やかさは設定できません。
画質	連写(囗134)	 「先取り撮影」にすると、「NORMAL」に 固定されます。 「高速連写 120 fps」、「高速連写 60 fps」 にすると、「RAW」、「RAW+FINE」また は「RAW+NORMAL」は使えません。
画像サイズ	画質(囗127)	 [RAW] にすると、[画像サイズ] は [Py 4608×3456] に固定されます。 [RAW+FINE]、[RAW+NORMAL] にすると、JPEG 画像の「画像サイズ] を設定できます。ただし、[照 4608×2592]、[諸 4608×3072]、[註] 3456×3456] は選べません。
	連写(囗134)	連写の設定によって、 [画像サイズ] は以下 に固定されます。 ・ [先取り撮影] 時: [2 <u>4</u> 1600×1200] ・ [高速連写 120 fps] 時: [2 <u>4</u> 1600×1200] ・ [高速連写 60 fps] 時: [2 <u>4</u> 1600×1200]

🕤 いろいろな撮影

撮影時に組み合わせて使えない機能



制限される機能	設定	内容
ホワイトバランス	クリエイティブスラ イダーの色合い (口66)	クリエイティブスライダーで色合いを調節 すると、撮影メニューの「ホワイトバラン ス」は設定できません。「ホワイトバランス を設定するときは、クリエイティブスライ ダーの設定画面でRを選び、いったん明るさ、 鮮やかさ、色合い、アクティブD-ライティ ングの設定をリセットしてください。
測光方式	クリエイティブスラ イダーのアクティブ D-ライティング (印66)	[アクティブD-ライティング]を使うとき は、[測光方式]は[マルチパターン]にリ セットされます。
	セルフタイマー (��61)	[先取り撮影] に設定時、セルフタイマーに すると、[単写] に固定されます。
連写	画質(囗127)	[RAW]、[RAW+FINE]または[RAW+NORMAL] にすると、「先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、 [高速連写 60 fps] は使えません。
	AEブラケティング (囗139)	同時に使えません。
ISO感度設定	連写(囗134)	[先取り撮影] 、[高速連写 120 fps] 、[高速 連写 60 fps] にすると、[ISO感度設定] は 明るさに応じて自動的に設定されます。
AEブラケティング	セルフタイマー (��61)	[AEブラケティング] は使えません。
	連写(〇〇134)	同時に使えません。
	フォーカスモード (�� 63)	MF(マニュアルフォーカス)に設定すると、 [AFエリア選択] は設定できません。
AFエリア選択	クリエイティブスラ イダーの色合い (口66)	[ターゲットファインドAF]時、クリエイ ティブスライダーで色合いを調節すると、主 要被写体は検出しません。主要被写体を検出 するには、クリエイティブスライダーの設定 画面でRを選び、いったん明るさ、鮮やかさ、 色合い、アクティブD-ライティングの設定 をリセットしてください。
	ホワイトバランス (四130)	[ターゲットファインドAF]時、[ホワイト バランス]を[オート]以外にすると、主要 被写体は検出しません。
AFモード	フォーカスモード (口63)	MF(マニュアルフォーカス)に設定すると、 [AFモード] は設定できません。
日つぶり軽減	セルフコラージュ (Щ47)	[セルフコラージュ] を設定すると、[目つぶ り軽減] は使えません。
	笑顔自動シャッター (□150)	[笑顔自動シャッター]を設定すると、[目 つぶり軽減] は使えません。

81

らいろいろな撮影

撮影時に組み合わせて使えない機能

制限される機能	設定	内容
	画質(囗127)	[RAW]、[RAW+FINE]または[RAW+NORMAL] のときは、日付と時刻を写し込めません。
日付写し込み	連写(囗134)	[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速 連写 60 fps] にすると、日付と時刻を写し 込めません。
壷ヱブニ ル	画質(囗127)	[RAW]、[RAW+FINE]または[RAW+NORMAL] にすると、電子ズームは使えません。
	AFエリア選択 (印140)	[ターゲット追尾] にすると、電子ズームは 使えません。
シャッター音	AEブラケティング (皿139)	シャッター音は鳴りません。

▶ 電子ズームについてのご注意

・撮影モードや設定によっては、電子ズームを使えません(□169)。

• 電子ズーム使用時は、画面中央でピント合わせを行います。



撮影時に組み合わせて使えない機能



いろいろな再生

広大表示	84
サムネイル表示 / カレンダー表示	85
グループ画像の再生と削除	86
画像の編集(静止画)	88



🕤 いろいろな再生

拡大表示

再生モードの1コマ表示(◯27)でズームレバーを ▼(Q拡大表示)側に動かすと、拡大表示されます。





- ・ 拡大率を調節するには、ズームレバー(₩(図)/T(Q))を動かします。
 コマンドダイヤルを回しても操作できます。
- 表示位置を移動するには、マルチセレクターの▲▼◀ ▶を押します。
- 拡大表示中に図ボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。

画像をトリミングするには

拡大表示中にMENUボタンを押すと、表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます(□□94)。

ダ 再生画面でのタッチパネル操作について

タッチパネルを使って、再生画面の操作ができます(□7)。



拡大表示



サムネイル表示/カレンダー表示

再生モードの1コマ表示(□27)でズームレバーを ₩(■サムネイル表示)側に動かすと、画像を一覧 できる「サムネイル表示」になります。





- 表示コマ数は、ズームレバー(₩ (■) /T (Q))で変更できます。
- サムネイル表示で、マルチセレクターの▲▼< ▶または回転で、画像を選び
 ・ ボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示します。
- カレンダー表示で、▲▼◀ ▶または回転で、日付を選び@ボタンを押すと、その日に撮影した画像に移動して表示します。
- コマンドダイヤルを回しても画像を選べます。

▶ カレンダー表示についてのご注意

日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で「2019年1月1日」の画像として 扱われます。

ダ 再生画面でのタッチパネル操作について

タッチパネルを使って、再生画面の操作ができます(27)。



サムネイル表示/カレンダー表示

グループ画像の再生と削除

グループ画像の再生方法

連写した画像やセルフコラージュで撮影した画像は「グループ画像」として保存 されます。

1コマ表示やサムネイル表示では、グループ内の1 コマを代表画像として表示します。

●ボタンを押した後の操作方法は、以下のとおりです。

- ・ 画像を切り換えるには、マルチセレクターを回
 すか、
 ◆ ▶を押します。
- 表示しているグループ以外の画像を見るには、
 ▲を押し、代表画像の表示に戻します。
- グループ内の画像をサムネイル表示やスライ
 ドショーで再生するには、再生メニュー [グループ表示設定] (□157) を [1 枚すつ] にしてください。

✔ グループ画像の表示方法について

このカメラ以外で撮影した画像は、グループ画像として表示できません。

グループ画像で使える再生メニュー

- グループ内の画像の1コマ表示中にMENUボタンを押すと、再生メニュー(□153)の機能が選べます。
- ・ 代表画像で MENU ボタンを押すと、そのグループ内の画像すべてに、以下の設定ができます。
 - 送信画像の指定、プロテクト設定、画像コピー



グループ画像の再生と削除







グループ画像を削除する

グループ画像では、**旬**(削除)ボタンを押すときに表示されている画像によって、 削除される対象が異なります。

- 代表画像の表示中:
 - [表示画像]:表示しているグループ内の画像をすべて削除します。
 - [削除画像選択]:削除画像の選択画面(□29)で代表画像を選ぶと、そのグループ内の画像をすべて削除します。
 - [全画像]:メモリーカードまたは内蔵メモリー内の画像をすべて削除します。
- ・ グループ内画像の1コマ表示中:
 - [表示画像]:表示している1コマを削除します。
 - [削除画像選択]:グループ内の画像を選択して削除します。
 - [表示グループ]:表示しているグループ内の画像をすべて削除します。



グループ画像の再生と削除



画像の編集(静止画)

画像編集の前に

このカメラでは画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別に、異 なるファイル名で保存されます。

編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。

個像編集の制限

- RAW画像は編集できません。
- JPEG画像は、10回まで編集できます。動画編集で作成した静止画は9回まで編集できます。
- 画像サイズや編集の種類によっては、編集できないことがあります。





簡単レタッチ(コントラストと鮮やかさを高める)

▶ ボタンを押す(再生モード)→ 画像を選ぶ → MENUボタン → 簡単レタッチ → ∞ボタン

マルチセレクターの▲▼で効果の度合いを 選び、®ボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、
 ◆ 存担します。



D-ライティング(画像の暗い部分を明るく補正する)

▶ ボタンを押す(再生モード)→ 画像を選ぶ → MENUボタン → D-ライティング → ® ボタン

マルチセレクターの▲▼で効果の度合いを 選び、®ボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、
 ◆を押します。





赤目補正(フラッシュ撮影による赤目を補正する)

▶ボタンを押す(再生モード)→画像を選ぶ→MENUボタン→赤目補正→ ®ボタン

効果を確認し、®ボタンを押す

中止するときは、マルチセレクターの◀を押します。



▶ 赤目補正についてのご注意

- カメラが赤目現象を検出できない画像は補正されません。
- ペット(犬または猫)の場合、目の色が赤以外の場合でも補正されます。
- 画像によっては、望ましい結果が得られないことがあります。
- まれに赤目以外の部分が補正されることがあります。

メイクアップ効果(人物の顔をきれいに見せる)

▶ ボタンを押す(再生モード)→ 画像を選ぶ → MENUボタン → メイクアップ効果 → ®ボタン

- マルチセレクターの▲▼◀ ▶で編集す る人物を選び、®ボタンを押す
 - 検出した顔が1人のときは、手順2へ進んでく ださい。





90

らいろいろな再生



- 同時に複数の効果を付けられます。 のボタンを押す前に、すべての効果を設定ま たは確認してください。 [1] 「小顔」、□「美肌」、□「ファンデーショ」 ン]、□□、「テカリ軽減]、 😲 「クマ軽減]、 🔮 [ビッグアイ]、 𝘍 [ホワイトアイ]、 𝘍 [アイシャドウ]、 𝔩 [マスカラ]、 ➡ [歯のホワイトニング]、3 [リップカラー]、5 [チーク]
- 人物の選択画面に戻るには、MENUボタンを押します。

3 効果を確認し、®ボタンを押す

- 設定をやり直すには、<
 を押して手順2に戻り ます。
- 効果を付けた画像を保存せずに終了するに は、MENUボタンを押します。





4 [はい] を選び、 @ ボタンを押す

編集画像が作成されます。

保存します。 よろしいですか? はい いいえ

▶ メイクアップ効果についてのご注意

- 一回で編集できる顔は1人です。別の顔にメイクアップ効果をつけるには、編集済み 画像を再編集します。
- ・
 顔の向きや明るさなどによっては、
 適切に顔を検出できないことや望ましい
 効果が
 得
 られないことがあります。
- 顔を検出できないときは、警告メッセージが表示され、再生メニューに戻ります。
- ISO感度が1600以下の条件で撮影した画像、および画像サイズが640×480以上の画像 のみ、メイクアップ効果の編集ができます。



画像の編集(静止画)



フィルター効果(デジタルフィルター)

▶ ボタンを押す(再生モード)→ 画像を選ぶ → MENUボタン → フィルター効果 → ® ボタン

項目	内容
ソフトポートレート	人物の背景をぼかします。人物が認識できない場合は、画面中 央部を残し、そのまわりをぼかします。
セレクトカラー	選択した色だけを残し、他の色は白黒にします。
クロススクリーン	太陽の反射や街灯などの光源から、放射状に光の筋を伸ばしま す。夜景などを撮影した画像が適しています。
魚眼効果	魚眼レンズで撮影したような画像にします。マクロで撮影した 画像が適しています。
ミニチュア効果	ミニチュア(模型)を接写したように加工します。高いところ から見下ろして撮影した画像で、主要な被写体が画面中央付近 に写った画像が適しています。
絵画調	絵画のような雰囲気に加工します。
周辺減光	画像の中央部から外側の周辺光量を下げた加工をします。
フォトイラスト	輪郭を強調し、色数を減らすことでイラスト風の画像にします。
背景モノクロポート レート	人物の背景をモノクロにします。人物が認識できない場合は、 画面中央部を残し、そのまわりをモノクロにします。

マルチセレクターの▲▼でフィルター 効果の種類を選び、®ボタンを押す

[セレクトカラー] 以外の場合 → 手順3





92

🕤 いろいろな再生

2 ▲▼で残したい色を選び、@ボタンを 押す



3 効果を確認し、®ボタンを押す

- 編集画像が作成されます。
- 中止するときは、◀を押します。





トリミング(画像の一部を切り抜く)

- 1 ズームレバーで拡大表示する(□184)
- 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節し、MENU(メニュー)ボタン を押す
 - ズームレバーを▼(Q)または₩(図)側に 動かして拡大率を調節します。■:₩が表示さ れる拡大率にしてください。
 - マルチセレクターの▲▼◀▶で表示範囲を移動します。
- 3 トリミング範囲を確認し、 ® ボタンを 押す
 - トリミング範囲を選び直すには、
 を押して 手順2に戻ります。
 - トリミング画像を保存せずに終了するには、 MENUボタンを押します。
- 4 [はい]を選び、@ボタンを押す
 - 編集画像が作成されます。

▶ トリミングについてのご注意

かんたんパノラマの画像は編集できません。

🖉 画像サイズについて

- トリミング後のアスペクト比(横:縦)は、元画像と同じです。
- トリミングして画像サイズが320×240以下になった画像は、再生画面で小さく表示されます。








動画

動画の基本的な撮影と再生	
動画撮影中に静止画を記録する	
タイムラプス動画を撮影する	
ショートムービーショーモード(つなげて作る短編動画)	
動画再生中の操作	
動画の編集	





動画の基本的な撮影と再生

撮影画面を表示する

- 記録できる時間を確認します。
- 動画の写る範囲を示す動画枠の表示をおすす めします(①97)。

動画の記録可能時間





2 ● (*果動画撮影) ボタンを押して、動 画の撮影を開始する

- 画面中央でピントが合います。
- ボタンを押すと撮影を一時停止し、もう一度●ボタンを押すと撮影を再開します(「動画設定」をHS動画にした場合を除く)。一時停止したまま約5分経過すると、撮影が終了します。
- 動画撮影中にシャッターボタンを押すと、静止画を記録できます(□100)。





- 3 (▶▼) ボタンを押して、撮影を終了する
- 4 再生モードの1コマ表示で動画を選び、 ◎ボタンを押して再生する
 - 動画設定のアイコンが表示されている画像が 動画です。





ら 動画

動画枠について

- 動画枠を表示するには、セットアップメニュー [モニター設定] (□163)の [モニター表示設定] を [動画枠+情報オート] にします。動画撮影開始前に動 画の写る範囲を確認できます。
- 動画の写る範囲は、動画メニューの「動画設定」や「動画手ブレ補正」などの 設定によって異なります。

動画撮影中のピントと露出について

- ・動画撮影中のピントは、動画メニュー [AF モード] (□143)の設定によって 以下のようになります。
 - AF-S [シングルAF](初期設定):動画撮影開始時に固定されます。動画撮影 中にピントをオートフォーカスで合わせたいときは、マルチセレクターの◀ を押します。
 - AF-F [常時AF]:動画撮影中もピント合わせを繰り返します。動画撮影中に 縦ボタンを押すと、露出またはピントが固定されます。解除するには、もう 一度縦ボタンを押します。
- フォーカスモード(口63)が、MF(マニュアルフォーカス)のときは、手動 でピントを合わせます。動画撮影中も、マルチセレクターを左に回すと遠くの 被写体に、右に回すと近くの被写体にピントを合わせられます。コマンドダイ ヤルを回しても、ピント合わせができます。セットアップメニューの[サイド ズームレバー設定](口170)を[MFレバー]にすると、サイドズームレバー でもピント合わせができます。
- 動画撮影中は、露出を合わせ続けます。
 魚ボタンを押すと、露出またはピントが固定されます。
- セットアップメニューの [AE-L/AF-Lボタン設定] (□171)の設定によって、 動画撮影中に▶を押したときの動作が以下のように異なります。
 - [AE-L] または [AE-L (ホールド)] のとき:
 ▶を押すと、ピントが固定されます。解除するには、もう一度▶を押します。
 [AF-L] のとき:
 - ▶を押すと、露出が固定されます。解除するには、もう一度▶を押します。





動画の連続撮影可能時間

1回の撮影で記録可能な時間は、メモリーカードの残量が多いときでも最長29分です。 また、動画のファイルサイズの上限は、1ファイルにつき最大4GBです。29分未 満の動画撮影でも、1ファイルのサイズが4GBを超えると複数のファイルに分割さ れ、連続再生できません(□145)。

- 撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。
- カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することが あります。
- 実際に記録可能な時間は、画像の絵柄や動き、メモリーカードの種類によって 異なることがあります。
- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6 (ビデオスピードクラスV6) 以上のメモリーカードをおすすめします。[動画設定] が [200%) 2160/30p] (4K UHD) または [200%) 2160/25p] (4K UHD) の場合は、UHSスピードクラス3 (ビデオスピードクラスV30) 以上のメモリーカードをおすすめします。転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

▶ カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの 温度が高くなることがあります。
- 動画撮影中、カメラ内部が極端に高温になると、撮影が自動終了します。自動終了までの残りの秒数(

 10s)が画面に表示されます。
 自動終了後、電源もOFFになります。
 カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。

動画撮影についてのご注意

▶ 撮影後の記録についてのご注意

- 撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像また は動画の記録中です。電池/メモリーカードカバーを開けたり、電池やメモリーカード
 を取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメ ラやメモリーカードが壊れることがあります。
- 内蔵メモリーを使うと、動画の記録に時間がかかることがあります。
- [動画設定] によっては、内蔵メモリーに記録できないことがあります。また、メモ リーカードから内蔵メモリーにコピーできないことがあります。



98

動画の基本的な撮影と再生

▶ 記録した動画についてのご注意

- 電子ズームを使うと画質が劣化します。
- ズームレバーなどの操作音、ズーム、オートフォーカス、動画手ブレ補正、明るさが 変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画撮影中の画面の表示に、以下のような現象が発生する場合があります。これらの 現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
 - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す 被写体(布地や建物の格子窓など)に色の付いた縞模様(干渉縞、モアレ)が現れる ことがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故 障ではありません。

▶ 動画撮影時の手ブレ補正についてのご注意

- ・動画メニューの [動画手ブレ補正](□151)を [する (ハイブリッド)] に設定すると、動画撮影時に画角(写る範囲)が狭くなります。
- 三脚などで固定して撮影するときは、補正機能の誤動作を防ぐため、「動画手ブレ補 正]を「しない」に設定してください。

✔ オートフォーカスについてのご注意

「オートフォーカスが苦手な被写体」(印76)では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を撮影するときは、MF(マニュアルフォーカス)(印63、64)でピントを合わせるか、以下の方法をお試しください。

- 1. 撮影前に動画メニューの [AFモード] を [シングルAF] (初期設定) にする。
- 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して●(*果)ボタンを押し、動画撮影を 開始してから構図を変える。



ら 動画

動画撮影中に静止画を記録する

動画の撮影中に、シャッターボタンを全押ししたと きの1フレームを静止画(JPEG画像)として記録で きます。静止画の記録中も動画撮影が続きます。

- 画面に

 が表示されているときに記録できま
 す。表示が
 めのときは記録できません。
- 記録される静止画の画像サイズは、動画の画像 サイズ(口146)と同じになります。画質は [NORMAL]に固定されます。



▶ 動画撮影中の静止画記録についてのご注意

- 以下の場合は、動画撮影中の静止画記録はできません。
 - 動画記録可能時間が5秒未満の場合
 - [動画設定] (□145) がHS動画の場合
- 静止画を記録した瞬間の動画のフレームは、なめらかに再生されない場合があります。
- 撮影中の動画にシャッターボタンの操作音が録音されることがあります。
- シャッターボタンを押すときに、カメラが動いて画像がぶれることがあります。

タッチ操作による静止画記録について

画面の回をタップしても、動画撮影中に静止画を記録 できます。





⑤動画

タイムラプス動画を撮影する

静止画を一定間隔で自動撮影し、時間の経過による被写体の変化を約10秒間の早 送り動画にして記録します。

動画メニューの[フレームレート設定]が[30 fps (30p/60p)] 時は、300コマ撮影し[画面1080/30p]で記録します。[25 fps (25p/50p)] 時は、250コマ撮影し[画面1080/25p]で記録します。

撮影モードダイヤルをSCENEに合わせる → MENUボタン → ゆ タイムラプス動画 → ®ボタン

퓲粘/堤影 斫亜咕問	撮影間隔	
程度/J取於//安時間	30 fps (30p/60p)	25 fps (25p/50p)
區。街中/10分間撮影 ^{※1}	2秒	2.4秒
🛃 風景/25 分間撮影 ^{※2}	5秒	6秒
圖。夕焼け/50分間撮影 ^{※2}	10秒	12秒
🕃 星空/150 分間撮影 ^{※3、4}	30秒	36秒
28 星軌跡/150分間撮影 ^{※4、5}	30秒	36秒

※1 ピントは画面中央のエリアで合わせます。

※2 ピントは遠景に合います。

※3 星の動きなどに適しています。ピントは無限遠に固定します。

- ※4 ズームが、最も広角側に自動的に移動します。望遠側のズーム位置は、300 mm相 当(35mm判換算)の撮影画角までに制限されます。
- ※5 画像処理で星の動きを光の線で表現します。ピントは無限遠に固定します。





動画

タイムラプス動画を撮影する

- 2 露出(明るさ)を固定するかどうかを 選び、∞ボタンを押す([星軌跡/150 分間撮影]および[星空/150分間撮影] を除く)
 - [AE-Lする]にすると、露出を1コマ目で固定します。夕暮れなど、明るさの変化が激しいときは[AE-Lしない]をおすすめします。



3 三脚などでカメラを固定する

- 4 シャッターボタンを押し、1コマ目を撮影する
 - 露出補正(□68)は、1コマ目のシャッターをきる前に設定してください。1コマ目を撮影した後は変更できません。ピントと色合いは、1コマ目の撮影時に固定されます。



- 2コマ目以降は自動でシャッターがきれます。
- 撮影の合間は、画面が消灯することがあります。画面の消灯中は、電源ランプが 点滅します。
- 300コマまたは250コマ撮影すると自動終了します。
- ●ボタンを押すと、撮影所要時間が終わる前に撮影を終了し、タイムラブス動画を記録します。
- 音声と静止画は記録されません。

▶ タイムラプス動画についてのご注意

- メモリーカードを入れていないときは、撮影できません。
- 撮影が終了するまでは、撮影モードダイヤルを回したり、メモリーカードを抜いたりしないでください。
- 途中で電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。
- セットアップメニューの [静止画手ブレ補正] (□168)の設定にかかわらず、手ブレ 補正を行いません。



102

タイムラプス動画を撮影する

ショートムービーショーモード (つなげて作る) 短編動面)

数秒間ずつ撮影した動画を自動でつなげて、最長 30秒間のショートムービーショー([00%) 1080/ 30p] または [200] 1080/25p]) を作成します。



- 1 MENU(メニュー)ボタンを押し、撮影 の設定をする
 - ・ [撮影回数]:動画(素材)の記録時間と撮影 回数の組み合わせを選びます。 初期設定では、2秒間の素材を15回撮影し、 30秒間の動画を作成します。



- 「スペシャルエフェクト」(□104): さまざま な効果をつけて撮影できます。効果は素材ごとに変更できます。
- [BGM]: バックグラウンドミュージックを選びます。ズームレバー(CD2)をT (Q) 側に動かすと、試聴できます。
- 設定が終了したら、MENUボタンまたはシャッターボタンを押してメニュー画面を 終了してください。

2 ● (▶ 動画撮影) ボタンを押して、素 材を撮影する

- ・ 手順1で設定した素材の記録時間が経過する
 と、自動的に撮影が終了します。
- 一連の撮影は、一時的に中断できます。→「撮 影の中断について ((11105)

3 撮影した素材を確認、または削除する

- 確認するには、Wボタンを押します。
- 削除するには、 fm ボタンを押します。 直前に 撮影した素材、またはすべての素材を削除で きます。
- 素材の撮影を続けるには、手順2の操作を繰り 返します。
- 効果を変更するには、手順1に戻ります。





撮影回数





< 動画

4 ショートムービーショーを保存する

- 設定した回数の素材を撮影し終えると、ショートムービーショーが保存されます。
- 設定した回数の撮影を終える前にショートムービーショーを保存するには、撮影 待機画面でMENUボタンを押し、[撮影終了]を選びます。
- 保存すると、素材は削除されます。

スペシャルエフェクトの効果

機能	内容
SOFT ソフト	やわらかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼか します。
SEPIA ノスタルジックセピア	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような 雰囲気にします。
□ 硬調モノクローム	コントラストが強めの白黒写真にします。
🖋 セレクトカラー	選択した色だけを残し、他の色は白黒にします。
POP ポップ	画像全体の色を鮮やかにし、明るい雰囲気にします。
🖄 クロスプロセス	特定の色を基調にして、不思議な雰囲気を表現します。
息1 トイカメラ風 1	画像全体を黄色がかった色合いにし、さらに周囲を暗 めに表現します。
息2 トイカメラ風 2	画像全体の色を薄くし、さらに周囲を暗めに表現します。
■ □ ミラー	画像中心から左半分を反転して、左右対称な写真にし ます。
OFF しない (初期設定)	画像に効果を付けません。

 [セレクトカラー] または [クロスプロセス] を 選んだときは、マルチセレクターの▲▼で色を 選び、®ボタンで決定します。





ショートムービーショーモード(つなげて作る短編動画)

ら 動画

素材確認中の操作

音量を調整するには、再生中にズームレバー (□2)を動かします。 画面に操作パネルが表示されます。 マルチセレクターの◀▶でアイコンを選び、∞ボ タンを押すと以下の操作ができます。



機能	アイコン	内容		
巻き戻し	*			
早送り	*			
		一時停止します。一時停止中は、以下の操作ができます。		
一時停止	_	コマ戻しします。押し続けると、連続してコマ戻しします。		
		□マ送りします。押し続けると、連続してコマ送りします。		
		■ 再生を再開します。		
再生終了		撮影の待機画面に戻ります。		
撮影終了	ť	撮影済みの素材でショートムービーショーを保存します。		

▶ 撮影時のご注意

- メモリーカードを入れていないときは、撮影できません。
- ショートムービーショーを保存するまでは、メモリーカードを交換しないでください。

- ・ 待機画面でシャッターボタンを押すと、静止画(画質 [NORMAL]、画像サイズ [脱 4608×2592])を撮影できます。
- 撮影を中断して、他のモードに切り換えて撮影や再生ができます。再度ショートムービーショーモードを選ぶと、素材の撮影を再開できます。

ショートムービーショーモードで設定できる機能

- セルフタイマー (□61)
- フォーカスモード (□63)
- 露出補正 (〇〇68)
- ショートムービーショーメニュー (□103)
- 動画メニュー (□145)

105

動画

ショートムービーショーモード(つなげて作る短編動画)

動画再生中の操作

音量を調節するには、再生中にズームレバー (□2)を動かします。 早送り/巻き戻しをするには、マルチセレクターま たはコマンドダイヤルを回します。 画面に操作パネルが表示されます。 マルチセレクターの◀▶でアイコンを選び、@ボ

タンを押すと以下の操作ができます。





機能	アイコン	内容	
巻き戻し	¥	●ボタンを押している間、巻き戻しします。	
早送り	*	够ボタンを押している間、早送りします。	
		一時停止します。一時停止中は、以下の操作ができ	きます。
		□マ戻しします。押し続けると、連続して しします。※	コマ戻
一時停止	■ コマ送りします。押し続けると、連続して りします。※	コマ送	
	▶ 再生を再開します。		
		■ 撮影した動画の必要な部分だけを切り出 ファイルとして保存します。	し、別
			切り出
再生終了		1コマ表示に戻ります。	

※ マルチセレクターまたはコマンドダイヤルを回してもコマ送り/コマ戻しできます。

動画再生中のタッチパネル操作について

動画再生中に画面をタップすると、一時停止します(□□7)。一時停止中に画面をタップ すると、再生を再開します。

動画の編集

動画の編集をするときは、編集中に電源が切れないよう、十分に残量のある電池 をお使いください。電池残量表示が回のときは、動画編集の操作はできません。

動画の必要な部分だけを切り出す

撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。

- 編集する動画を再生して、切り出したい先頭で一時停止する (□106)
- 2 マルチセレクターの◀ ▶で操作パネルの図を選び、®ボタンを押す



始点の設定

5

3 ▲▼で編集操作パネルの以() 始点の設定)を選ぶ

- ●またはコマンドダイヤルを回して、始点を調節します。始点アイコンをスライドしても調節できます(□17)。



4 ▲▼で以(終点の設定)を選ぶ

- ●またはコマンドダイヤルを回して、終点を調節します。終点アイコンをスライドしても調節できます。
- 設定した範囲をプレビューするには、▲▼で
 を選び、®ボタンを押します。プレビューを停止するときは、もう一度®ボタンを押します。





107

5 ▲▼で□(保存)を選び、∞ボタンを 押す

• 画面に従って保存します。



▶ 動画の切り出しについてのご注意

- 編集で作成した動画は、再編集できません。
- 設定した始点/終点のフレームと、実際の切り出し範囲は、多少ずれることがあります。
- 再生時間が2秒未満になる切り出しはできません。

動画の1フレームを静止画として保存する

撮影した動画の1画面を静止画として切り出して保存します。

- 動画の再生を一時停止して、切り出したい画面 を表示します(囗106)。
- マルチセレクターの
 ●で操作パネルの
 図を選び、
 のボタンを押します。
- 確認画面で [はい] を選び、 ®ボタンを押して 保存します。
- 保存される静止画の画質は [NORMAL] です。
 画像サイズは元の動画の画像サイズ (□146)
 になります。



▶ 静止画切り出しの制限

HS動画で撮影した動画から静止画を切り出すことはできません。



⑤動画

動画の編集

テレビ、プリンター、パソコンとの 接続

画像の活用方法	110
テレビで鑑賞する	111
パソコンを使わずにプリントする	112
パソコンに画像を取り込む(ViewNX-i)	



109

S テレビ、プリンター、パソコンとの接続

画像の活用方法

撮影した画像は、SnapBridgeアプリを使って楽しむだけでなく、以下の機器とカ メラを接続することで、さまざまな用途に活用できます。

テレビで鑑賞する



撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。 接続方法:市販のHDMIケーブルをテレビのHDMI入力端子に接続 します。

パソコンを使わずにプリントする



PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像 をプリントできます。 接続方法: USBケーブルをプリンターのUSB端子に接続します。

パソコンに画像を取り込む (ViewNX-i)



パソコンに画像や動画を取り込んで、閲覧、編集ができます。 接続方法:USBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。 ・パソコンと接続する前に、ViewNX-iをパソコンにインストール

してください。

▶ カメラにケーブルを接続するときのご注意



- プラグは形状と向きを確認して、必ずカメラの電源をOFF にしてから、まっすぐに抜き差ししてください。
- カメラの電池残量が十分にあることを確認してください。別売のACアダプター EH-62F を使うと、家庭用コンセントからこのカメラへ電源を供給できます。EH-62F以外のAC アダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- 接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書もあわせてお読みください。

110

🕤 テレビ、プリンター、パソコンとの接続

テレビで鑑賞する

1 カメラの電源をOFFにし、テレビに接続する

• プラグは形状と向きを確認して、まっすぐに抜き差ししてください。



- 2 テレビの入力を外部入力に切り換える
 - 詳しくはお使いのテレビの説明書をご覧ください。

3 カメラの ▶ (再生)ボタンを長押しして 電源をONにする

- 画像がテレビに表示されます。



▶ HDMIケーブル接続中のご注意

- カメラを撮影モードにすると撮影画面が表示されますが、HDMI ケーブルで接続中は 撮影できません。
- カメラの撮影画面はHDMI出力先の画面に表示されますが、音声は出力されません。
- HDMI出力先の画面には、撮影情報や画像情報が表示されません。
- HDMIケーブル接続中は、タッチ操作ができません。
- HDMIケーブル接続中は、通信メニューを選べません。



111

「テレビ、プリンター、パソコンとの接続

テレビで鑑賞する

パソコンを使わずにプリントする

PictBridge対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます(ダイレクトプリント)。

カメラとプリンターを接続する

- 1 プリンターの電源をONにする
- 2 カメラの電源をOFFにし、USBケーブルでカメラとプリンターを接続する
 - プラグは形状と向きを確認して、まっすぐに抜き差ししてください。



- 3 カメラの電源が自動的にONになる
 - カメラの画面に [PictBridge] 画面(①) が表示された後、[プリント画像選択] 画面(②) が表示されます。



V PictBridge画面が表示されないときは

プリンターによっては、[**パソコン接続充電**](①175)を[**オート**]にするとプリ ントできない場合があります。電源がONになってもPictBridge画面が表示されな いときは、カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外し、[**パソコン接 続充電**]を[**しない**]に設定してから、再接続してください。

112

₲ テレビ、プリンター、パソコンとの接続

パソコンを使わずにプリントする

1コマずつプリントする

- 1 マルチセレクターの◀▶でプリントす る画像を選び、®ボタンを押す
 - ズームレバーを₩(■)側に動かすと一覧表 示に、T(Q)側に動かすと1コマ表示に切り 換わります。
- 2 ▲▼ で [プリント枚数設定] を選び、 ®ボタンを押す
 - ▲▼でプリント枚数 (9枚まで)を設定し、 ボタンを押します。



[32]

5

□: △MENU 03決定 ○

No. 32

ブリント画像選択

ĸ

3 [用紙設定]を選び、 @ボタンを押す

- 用紙サイズを選び、Wボタンを押します。
- プリンター側の用紙設定で印刷するには、「プ リンターの設定〕を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプ リンターによって異なります。
- 4 [プリント実行]を選び、のボタンを押す
 - プリントが始まります。











「「テレビ、プリンター、パソコンとの接続」

パソコンを使わずにプリントする

複数の画像をプリントする

[プリント画像選択] 画面が表示された
 ら、MENU(メニュー)ボタンを押す



マルチセレクターの▲▼で[用紙設定] を選び、®ボタンを押す

- 用紙サイズを選び、OWボタンを押します。
- プリンター側の用紙設定で印刷するには、「プリンターの設定」を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリンターによって異なります。
- プリントメニューを終了したいときは、MENUボタンを押します。
- 3 [プリント選択] または [全画像プリント] を選んで、∞ボタンを押す







114

🕤 テレビ、プリンター、パソコンとの接続

パソコンを使わずにプリントする

プリント選択

プリントする画像(最大99コマまで) と、プリント枚数(各9枚まで)を設定 します。

- マルチセレクターの ◀▶ で画像を選び、▲▼でプリント枚数を設定します。
- ブリントされる画像には、 4 とプリント枚数が表示されます。選択をキャンセルするには、枚数を0にします。
 ズームレバーをT(9)側に動かすと



- 1 コマ表示に、₩(🛃)側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- ・設定が終了したら
 ● ボタンを押します。プリント枚数の確認画面が表示 されたら、[プリント実行]を選び、
 ● ボタンを押すと画像のプリント が始まります。

全画像プリント

メモリーカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリント します。

プリント枚数の確認画面が表示されたら、[ブリント実行]を選び、
 ・
 ・
 ボタンを押すと画像のプリントが始まります。
 ・



5 テレビ、プリンター、パソコンとの接続

パソコンに画像を取り込む(ViewNX-i)

ViewNX-iをインストールする

ViewNX-iは、画像や動画の取り込み、閲覧、編集ができるニコンのソフトウェア です。

下記ウェブサイトから最新のインストーラーをダウンロードし、画面の指示に 従ってインストールしてください。

https://downloadcenter.nikonimglib.com

最新情報、動作環境は、当社ウェブサイトのサポート情報でご確認ください。

パソコンに画像を取り込む

パソコン画面の表示は、OSやソフトウェアのバージョンアップで変更になること があります。

1 画像の入ったメモリーカードを用意する

メモリーカード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込めます。

- パソコンのカードスロット、またはパソコンに接続した市販のカードリーダーに メモリーカードを差し込む。
- メモリーカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルでカメラ とパソコンを接続する。 カメラの電源が自動的にONになります。 内蔵メモリー内の画像を取り込むには、カメラにメモリーカードを入れずにパソ コンに接続します。



▶ パソコン接続時のご注意

パソコンから電源を供給するタイプの他のUSB機器はパソコンから取り外してください。同時に接続すると動作に不具合が発生したり、パソコンからの供給電力が 過大になり、カメラ、メモリーカードなどが壊れるおそれがあります。





「テレビ、プリンター、パソコンとの接続

パソコンに画像を取り込む(ViewNX-i)

起動するプログラム(ソフトウェア)を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、 Nikon Transfer 2を選びます。

- Windows 7をお使いの場合 右の画面が表示されたときは、次の 手順でNikon Transfer 2を選びます。
 - 1 [画像とビデオのインボート]の [プログラムの変更] をクリック すると表示される画面で、Nikon Transfer 2を選んで、[OK] をク リックする
 - 2 Nikon Transfer 2アイコンをダブルクリックする
- Windows10またはWindows 8.1をお使いの場合 右のダイアログが表示されたときは、ダイアログ をクリックし、(画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2) をクリックします。



タップして さい。	× このデバイスに対して行う操作を選んでくだ
	•
080	
このデバー	イスに対して行う操作を選んでください。
1.9	画像ファイルを取り込む Nikon Transfer 2
	デバイスを聞いてファイルを表示する エクスプローラー
2	写真とビデオのインボート フォト
\otimes	何もしない

OS XまたはmacOSをお使いの場合

Nikon Transfer 2が自動起動しないときは、カメラとパソコンを接続した状態で、 Mac付属のアプリケーション [イメージキャプチャ] を起動し、カメラを接続時 に開くアプリケーションとしてNikon Transfer 2を設定してください。

メモリーカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる 場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

V USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

ViewNX-iの詳しい使い方は

ViewNX-iのヘルプを参照してください。



パソコンに画像を取り込む(ViewNX-i)



2 Nikon Transfer 2が起動したら、[転送開始] をクリックする



• 画像の取り込みが始まり、完了すると ViewNX-i が起動して取り込んだ画像が表示されます。

3 接続を解除する

- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブル ディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはメモリーカードを取り 外してください。
- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルを 抜きます。

✓ Capture NX-Dについて

Capture NX-Dは、カメラで撮影した画像を調整したり、RAW現像したりできるニコン のソフトウェアです。下記ウェブサイトからダウンロードしてインストールできます。 https://downloadcenter.nikonimglib.com



118

🕤 テレビ、プリンター、パソコンとの接続

パソコンに画像を取り込む(ViewNX-i)

メニューを使う

メニューの操作方法	
メニュー項目一覧	
撮影メニュー(撮影モード共通)	
撮影メニュー(P、S、A、M モード)	
動画メニュー	145
再生メニュー	
通信メニュー	
セットアップメニュー	





メニューの操作方法

MENU(メニュー)ボタンを押すと、以下のメニューを設定できます。

- ・ 回 撮影メニュー^{※1、2}
- ・ 東動画メニュー^{※1}
- ▶ 再生メニュー^{※3}
- 《r》通信メニュー
- ※1 撮影画面でMENUボタンを押すと設定できます。
- ※2 メニューアイコンと設定できる項目は、撮影モードによって異なります。
- ※3 再生画面でMENUボタンを押すと設定できます。
- 1 MENU(メニュー)ボタンを押す
 - メニュー画面が表示されます。





メニューアイコンが黄色で表示されます。





メニュー切り換えアイコン

- - メニュー項目が選べるように なります。



- 01	291797	<u> </u>
	地域と日時	
н	モニター設定	
~	EVFの自動切り換え	ON
872	日付写し込み	0FF
	セルフタイマー解除設定	ON
y.	静止画手ブレ補正	ON
Ľ	AF補助光	AUTO
	Ī	



120

🕤 メニューを使う

メニューの操作方法



- 選んだ設定内容が決定します。
- メニュー操作を終了するには、 MENUボタンを押してください。
- メニュー画面から撮影画面に するには、シャッターボタンま たは●(*果)ボタンを押してください。

🖉 メニュー表示中のコマンドダイヤルまたはマルチセレクターの操作について

メニューまたは設定項目を表示中にコマンドダイヤルまたはマルチセレクターを回して も項目を選べます。

✓ メニュー画面でのタッチパネル操作について

タッチパネルを使って、メニュー画面を操作できます(□7)。

Fn (ファンクション) ボタンを使う

P、S、A、MモードでFnボタンを押す と、あらかじめ登録したメニュー項目を すばやく設定できます(初期設定は[連 写]です)。メニュー項目の登録を変更す るには、配[Fnボタン設定]を選び、表 示されるメニュー項目の中から登録した いメニュー項目を選びます。



MIE⊙ 年·月·日·時刻

しない



ら メニューを使う

メニューの操作方法

画像選択画面の操作方法

メニューの操作中に右のような画像選択画面が表 示されたときは、以下の手順で画像を選びます。



削除画像選択

マルチセレクターの または回転で 画像を選ぶ

- ・ズームレバー(□2)をT(Q)側に動かすと 1コマ表示に、W(■)側に動かすと一覧表 示に切り換わります。
- ・ [画像回転]の画像選択では、1画像しか選べません。→手順3へ

2 ▲▼でON/OFFを設定する

 ONにすると、選択画像の下にアイコンが表示 されます。複数の画像に設定したいときは、 手順1と2を繰り返します。



- 3 ®ボタンを押して画像選択を決定する
 - 確認画面が表示されたときは、表示内容に従って操作してください。





メニューの操作方法

メニュー項目一覧

撮影メニュー

撮影画面にする → MENUボタン

撮影モード共通

項目	初期設定	
画質 [※]	[NORMAL]	127
画像サイズ [※]	[[®] 4608×3456]	129

※ Fn (ファンクション) ボタンを押しても設定できます (Q121)。

P, S, A, M = -F

項目	初期設定	Ξ
ホワイトバランス※	[オート (標準)]	130
測光方式※	[マルチパターン]	133
連写 [※]	[単写]	134
ISO感度設定 [※]	[オート]	138
AEブラケティング	 「撮影枚数」:「ブラケティングしない」 「補正ステップ」:「±0.3」 	139
AFエリア選択 [※]	[ターゲットファインドAF]	140
AFモード	[プリAF]	143
ノイズ低減フィルター	[標準]	144
Mモード露出反映表示	[する]	144

※ Fn (ファンクション) ボタンを押しても設定できます (□121)。



123

ら メニューを使う

メニュー項目一覧

撮影画面にする → MENUボタン → 「果メニューアイコン → ® ボタン

項目	初期設定	
動画設定	[1080/30p] または [1080/25p]	145
AFモード	[シングルAF]	150
動画手ブレ補正	[する (ハイブリッド)]	151
風切り音低減	[しない]	152
フレームレート設定	-	152

再生メニュー

▶ボタンを押す(再生モード)→ MENUボタン

項目	
送信画像の指定 ^{※1}	153
簡単レタッチ ^{※2}	89
D-ライティング ^{※2}	89
赤目補正 ^{※2}	90
メイクアップ効果 ^{※2}	90
フィルター効果 ^{※2}	92
スライドショー	154
プロテクト設定 ^{※1}	155
画像回転 ^{※1}	155
画像コピー ^{※1}	156
グループ表示設定	157

※1 画像選択の画面で、画像を選びます。→「画像選択画面の操作方法」(□122)

※2 編集した画像は、元画像とは別に保存されます。画像によっては編集できない場合 があります。

124

S メニューを使う

メニュー項目一覧

通信メニュー

MENUボタンを押す → (T)メニューアイコン → ® ボタン

項目	
機内モード	158
接続先切替	158
スマートフォンと接続	158
リモコンとの接続	158
撮影時画像送信	158
Wi-Fi	159
Bluetooth	159
設定の初期化	159



メニュー項目一覧



セットアップメニュー

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → ®ボタン

項目	
地域と日時	161
モニター設定	163
EVFの自動切り換え	165
日付写し込み	166
セルフタイマー解除設定	167
静止画手ブレ補正※	168
AF補助光	169
電子ズーム	169
サイドズームレバー設定	170
AE-L/AF-Lボタン設定	171
操作音	172
オートパワーオフ	172
カードの初期化/メモリーの初期化	173
言語/Language	174
HDMI 出力	174
パソコン接続充電	175
画像コメント	176
著作権情報	177
位置情報	178
Av/Tv操作切り換え	178
MFピーキング	179
設定クリアー	179
タッチ操作	179
認証マークの表示	180
バージョン情報	180

※ Fn (ファンクション) ボタンを押しても設定できます (□121)。



126

ら メニューを使う

メニュー項目一覧

撮影メニュー(撮影モード共通)

画質

撮影画面にする → MENUボタン → 画質 → ® ボタン

記録する画質(画像の圧縮率)を設定します。

画質を高くするほど、画像の細部の描写が保たれますが、記録可能コマ数は少な くなります。

設定は、他の撮影モードにも適用されます。

項目	内容
FINE FINE	[NORMAL] よりも精細な画質になります。 圧縮率 : 約1/4
NORM NORMAL (初期設定)	一般的な撮影に適した画質モードです。 圧縮率:約1/8
RAW RAW	撮像素子の生データを記録します。撮影時に設定したホワイト バランスやコントラストなどを、パソコン上で変更できます。 • [画像サイズ] は [吟 4608×3456] に固定されます。 ファイル形式:RAW (NRW)、ニコン独自フォーマット
RAW+F RAW+FINE	RAWとJPEG (FINE)の2種類の画像を同時に記録します。
RAW+N RAW+NORMAL	RAWとJPEG (NORMAL) の2種類の画像を同時に記録します。

▶ 画質についてのご注意

- 以下の撮影モードでは設定できません。
 - シーンモードの [タイムラプス動画]、[かんたんパノラマ]
 - ショートムービーショーモード
- 以下の撮影モードでは、RAW画像を記録できません。
 - シーンモード
 - クリエイティブモード
 - ショートムービーショーモード

他の撮影モードでRAW画像の記録を設定しているときに上記の撮影モードにすると、 画質は[FINE]または[NORMAL]に切り換わります。

• この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(□280)。

5 メニューを使う

撮影メニュー(撮影モード共通)



🖉 このカメラのRAW画像について

- このカメラではRAW現像はできません。
- パソコンでRAW画像を表示するには、ViewNX-i(□116)をインストールする必要 があります。
- RAW画像は、画像編集やダイレクトプリントができません。RAW 画像をパソコンに 取り込んでから、Capture NX-D などのソフトウェアを使うと、画像の調整やRAW 現 像ができます(□118)。

✔ RAW画像とJPEG画像の同時記録について

- ・同時記録したRAW画像とJPEG画像は、同じファイル番号で拡張子がそれぞれ「.NRW」
 と「.JPG」になります(□□203)。
- カメラでの再生時には、JPEG画像だけが表示されます。
- JPEG画像を削除すると、同時記録されたRAW画像も削除されますので、ご注意ください。

🖉 記録可能コマ数

- 記録可能なコマ数の目安は、撮影時の表示で確認できます(□23)。
- 実際に記録可能なコマ数は、同じメモリー容量と画質、画像サイズでも、JPEG圧縮の 性質上、画像の絵柄によって大きく異なります。メモリーカードの種類によっても、 記録可能コマ数が異なることがあります。
- ・記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。



6 メニューを使う

撮影メニュー(撮影モード共通)

画像サイズ

撮影画面にする → MENU ボタン → 画像サイズ → ® ボタン

記録するJPEG画像の大きさ(記録画素数)を設定します。

画像サイズを大きくするほど、大きくプリントするのに適していますが、記録可 能コマ数は少なくなります。

設定は、他の撮影モードにも適用されます。

項目※	アスペクト比(横:縦)
^卧 4608×3456(初期設定)	4:3
<u>เ8</u> ⊮ 3264×2448	4:3
[4n 2272×1704	4:3
<u>اگی</u> 1600×1200	4:3
12° 4608×2592	16:9
1 ³² 4608×3072	3:2
[^{1:1} 3456×3456	1:1

※ 数値は記録画素数を表しています。

例: By 4608×3456:約16メガピクセル=4608×3456ピクセル

▶ 画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意

画像サイズを「1:1」にして撮影した画像をプリントするときは、プリンターの設定を 「フチあり」にしてください。

プリンターによっては、画像を1:1の縦横比でプリントできない場合があります。

▶ 画像サイズについてのご注意

- 以下の撮影モードでは設定できません。
 - シーンモードの [タイムラプス動画]、 [かんたんパノラマ]
 - ショートムービーショーモード
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(□80)。



撮影メニュー(撮影モード共通)



撮影メニュー (P、S、A、Mモード)

 [画質]、[画像サイズ] については、「画質」(□127)、「画像サイズ」(□129) をご覧ください。

ホワイトバランス(色合いの調整)

撮影モードダイヤルをP、S、A、Mに合わせる → MENUボタン → P、S、A、Mメニューアイコン → ホワイトバランス → ®ボタン

画像を見た目に近い色で記録するように、天候や光源に合わせて設定します。

項目	内容
AUTO オート(標準) (初期設定)	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。 【 オート(電球色を残す) 】を選ぶと、電球色の光源下で撮影
AUT02 オート(電球色 を残す)	した際に暖かみのある画像の仕上がりになります。フラッ シュ使用時は、フラッシュ発光の条件に応じて調整されます。
PRE プリセット マニュアル	[オート (標準)]、[オート (電球色を残す)] や [電球] な どの設定では望ましい結果が得られない場合に使います (囗132)。
※ 晴天[※]	晴天の屋外での撮影に適しています。
♣ 電球[※]	白熱電球の下での撮影に適しています。
※ 蛍光灯	蛍光灯の下での撮影に適しています。[1](白色蛍光灯)、[2] (昼白色蛍光灯)、[3](昼光色蛍光灯)のいずれかを選べます。
2 曇天 [※]	曇り空の屋外での撮影に適しています。
\$ フラッシュ [※]	フラッシュを使う撮影に適しています。
【 色温度設定	色温度(〇〇131)を直接指定できます。

※7段階の微調整ができます。「+」方向で青み、「-」方向で赤みが増します。

▶ ホワイトバランスについてのご注意

- [オート (標準)]、[オート (電球色を残す)]、[フラッシュ] 以外のホワイトバランス を選んだときは、フラッシュを閉じてください (口25)。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(口80)。


🖉 色温度について

光の色を絶対温度(K:ケルビン)という客観的な数字で表したものが色温度です。色温 度が低くなるほど赤味を帯びた光色になります。色温度が高くなるほど青味を帯びた光 色になります。





ら メニューを使う

撮影メニュー(P、S、A、Mモード)

プリセットマニュアルの使い方

以下の手順で、撮影する照明下のホワイトバランス値を測定して、撮影します。

- 1 白またはグレーの被写体を用意し、撮影する照明下に置く
- 2 マルチセレクターの▲▼で [プリセットマニュアル]を選び、®ボタンを押す
 - レンズが測定用のズーム位置になります。

3 [新規設定] を選ぶ

 前回の測定値を使いたいときは、〔前回の設 定〕を選んで◎ボタンを押します。

4 測定窓に、用意した白またはグレーの 被写体を収め、®ボタンを押して測定 する

> シャッターがきれて、新規設定が終了します (画像は記録されません)。



新相言

ホワイトバランス

AUTOオート(編編)

電球 蛍光灯 星天

プリセットマニュアル

AUTO2オート(電球色を残す)

測定窓

5

5

✔ プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、[ホワ イトバランス]を [オート (標準)]、[オート (電球色を残す)] または [フラッシュ] に設定してください。



撮影メニュー(P、S、A、Mモード)



撮影モードダイヤルをP、S、A、Mに合わせる → MENUボタン → P、S、A、Mメニューアイコン → 測光方式 → ®ボタン

露出を合わせるため、被写体の明るさを測ることを「測光」といいます。 カメラが測光する方式を設定します。

項目	内容
図 マルチパターン (初期設定)	画面の広い領域を測光します。 通常の撮影では、マルチパターン測光をおすすめします。
⑩ 中央部重点	画面に表示される中央部重点測光範囲に重点を置いて測光しま す。ポートレート撮影など、重点的に画面中央部に露出を合わせ たいときなどに使います。*
□ スポット	画面中央部に表示されているスポット測光範囲で測光します。被 写体と背景の明るさが著しく異なるときなどに使います。被写体 がスポット測光範囲に入るように撮影してください。*

※ ピントと露出を合わせたい被写体が画面中央部にないときは、[AFエリア選択]をマニュアルにしてAFエリアを画面中央にし、フォーカスロック(ロ77)をお使いください。

▶ 測光方式についてのご注意

・ 電子ズーム作動中は、拡大倍率によって [中央部重点] または [スポット] になります。

• この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(①80)。

✓ 撮影画面の表示について

[中央部重点] または [スポット] に設定すると、測光範囲のガイド(□12) が表示されます。



撮影メニュー(P、S、A、Mモード)



撮影モードダイヤルをP、S、A、Mに合わせる → MENUボタン → P、S、A、Mメニューアイコン → 連写 → ®ボタン

項目	内容		
⑤ 単写 (初期設定)	1コマずつ撮影します。		
□Ⅱ連写日	 シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 約 10 コマ / 秒の速度で約 10 コマ連写できます(画質 [NORMAL]、画像サイズ [¹⁶ 4608×3456] 時)。 		
┗┓ ⋈ 連写 M	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 ・約7コマ/秒の速度で約200コマ連写できます(画質[FINE] および[NORMAL]、画像サイズ [世 4608×3456] 時)。		
马L連写 L	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 ・約3コマ/秒の速度で約200コマ連写できます(画質[FINE] および[NORMAL]、画像サイズ [世 4608×3456] 時)。		
噚 先取り撮影	シャッターボタンを半押しすると先取り撮影を開始します。 シャッターチャンスで全押しすると、その直前の画像もさか のぼって記録します(①135)。シャッターチャンスを逃し にくくなります。 ・約15 コマ / 秒の速度で10 コマ(先取り撮影の最大 5 コマ を含む) 連写できます。 ・ 画質は [NORMAL]、画像サイズは [2,1600×1200] に 固定されます。		
및 120 高速連写 120 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 ・ 約 120 コマ / 秒の速度で 60 コマ連写できます。 ・ 画像サイズは [2: 1600×1200] に固定されます。		
山60 高速連写 60 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 ・ 約 60 コマ / 秒の速度で 60 コマ連写できます。 ・ 画像サイズは [2: 1600×1200] に固定されます。		
◎ インターバル撮影	あらかじめ設定した撮影間隔(インターバル)で、静止画を 自動的に連続撮影します(CL136)。		



撮影メニュー(P、S、A、Mモード)



▶ 連写についてのご注意

- ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます([イン ターバル撮影]を除く)。
- 撮影後の画像の記録に時間がかかることがあります。
- ISO感度が上がって、撮影した画像がざらつくことがあります。
- ・
 ・
 画質や画像サイズ、メモリーカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります
 (RAW記録時など)。
- [先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps]の場合、蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で明滅する照明下では、画像に横帯が発生したり、画像の明る さや色合いがばらついたりすることがあります。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(①80)。

シャッターボタンの半押し/全押しと記録する画像の関係は以下のとおりです。



シャッターボタンの半押し中は、撮影画面の先取り撮影アイコン(20)が緑色に変わります。



撮影メニュー(P、S、A、Mモード)

インターバル撮影を使った撮影方法

撮影モードダイヤルをP、S、A、Mに合わせる → MENUボタン → P、S、A、Mメニューアイコン → 連写 → ∞ボタン → インターバル撮影 → ∞ボタン

1	撮影間隔を設定する	Р	インターバル撮影	د ا
	 ● ●で項目を選び、▲▼で時間を設定します。 ・ 設定が終了したら@ボタンを押します。 	۲۳ ۲۲۶ ۲	分秒 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	

- 2 MENU(メニュー)ボタンを押し、撮影画面にする
- 3 シャッターボタンを押し、1コマ目を撮影する
 - 2コマ目以降は、撮影間隔の設定に従って自動 でシャッターがきれます。
 - 撮影の合間は画面が消灯し、電源ランプが点滅します。



◎+|◎-|國決定|

- 4 必要な画像を撮影し終わったら、シャッターボタンを押す
 - 撮影が終了します。
 - 以下の場合、撮影は自動終了します。
 - メモリーカードの残量がなくなったとき
 - 連続撮影コマ数が9999に達したとき



撮影メニュー(P、S、A、Mモード)

✔ インターバル撮影についてのご注意

- 途中で電源が切れないように、十分に残量のある電池をお使いください。
- 別売のACアダプター EH-62F(□□204)を使うと、家庭用コンセントからこのカメラへ電源を供給できます。EH-62F以外のACアダプターは絶対に使わないでください。 カメラの故障、発熱の原因となります。
- インターバル撮影中は、撮影モードダイヤルを回さないでください。撮影が終了します。
- 設定した撮影間隔に対して、シャッタースピードが遅く、1コマの記録にも時間がかか る場合は、途中の撮影がキャンセルされることがあります。
- リモコン ML-L7 (別売)のシャッターボタンでも撮影を開始できますが、撮影の終了 はできません。撮影を終了するには、カメラ本体のシャッターボタンを押してください。



ら メニューを使う

撮影メニュー(P、S、A、Mモード)

撮影モードダイヤルをP、S、A、Mに合わせる → MENUボタン → P、S、A、Mメニューアイコン → ISO感度設定 → ∞ボタン

ISO感度を高くすると、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体の動きによる ブレを軽減しやすくなります。

• ISO感度を高くすると、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

項目	内容		
AUTO オート (初期設定)	ISO 100~1600の範囲で自動設定します。		
ム‱ 感度制限オート	自動設定範囲を [ISO 100-400]、 [ISO 100-800] から選 べます。		
100、200、400、800、 1600、3200、6400	ISO感度を選んだ値に固定します。		

▶ ISO感度設定についてのご注意

- M (マニュアル露出) モードのときに [オート]、[ISO 100-400]、[ISO 100-800] に設定すると、ISO感度はISO 100に固定されます。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(①80)。

- [オート]、[感度制限オート]時は、自動設定されたISO感度の値が表示されます。
- ・ 撮影画面のISO感度表示をタップしても設定できます。



撮影メニュー(P、S、A、Mモード)

AEブラケティング

撮影モードダイヤルをP、S、Aに合わせる → MENUボタン → P、S、Aメニューアイコン → AEブラケティング → ®ボタン

露出(明るさ)を自動的に変えながら連続撮影できます。画像の明るさの調節が 難しい場合の撮影に効果的です。

項目	内容		
撮影枚数	連続撮影する枚数を、[ブラケティングしない](初期設定)、[3枚] または [5枚] から選びます。		
補正ステップ	露出補正するステップの幅を、[±0.3] (初期設定)、[±0.7]、[±1.0] から選びます。		

設定と撮影順序の関係は、以下のとおりです。

撮影枚数	補正ステップ	撮影順序		
3枚	±0.3	0、-0.3、+0.3		
	±0.7	0、-0.7、+0.7		
	±1.0	0、-1.0、+1.0		
5枚	±0.3	0、-0.7、-0.3、+0.3、+0.7		
	±0.7	0、-1.3、-0.7、+0.7、+1.3		
	±1.0	0、-2.0、-1.0、+1.0、+2.0		

✔ AEブラケティングについてのご注意

- M (マニュアル露出) モードの場合、[AEブラケティング] は使えません。
- 露出補正(囗66)と[補正ステップ]の[±0.3]、[±0.7]、[±1.0]のいずれかを同時に設定すると、補正量を加算します。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(①80)。



撮影メニュー(P、S、A、Mモード)

撮影モードダイヤルをP、S、A、Mに合わせる → MENUボタン → P、S、A、Mメニューアイコン → AFエリア選択 → ®ボタン

オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を設定します。

項目	内容			
	カメラが人物の顔を認識する と、顔にピントが合います。 →「顔認識撮影について」(□175)			
(2) 顔認識オート	人物以外の撮影や顔を認識でき ない構図では、シャッターボタ ンを半押しすると、9つあるAF エリアのうち最も手前の被写体 をとらえているエリアでピント が合います。	AF IU7		

140

_____ 撮影メニュー(P、S、A、Mモード)

ら メニューを使う

項目	内容			
[º]マニュアル (スポット) [tī] マニュアル (標準) [ʲ]マニュアル (ワイド)	マルチセレクターの▲▼▲ ▶で、 い位置に移動できます。 マルチセレクターでフラッシュモ ボタンを押します。AFエリアの称 ンを押します。 移動可能エリア 「 『 『 『 『 『 『 』 AF エリア (中央時)	AFエリアを、ピントを合わせた ードなどを設定したいときは、 多動に戻るには、もう一度®ボタ		
® ターゲット 追尾	動く被写体の撮影に使います。 ピントを合わせたい被写体を登録すると、AFエリアが被写体を 追いかけて移動します。 →「ターゲット追尾の使い方」 (□142)			
【■】 ターゲット ファインドAF (初期設定)	カメラが主要な被写体を検出す ると、その被写体にピントが合 います。 →「ターゲットファインドAFに ついて」(□174)	1/250 F3.4 AF I J 7		

✔ AFエリア選択についてのご注意

- 電子ズーム使用時は、[AF エリア選択]の設定にかかわらず、画面中央でピント合わせを行います。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(口80)。





ターゲット追尾の使い方

撮影モードダイヤルをP、S、A、Mに合わせる→MENUボタン→ P、S、A、Mメニューアイコン→AFエリア選択→®ボタン→ ⊕ ターゲット追尾→®ボタン→MENUボタン

被写体を登録する

1

- ・ 追尾したい被写体を画面中央の枠に合わせ、
 ボタンを押します。
- 被写体が登録されると、黄色いAFエリア表示 で囲まれ、ターゲット追尾が始まります。
- 登録できなかったときは、枠が赤色に表示されます。構図を変えて登録をやり直してください。
- 登録を解除したいときは、
 ・
 ・
 ボタンを押します。
- カメラがターゲットを見失うと、AFエリア表示が消えます。登録をやり直してください。



2 シャッターボタンを全押しして撮影する

 AFエリアが表示されていない状態でシャッター ボタンを押すと、画面中央のエリアにピントが 合います。



✔ ターゲット追尾についてのご注意

- ターゲットの追尾中にズーム操作などを行うと、登録が解除されます。
- 撮影条件によっては、適切にターゲット追尾できないことがあります。



撮影メニュー(P、S、A、Mモード)

撮影モードダイヤルをP、S、A、Mに合わせる → MENUボタン → P、S、A、Mメニューアイコン→ AFモード → ®ボタン

静止画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容		
AF-S シングルAF	シャッターボタンを半押ししたときのみピントを合わせます。		
AF-F 常時AF	シャッターボタンを半押ししなくても、常にピントを合わせます。 常に動作音がします。		
PREAF プリAF (初期設定)	シャッターボタンを半押ししなくても、被写体の動きを検知したと きや構図が大きく変わったときなどに、ピントを合わせます。		

✔ AFモードについてのご注意

S メニューを使う

撮影メニュー(P、S、A、Mモード)

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(1080)。

 ショートムービーショーモードまたは動画のAFモードについて ショートムービーショーモードまたは動画撮影時のAFモードは、動画メニューの [AF モード] (□150) で設定します。



ノイズ低減フィルター

撮影モードダイヤルをP、S、A、Mに合わせる → MENUボタン → P、S、A、Mメニューアイコン → ノイズ低減フィルター → ®ボタン

画像の記録時に通常行うノイズ低減機能の強さを設定します。

項目	内容
NR⁺ 強め	ノイズ低減を標準よりも強めに行います。
NR 標準 (初期設定)	ノイズ低減を標準の強さで行います。
NR⁻弱め	ノイズ低減を標準よりも弱めに行います。

Mモード露出反映表示

撮影モードダイヤルをP、S、A、Mに合わせる → MENUボタン → P、S、A、Mメニューアイコン → Mモード露出反映表示 → ®ボタン

M(マニュアル露出)モードで露出を変えたときに、撮影画面にも明るさを反映 するかどうかを設定します。

項目	内容		
する (初期設定)	撮影画面に明るさを反映します。		
しない	撮影画面に明るさを反映しません。		



撮影メニュー(P、S、A、Mモード)



動画設定

撮影画面にする → MENUボタン → ・果メニューアイコン → 動画設定 → ® ボタン

撮影する動画の種類を選びます。通常速度の動画と、再生するとスローモーショ ンや早送りになるHS(ハイスピード)動画(□147)があります。選べる項目は、 [フレームレート設定]によって異なります(□152)。

 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6 (ビデオスピードクラスV6) 以上のメモリーカードをおすすめします(□213)。[動画設定]が[2020]
 2160/30p](4K UHD)または[2020]
 2160/25p](4K UHD)の場合は、UHS スピードクラス3 (ビデオスピードクラスV30)以上のメモリーカードをおす すめします。





通常速度の動画

項目(画像サイズ/フレーム レート、記録方式)	画像サイズ	アスペクト比 (横:縦)	1ファイルあたりの 最長記録時間
2160/30p (4K UHD) ^{※1, 2} 2160/25p (4K UHD) ^{※1, 2}	3840×2160	16:9	約9分
讀 1080/30p 讀 1080/25p (初期設定)	1920×1080	16:9	約25分
<u>™™</u> 1080/60p ^{%2} <u>™™</u> 1080/50p ^{%2}	1920×1080	16:9	約13分
720 m 720/30p 720 m 720/25p	1280×720	16:9	約29分
720 m 720/60p 720 m 720/50p	1280×720	16:9	約27分

※1 内蔵メモリー使用時は選べません。

- ※2 シーンモードの [ソフト]、[ベストフェイス]([ソフト] 設定時)では、選べません。
 動画の連続撮影可能時間(1回の撮影で記録可能な時間)は、メモリーカードの 残量が多いときでも最長29分です。また、動画のファイルサイズの上限は、1 ファイルにつき最大4GBです。29分未満の動画撮影でも、1ファイルのサイズ が4GBを超えると複数のファイルに分割され、連続再生できません。
- 実際に記録可能な時間は、画像の絵柄や動き、メモリーカードの種類によって 異なることがあります。



146

🕤 メニューを使う

動画メニュー

HS動画

撮影した動画を再生すると、スローモーションや早送りになります。

→「スローモーション、早送り動画の撮影方法(HS動画)」(□149)

項目	画像サイズ アスペクト比 (横:縦)	内容
<u> 2</u> 228台 HS 720/4 倍 ^{※1}	1280×720 16:9	1/4の速度のスローモーション動画です。 ・ 最長撮影時間 ^{※2} :7分15秒(再生時間:29分)
爸HS 1080/2 倍 ^{※1}	1920×1080 16:9	1/2の速度のスローモーション動画です。 ・ 最長撮影時間 ^{※2} :14分30秒(再生時間:29分)
醬 HS 1080/0.5 倍	1920×1080 16:9	2倍の速度の早送り動画です。 ・ 最長撮影時間 ^{※2} :29分(再生時間:14分30秒)

※1 シーンモードの [ソフト]、[ベストフェイス]([ソフト] 設定時)では、選べません。
※2 撮影中にスローモーション/早送りと通常速度の切り換えができます。表中の最長撮影時間は、通常速度へ切り換えずに撮影を続けた場合の時間です。

▶ HS動画についてのご注意

- 音声は記録されません。
- 動画撮影中の静止画記録はできません。
- 動画撮影の一時停止はできません。
- ズーム位置、ピント、露出、ホワイトバランスは、撮影開始時に固定されます。



スローモーション再生と早送り再生について 通常速度で撮影した場合:

撮影時間	10秒
再生時間	10秒

[2008 HS 720/4 倍] で撮影した場合:

通常速度の4倍のハイスピードで撮影します。 再生時は、4倍の時間をかけてスローモーションで再生します。



[颤鬱 HS 1080/0.5 倍] で撮影した場合:

通常速度の1/2のスピードで撮影します。 再生時は、2倍の速さで早送り再生します。

撮影時間		10秒
再生時間	5秒	
早送り再生		



ら メニューを使う

動画メニュー

スローモーション、早送り動画の撮影方法(HS動画)

撮影画面にする → MENUボタン → ・ **果**メニューアイコン → 動画設定 → [●] ボタン

HS (ハイスピード)動画で撮影すると、通常再生の1/4、1/2の速度のスローモーションや2倍の早送りで再生されます。

- マルチセレクターの ▲▼ で HS 動画 (□147)を選び、®ボタンを押す
 - 設定したら MENU ボタンを押して、撮影画面に 戻ります。

~	動画設定 ち
	200 Bit 2160/30p
-	100 H 1080/30p
~	100 01 1080/60p
878	720 m 720/30p
'	720 m 720/60p
Ŷ	200 醋 HS 720/4 倍
	頭巒 HS 1080/2 倍

- 2 (*果 動画撮影) ボタンを押して、撮影を開始する
 - HS動画で撮影が始まります。
 - ・撮影中に∞ボタンを押すと、HS動画と通常速度の撮影が切り換わります。
 - 動画設定アイコンの表示は、HS動画の速度の ときと、通常速度のときで切り換わります。
- [[5] 720 [sig
 720 [sig

 PRC
 16 120 [sig

 B
 [[5] 120 [sig

 CK #30
 53
- 3 (▶▼) ボタンを押して、撮影を終了する



撮影画面にする \rightarrow MENUボタン \rightarrow '景メニューアイコン \rightarrow AFモード \rightarrow ®ボタン

ショートムービーショーモードまたは動画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF (初期設定)	動画撮影開始時にピントを固定します。 撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適しています。
AF-F 常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。 撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。ピントを 合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるとき は、[シングルAF] での撮影をおすすめします。

✔ AFモードについてのご注意

[動画設定]をHS動画に設定したときは、[シングルAF]に固定されます。



動画メニュー



動画手ブレ補正

撮影画面にする → MENUボタン → マスシューアイコン → 動画手ブレ補正 → ®ボタン

ショートムービーショーモードまたは動画撮影時の手ブレ補正を設定します。 三脚などでカメラを固定して撮影するときは、[**しない**] にしてください。

項目	内容
(�)* する(ハイブリッド) (初期設定)	レンズシフト方式で光学的に補正すると同時に、画像処 理で電子的に補正します。画角(写る範囲)は狭くなり ます。
(🜒 する	レンズシフト方式で補正します。
しない	補正しません。

▶ 動画手ブレ補正についてのご注意

• [動画設定] をHS動画に設定したときは、[しない] に固定されます。

• 撮影状況によっては、手ブレを完全に補正できないことがあります。





風切り音低減

撮影画面にする → MENUボタン → マスシューアイコン → 風切り音低減 → ® ボタン

項目	内容
<i>≌</i> ⊎ する	動画撮影時にマイクに吹き付ける風の音を抑えて記録します。 再 生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなることがあります。
しない (初期設定)	風切り音を低減しません。

▶ 風切り音低減についてのご注意

[動画設定]をHS動画に設定した場合、[しない]に固定されます。

フレームレート設定

撮影画面にする → MENUボタン → マメニューアイコン → フレームレート設定 → ®ボタン

タイムラブス動画、ショートムービーショーモードまたは動画撮影時のフレーム レートを選びます。フレームレートの設定を切り換えると、「動画設定」(①145) で選べる項目が変わります。

項目	内容
30 fps (30p/60p)	NTSC方式のテレビで再生するのに適しています。
25 fps (25p/50p)	PAL方式のテレビで再生するのに適しています。



152

🕤 メニューを使う

再生メニュー

画像編集機能については、「画像の編集(静止画)」(□88)をご覧ください。

送信画像の指定

▶ボタンを押す(再生モード)→MENUボタン→送信画像の指定→∞ボタン

カメラ内の静止画を選んで、SnapBridgeアプリで無線接続したスマートフォンに 送信します。

画像選択の画面(□122)で、送信画像の指定または解除をします。

- 取り込む画像サイズは2Mサイズに制限されます。オリジナルサイズで静止画を 取り込むには、SnapBridgeアプリの[画像取り込み]をお使いください。
- RAW画像および動画は指定できません。動画をスマートフォンに取り込むには、 SnapBridgeアプリの [画像取り込み] をお使いください。
- セットアップメニューの [設定クリアー] (□179) または通信メニューの [設定の初期化] (□159) を実行すると、送信画像の指定は解除されますので、ご注意ください。



再生メニュー

スライドショー

▶ボタンを押す(再生モード)→ MENUボタン→スライドショー→ ∞ボタン

画像を1コマずつ順番に自動再生します。動画は1フレーム目だけを表示します。

マルチセレクターの▲▼で [開始] を 選び、®ボタンを押す

- スライドショーが始まります。
- (開始)を選ぶ前に「インターバル設定」を選び

 のボタンを押すと、

 画像の表示時間を変更

 できます。
- 繰り返し再生するには、[開始]を選ぶ前に
 [エンドレス]を選んで®ボタンを押します。
- スライドショーの連続再生時間は、[エンドレス]に設定している場合も含め、最 大約30分です。

2 終了または再開する

 再生終了後や一時停止中は、右の画面になり ます。終了するには、■を選び®ボタンを押 します。再開するには、■を選び®ボタンを 押します。



再生中の操作

★ メニューを使う
 再生メニュー

- マルチセレクターの▲▼◀▶または回転でコマ送りします。押し続けると早送りします。
- 一時停止または途中で終了したいときは、
 ・
 ・
 ボタンを押します。



プロテクト設定

▶ボタンを押す(再生モード) → MENUボタン → プロテクト設定 → ® ボタン

大切な画像を誤って削除しないように保護します。

画像選択の画面(□122)で、画像を選んでプロテクトの設定または解除をします。 メモリーカード/内蔵メモリーを初期化(フォーマット)(□173)すると、プロ テクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

画像回転

▶ボタンを押す(再生モード)→ MENUボタン→ 画像回転→ ®ボタン

撮影後に、静止画をカメラなどで表示するときの画像の向き(縦横位置)を設定 します。

画像選択の画面(□122)で回転する画像を選ぶと、画像回転の画面が表示されます。マルチセレクターの◀▶または回転で、90度回転します。



90 度回転

90度回転

●ボタンを押すと、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。



ら メニューを使う

再生メニュー

画像コピー(メモリーカードと内蔵メモリー間のコピー)

▶ボタンを押す(再生モード)→ MENUボタン → 画像コピー → ∞ボタン

メモリーカードの画像を内蔵メモリーへ、または内蔵メモリーの画像をメモリー カードへコピーできます。

- 画像が記録されていないメモリーカードを入れて、再生モードに切り換えると [撮影画像がありません。]と表示されますが、NENUボタンを押すと[画像コピー] を選べます。
- マルチセレクターの▲▼でコピーする 方向を選び、@ボタンを押す

 かメラーカード
 か、メラーカード
 かードーカメラ

カメラ→カード

選択画像コピー

- 2 コピーの方法を選び、®ボタンを押す
 - [選択画像コピー]を選んだときは、画像選択の画面で、画像を選びます(□122)。

▶ 画像コピーについてのご注意

- このカメラで記録できるファイル形式のみコピーできます。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像は動作を保証していません。

🖉 グループ画像のコピーについて

- [選択画像コピー] で代表画像を選ぶと、グループ内の画像をすべてコピーします。
- グループ内の画像を表示しているときにMENUボタンを押すと、[カード→カメラ]方向のみコピーできます。[表示グループコビー]を選ぶと、グループ内の画像をすべてコピーします。



再生メニュー

156



グループ表示設定

▶ ボタンを押す(再生モード) → MENU ボタン → グループ表示設定 →
 ◎ ボタン

グループ画像(1286)の再生時の表示方法を設定します。

項目	内容
弘1枚ずつ	常に1コマずつ表示します。再生画面で騒が表示されます。
山代表画像のみ(初期設定)	代表画像のみを表示します。

設定内容は、すべてのグループ画像に反映され、電源をOFFにしても記憶されます。





MENUボタンを押す → (T)メニューアイコン → @ ボタン

カメラとスマートフォン、またはリモコン ML-L7 (別売)を接続するため無線ネットワーク情報を設定します。

- カメラとSnapBridgeアプリをインストールしたスマートフォンを無線接続する と、カメラで撮影した画像をスマートフォンに送信することや、リモート撮影な どができます。接続方法は、付属の「SnapBridge接続ガイド」をご覧ください。
- 無線接続中は設定を変更できない項目があります。変更するときは、無線接続
 を一時停止してください。

項目	内容
機内モード	[する] にすると、すべての無線通信をOFFにします。
接続先切替	カメラをスマートフォンと接続するか、リモコン ML-L7(別 売)と接続するかを選びます。
スマートフォンと接続	SnapBridgeアブリを使用して、カメラとスマートフォンを 接続するときに選びます。詳しくは、付属の「SnapBridge 接続ガイド」をご覧ください。 ・あらかじめ、[接続先切替]を[スマートフォン]に設定 してください。
リモコンとの接続	カメラとリモコン ML-L7 (別売) を接続するときに選びます。 カメラはリモコンとの接続待機状態になります (口207)。 ・あらかじめ、[接続先切替]を [リモコン] に設定してく ださい。
撮影時画像送信	画像をスマートフォンへ自動送信する条件を設定します。 • 取り込む画像サイズは 2M サイズに制限されます。オリ ジナルサイズで静止画を取り込むには、SnapBridge ア ブリの [画像取り込み] をお使いください。



158

🕤 メニューを使う

通信メニュー

項	目	内容
Wi-Fi 現在の設		[SSID] **: SSIDを変更できます。 英数字の1~32桁で設定 します。
		[認証/暗号]:スマートフォンと接続するときに、通信信号 を暗号化するかどうかを設定します。 [OPEN] のときは、暗号化しません。
	接続設定	[パスワード] ^{**} :パスワードを設定します。英数字の8~ 36桁で設定します。
		[チャンネル]:Wi-Fi接続で使用するチャンネルを設定します。 Wi-Fi接続時に通信状態が悪いときや、画像送信速度が極端 に遅いときは、チャンネルを変えると改善することがあり ます。
	現在の設定	現在の設定を一覧表示します。
Bluetooth	通信機能	[無効] にすると、Bluetoothの通信をOFFにします。
	ペアリング 済み機器	接続するスマートフォンの切り換えや、接続済みスマート フォンの削除をします。 このカメラは接続するスマートフォンを最大5台登録でき ます。ただし一度に接続できるのは1台のみです。
	電源オフ中 の通信	カメラが電源OFFのときや待機状態(口25)のときに、スマートフォンと通信をするかどうか設定します。
設定の初期(Ł	通信メニューのすべての設定を初期化します。

※ 英数字の入力方法は「文字入力画面の操作方法」(□160)をご覧ください。

✓ 撮影画面のBluetooth通信表示について

- 点灯:スマートフォンとBluetoothで接続中です。
- 点滅:スマートフォンとの再接続の待機中です。画像送信中に Bluetooth 通信が切断 されたときも点滅します(□200)。



159

ら メニューを使う

通信メニュー

文字入力画面の操作方法

- マルチセレクターの▲▼▲ ▶でキーボードの英数字を選択します。◎ボタンを押すと、選択した英数字が文字列に追加されカーソルが次の桁に移動します。
- 文字種変更アイコンを選んで
 の ボタンを押す
 と、文字種が変更されます。
- 文字列のカーソル位置を移動するには、コマン ドダイヤルを回します。
- 文字を削除するには、削除する文字列にカーソルを移動して、面ボタンを押します。
- ・ 設定を確定するには、キーボードの↓を選んで
 ボタンを押します。

文字種変更アイコン

文字入力画面でのタッチパネル操作について

文字列、キーボード、文字種変更アイコンをタップして、文字を入力できます。



通信メニュー



セットアップメニュー

地域と日時

MENUボタンを押す → Yメニューアイコン → 地域と日時 → ® ボタン

内蔵時計の日時を設定します。

項目	内容
スマートフォンと同 期	[する]を選ぶと、日時設定をスマートフォンと同期します。 SnapBridgeアプリの日時同期機能を有効にしてください。
日時の設定 [※]	 項目を選ぶ:マルチセレク ターの ▲ を押します。 日時を合わせる:▲▼ を押 します。マルチセレクター またはコマンドダイヤル を回しても変更できます。 設定を完了する:[分]を選 び、 ® ボタンを押します。
日付の表示順	[年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年]から選びます。
タイムゾーン*	タイムゾーン(地域)や夏時間(サマータイム)を設定します。 ・ 自宅(♠)を設定してから、訪問先(♠)のタイムゾーンを 設定すると、時差を自動計算し、撮影日時を訪問先の時間で 記録できます。

※ [スマートフォンと同期] を [しない] にした場合のみ設定できます。

タイムゾーンの設定方法

マルチセレクターの▲▼で[タイムゾーン]を選び、®ボタンを押す





161

5 メニューを使う



3 ▶を押す

2



4 ◀▶でタイムゾーンを選ぶ

- ▲を押すと夏時間(サマータイム)になり、% が表示されます。解除するには、▼を押します。
- ・
 ・
 ・ボタンを押して、タイムゾーンを決定します。
- 自宅または訪問先のタイムゾーンの設定では、正しい時刻が表示されないときは、[日時の設定]で合わせてください。







モニター設定

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → モニター設定 → ® ボタン

項目	内容
モニター表示設定	画面に情報を表示するかどうかを設定します。
モニターの明るさ	画像モニターの明るさを調節します。 • 初期設定: [3]
EVFの明るさ	電子ビューファインダーの明るさを調節します。 • 初期設定: [3]
ヘルプの表示	撮影モードの切り換え中や設定画面の表示中に機能の説明が表示されます。 ・ 初期設定: [する]
撮影後の画像表示	撮影直後に、撮影した画像を表示するかどうかを設定します。 • 初期設定: [する]

[モニター表示設定] について

	撮影時	再生時
情報ON		
情報オート (初期設定)	[情報ON] と同じ情報を表示した後 [情報OFF] と同じ表示になります。	、操作しない状態が数秒経過すると 操作すると、再び情報を表示します。
情報OFF		



163

ら メニューを使う





セットアップメニュー



EVFの自動切り換え(電子ビューファインダーの自動切り換え)

MENUボタンを押す→ ¥メニューアイコン → EVFの自動切り換え → ® ボタン

項目	内容
する (初期設定)	電子ビューファインダーに顔を近づけると、アイセンサーが反応 し、画像モニターの表示が自動的に電子ビューファインダーの表示 に切り換わります。
しない	電子ビューファインダーに顔を近づけても、電子ビューファイン ダーの表示に切り換えません。





日付写し込み

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 日付写し込み → ® ボタン

撮影時に日付と時刻を画像に写し込んで記録しま す。



項目	内容
DATE 年・月・日	日付を写し込みます。
MTE© 年・月・日・時刻	日付と時刻を写し込みます。
しない (初期設定)	日付、時刻のどちらも写し込みません。

▶ 日付写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日付と時刻を画像から消したり、撮影した後で日付と時刻を写し込むことはできません。
- 以下の場合は日付と時刻を写し込めません。
 - シーンモードの [夜景ポートレート] ([手持ち撮影] 時)、[夜景] ([手持ち撮影] 時)、[逆光] ([HDR] が [する] 時)、[かんたんパノラマ]、[比較明合成]
 - [画質] (□127) が [RAW]、[RAW+FINE] または [RAW+NORMAL]
 - [連写] (□134) が [先取り撮影]、[高速連写 120 fps] または [高速連写 60 fps]
 - 動画
 - 動画撮影中に記録した静止画
 - 動画再生中に切り出した静止画
- 画像サイズが小さいと、日付と時刻が読みにくいことがあります。



166

🕤 メニューを使う
セルフタイマー解除設定

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → セルフタイマー解除設定 → ®ボタン

セルフタイマー(CC61)で撮影後に、セルフタイマーの設定を解除するかどうかを設定します。

項目	内容
ON 撮影後に解除する (初期設定)	撮影後、セルフタイマーの設定が解除されます。 ・ シーンモードの [比較明合成] で撮影後のセルフタイマー の設定は、解除されません。セルフタイマーを終了するに は、セルフタイマーの設定を手動で OFF にしてください。 ・ [ペット自動シャッター]、[笑顔自動シャッター] の設定 は解除されません。
OFF撮影後に解除しない	 撮影後、セルフタイマーでの撮影を継続します。 電源を OFF にすると、セルフタイマーの設定は解除されます。 [セルフコラージュ]の設定は解除されます。



静止画手ブレ補正

MENUボタンを押す → Yメニューアイコン → 静止画手ブレ補正 → ®ボタン

静止画撮影時の手ブレ補正を設定します。 三脚などでカメラを固定して撮影するときは、[しない]にしてください。

項目	内容
する (初期設定)	レンズシフト方式で補正します。
しない	補正しません。

▶ 静止画手ブレ補正についてのご注意

- カメラの電源を ON にした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、画面の画像が安定してから撮影してください。
- 撮影直後に画面の画像がずれて見えることがあります。
- 撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。



セットアップメニュー



MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → AF補助光 → ®ボタン

項目	内容
AUT0 オート (初期設定)	暗い場所などでシャッターボタンを押すと、オートフォーカスの補 助光が自動的に点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約 3.5 m、望遠側で約5.0 mです。 • AF エリアの位置や撮影モードによっては点灯しない場合があり ます。
なし	AF補助光は点灯しません。

電子ズーム

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 電子ズーム → ®ボタン

項目	内容
する (初期設定)	電子ズームが使えます。
しない	電子ズームは使えません。

▶ 電子ズームについてのご注意

- ・以下のシーンモードでは、電子ズームを使えません。
 [ポートレート]、[夜景ポートレート]、[夜景]、[逆光]([HDR] が [する] 時)、 [かんたんパノラマ]、[ペット]、[ベストフェイス]
- 他の撮影モードでも、設定によっては電子ズームは使えません(①82)。



セットアップメニュー



サイドズームレバー設定

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → サイドズームレバー設定 → ®ボタン

撮影時にサイドズームレバーを動かしたときの動作を設定します。

項目	内容
ZOOM ズームレバー (初期設定)	ズーム操作ができます(口70)。
M F MFレバー ^{※1}	フォーカスモードがMF (マニュアルフォーカス)のときに、 サイドズームレバーでピント合わせができます(口64)。 • T方向に動かすと、遠くの被写体にピントが合います。 • W方向に動かすと、近くの被写体にピントが合います。
	絞り値を設定できます(□□53)。
ISO ISO感度 ^{※3}	ISO感度の設定画面を表示します(口138)。 設定画面でサイドズームレバーを動かすと、項目を選べます。
☑露出補正 ^{※4}	露出補正の設定画面を表示します(1166、68)。 設定画面でサイドズームレバーを動かすと、補正値を選べ ます。
WB ホワイトバランス ^{※5}	ホワイトバランスの設定画面を表示します(〇〇130)。 設定画面でサイドズームレバーを動かすと、項目を選べます。
OFF 設定しない	サイドズームレバーを動かしても、動作しません。

※1 フォーカスモードがMF以外のときは、サイドズームレバーの操作が無効になります。
※2 絞り値を設定できない撮影モードでは、サイドズームレバーの操作が無効になります。

※3 ISO感度を設定できないときは、サイドズームレバーの操作が無効になります。

※4 露出補正を設定できないときは、サイドズームレバーの操作が無効になります。

※5 ホワイトバランスを設定できないときは、サイドズームレバーの操作が無効になります。



170



AE-L/AF-Lボタン設定

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → AE-L/AF-Lボタン設定 → ®ボタン

撮影時に鷽(AE-L/AF-L)ボタン(□3)を押したときの動作を設定します。

項目	内容
內 AE-L/AF-L (初期設定)	☆ボタンを押している間、ピントと露出の両方を固定します。 ^{※1}
da AE-L	↓ ポタンを押している間、露出を固定します。 ^{※2}
凾◉ AE-L (ホールド)	魚ボタンを押すと露出を固定します。シャッターボタンを押しても、露出の固定は解除されません。*3 もう一度点ボタンを押すと、露出の固定が解除されます。
🛱 AF-L	「「「「「」」「「」」」、「「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「

※1 露出補正の設定画面を表示すると、ピントと露出の固定が解除されます。

※2 露出補正の設定画面を表示すると、露出の固定が解除されます。

※3 露出補正を変更すると、露出の固定が解除されます。

※4 露出補正の設定画面を表示すると、ピントの固定が解除されます。

▲ AE-L/AF-Lボタン設定についてのご注意

• 以下の撮影モードでは、駐ボタンを押しても露出を固定しません。

- M (マニュアル露出) モード
- シーンモードの[タイムラブス動画]([星空/150 分間撮影] または[星軌跡/150 分間撮影]時)、[打ち上げ花火]、[比較明合成]
- フォーカスモード(□163)がMF(マニュアルフォーカス)のときは、 ばボタンを押 してもピントを固定しません。



MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 操作音 → ® ボタン

項目	内容
設定音	[あり] (初期設定) にすると、操作時に設定音(電子音1回)、合 焦音(電子音2回)、警告音(電子音3回)、およびオープニング音 が鳴ります。 ・ シーンモードの [ペット] では鳴りません。
シャッター音	[あり] (初期設定) にすると、シャッターをきったときにシャッ ター音 (電子音) が鳴ります。 ・ 動画撮影時、シーンモードの [かんたんパノラマ]、[ペット] で は鳴りません。

オートパワーオフ

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → オートパワーオフ → ® ボタン

カメラが待機状態(口25)になるまでの時間を設定します。 [30 秒]、[1分](初期設定)、[5分]、[30分]から選べます。

🖉 オートパワーオフの設定について

以下の場合、待機状態になるまでの時間は固定です。

- メニュー表示中:3分(オートパワーオフを [30秒] または [1分] に設定した場合)
- [ペット自動シャッター] で撮影中:5分(オートパワーオフを[30秒] または[1分]
 に設定した場合)
- [笑顔自動シャッター] で撮影中:5分(オートパワーオフを [30 秒] または [1分] に設定した場合)
- ACアダプター接続中:30分
- 【スマートフォンと接続】で接続待機中:30分





カード/メモリーの初期化(フォーマット)

MENUボタンを押す → Yメニューアイコン → カードの初期化/メモリーの初期化 → ® ボタン

メモリーカードまたは内蔵メモリーを初期化(フォーマット)します。

初期化すると、メモリーカード/内蔵メモリー内のデータはすべて削除されます。 削除したデータは元に戻せません。必要なデータは初期化する前にパソコンなど に保存してください。

• 無線接続中は選択できないことがあります。

メモリーカードを初期化するには

- メモリーカードをカメラに入れます。
- セットアップメニューの [カードの初期化] を選び Wボタンを押します。

内蔵メモリーを初期化するには

- メモリーカードを取り出します。
- セットアップメニューの [メモリーの初期化] を選び∞ボタンを押します。

表示された画面で[初期化する]を選び®ボタンを押すと初期化が始まります。

初期化中は、電源をOFFにしたり、電池/メモリーカードカバーを開けたりしないでください。



言語/Language

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 言語/Language → ®ボタン

画面に表示する言語を設定します。

HDMI 出力

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → HDMI 出力 → ®ボタン

HDMI出力時の画像の解像度を選びます。 [オート](初期設定)にすると、接続するテレビに対応した解像度を[2160p]、 [1080p]、または[720p]から自動で選んで出力します。





MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → パソコン接続充電 → ® ボタン

項目	内容
AUT0 オート (初期設定)	 起動済みのパソコンに接続すると(□110)、パソコンからの電力 供給状態に応じて、カメラ内の電池を充電します。 充電中は電源ランプ(充電ランプ)がゆっくり点滅します。充電 が完了すると、電源ランプ(充電ランプ)が点滅から点灯に変わ ります。
しない	パソコンに接続しても、カメラ内の電池を充電しません。

✔ パソコンで充電するときのご注意

- パソコンに接続するとカメラの電源がONになり、充電が始まります。カメラの電源を OFFにすると、充電は中止されます。
- 残量がない電池の場合、フル充電までの時間は約5時間です。また、画像を転送しな がら充電すると、充電に時間がかかります。
- 充電が完了し、パソコンとの通信が無い状態が30分続くと、カメラの電源は自動的に OFFになります。

▶ 電源ランプ (充電ランプ) が速く点滅したときは

充電できません。以下の可能性があります。

- 充電可能な温度ではありません。周囲の温度が5℃~35℃の室内で充電してください。
- USBケーブルが正しく接続されていないか、電池の異常です。正しく接続し直すか、 電池を交換してください。
- パソコンが休止状態(スリープ状態)で電力を供給していません。パソコンを復帰してください。
- パソコンの仕様または設定がカメラへの電力供給に対応していないため充電できません。





MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 画像コメント → ®ボタン

あらかじめ登録したコメントを、撮影する画像に添付できます。 添付されたコメントは、SnapBridgeアプリを使ってスマートフォンに送信する画 像に写し込めます。あらかじめSnapBridgeアプリの設定が必要です。詳しくは、 SnapBridgeアプリのオンラインヘルプをご覧ください。 添付されたコメントは、ViewNX-iのメタデータでも確認できます。

項目	内容
コメント添付	[コメント入力] で登録したコメン トを画像に添付します。 ・ [コメント添付] を選んで ▶ を 押し、チェックボックスをオン [↓] にします。◎ ボタンを押 すと、設定が有効になり、その 後撮影した画像にコメントが添 付されます。
コメント入力	 36文字までの英数字でコメントを登録できます。 [コメント入力] を選んで ▶ を押すと、入力画面が表示されます。 入力方法は、「文字入力画面の操作方法」(□160) をご覧ください。

▶ 画像コメントについてのご注意

動画には画像コメントを添付できません。

画像コメントの表示について

画像をカメラで再生しても画像コメントは表示されません。



セットアップメニュー



著作権情報

MENUボタンを押す → Yメニューアイコン → 著作権情報 → ®ボタン

あらかじめ登録した著作権情報を、撮影する画像に添付できます。 添付された著作権情報は、SnapBridgeアプリを使ってスマートフォンに送信する 画像に写し込めます。あらかじめSnapBridgeアプリの設定が必要です。詳しくは、 SnapBridgeアプリのオンラインヘルブをご覧ください。

添付された著作権情報は、ViewNX-iのメタデータでも確認できます。

項目	内容
著作権情報添付	 【撮影者入力】および、「著作権者 名入力」で登録した著作権情報を 画像に添付します。 ・「著作権情報添付」を選んで▶ を押し、チェックボックスを オン」「✓」にします。◎ ボタ ンを押すと、設定が有効にな り、その後撮影した画像に著 作権情報が添付されます。
撮影者入力	 36文字までの英数字で撮影者名を登録できます。 「撮影者入力」を選んで ▶ を押すと、入力画面が表示されます。 入力方法は、「文字入力画面の操作方法」、(□160)をご覧ください。
著作権者名入力	 54文字までの英数字で著作権者名を登録できます。 「著作権者名入力」を選んで▶を押すと、入力画面が表示されます。 入力方法は、「文字入力画面の操作方法」(□160)をご覧ください。

▶ 著作権情報についてのご注意

- 動画には著作権情報を添付できません。
- カメラを貸したり譲渡したりする場合は、撮影者名や著作権者名の違法な使用を防ぐため、[著作権情報添付]の設定を必ず解除してください。また、撮影者名と著作権者名は空欄にしてください。
- [著作権情報]の使用によって生じたトラブルや損害など、当社は一切責任を負いません。

✓ 著作権情報の表示について

- 画像をカメラで再生しても著作権情報は表示されません。
- SnapBridgeアプリでは、[撮影者入力] と[著作権者名入力] の両方を入力した場合、 著作権者名のみが画像に写し込まれます。



セットアップメニュー

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 位置情報 → ®ボタン

撮影画像に位置情報を記録するかどうか設定します。

項目	内容
スマートフォンから 取得	[する]を選ぶと撮影画像にスマートフォンの位置情報が記録されます。SnapBridgeアプリの位置情報機能を有効にしてください。
情報表示	取得した位置情報を表示します。 • 表示中は更新されません。更新するには、[情報表示] をやり 直してください。

Av/Tv操作切り換え

MENUボタンを押す → Yメニューアイコン → Av/Tv操作切り換え → ® ボタン

Mモードで露出を設定するときの操作部の割り当てを切り換えます。

項目	内容
OFF 切り換えない (初期設定)	コマンドダイヤルでシャッタースピード(Tv)を、マルチセレ クターで絞り値(Av)を設定します。
ON操作を切り換える	マルチセレクターでシャッタースピード(Tv)を、コマンドダ イヤルで絞り値(Av)を設定します。



S メニューを使う

MENUボタンを押す → Yメニューアイコン → MFピーキング → ®ボタン

項目	内容
する (初期設定)	MF(マニュアルフォーカス)時の画面で、ピントが合った箇所 を白色で強調して、ピント合わせを補助します(囗64、65)。
しない	ピーキングをしません。

設定クリアー

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 設定クリアー → ®ボタン

[はい]を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

- 通信メニューの設定も初期化します。
- [地域と日時]、[言語/Language] など、一部の設定はリセットされません。
- 無線接続中は選択できないことがあります。

🖉 ファイル番号の連番をリセットする

メモリーカード/内蔵メモリー内の画像をすべて削除してから[設定クリアー]を行うと、 連番は「0001」からにリセットされます。

タッチ操作

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → タッチ操作 → ® ボタン

タッチ操作(□7)を有効にするかどうかを設定します。

• 初期設定: [有効]



セットアップメニュー



認証マークの表示

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 認証マークの表示 → ® ボタン

このカメラが取得している認証マークの一部を表示します。

バージョン情報

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → バージョン情報 → ® ボタン

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

• 無線接続中は選択できないことがあります。





資料

無線通信機能についてのご注意1	82
取り扱い上のご注意1	84
カメラについて 1	84
電池について1	85
本体充電 AC アダプターについて1	86
メモリーカードについて1	87
お手入れ方法1	88
クリーニングについて1	88
保管について1	88
警告メッセージ1	89
故障かな?と思ったら1	92
記録データのファイル名2	203
使用できるアクセサリー2	204
リモコン ML-L7	05
主な仕様2	209
使用できるメモリーカード2	13
索引	15
ニコンプラザについて2	19
修理サービスのご案内2	20
修理に関するお問い合わせ先2	21
製品の使い方に関するお問い合わせ先2	21





無線通信機能についてのご注意

● 電波に係わるご注意

 本製品はWi-Fi(無線LAN)およびBluetooth機能を搭載しています。国や地域に よって、法律によりWi-FiおよびBluetooth機能が使用できない場合があります。 ご購入された国以外での使用については、ニコンカスタマーサポートセンター (□221)へお問い合わせください。

● セキュリティーについて

- 本製品は電波を利用して情報を交換するため、電波の届く範囲で自由に無線接 続が可能であるという利点がありますが、セキュリティーに関する設定を行っ ていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
 - 情報の漏洩:悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワードなどの 個人情報が漏洩する可能性があります。
 - 不正アクセス:悪意ある第三者が無断でネットワークにアクセスして、なり すまし、情報の改ざんなどの行為を行う可能性があります。また、本製品に セキュリティーを設定したにもかかわらず、Wi-FiおよびBluetoothの仕様上、 特殊な方法によりセキュリティーが破られることもありますので、ご理解の 上ご使用ください。データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を 負いません。
- スマートフォンやタブレットに使用権限のないネットワークが表示されても、 接続しないでください。接続すると、不正アクセスとみなされるおそれがあり ます。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。

● 個人情報の管理および免責事項

 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報 を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱い で変化、消失する場合があります。
 必要な内容は、お客様の責任において控えを必ずおとりください。
 当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損

害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。

- 本製品を譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー(□120)の[設定クリアー]で、初期化してください。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。



182

無線通信機能についてのご注意

●本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は米国輸出管理規則 Export Administration Regulations (EAR) を含む米国法 の対象です。EARの輸出規制国(キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア:変 更される可能性があります)以外への輸出や持ち出しは、米国政府の許可は不要です。

● Wi-Fi (無線LAN) 機能/Bluetooth機能のご注意



- 本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示しています(以下の操作で画面に表示されます。
 MENUボタンを押す→1メニューアイコン→認証マークの表示→®ボタン)。 以下の行為は法令で罰せられることがあります。
 - 本製品の分解/改造
 - 本製品から証明ラベルをはがす
- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。
 - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
 - ① 構内無線局(免許を要する無線局)
 - ② 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
 - アマチュア無線局(免許を要する無線局)
 これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、
 通信の途絶が双方に生じることがあります。
- 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
 - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか、事前に確認する
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fiア クセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
 - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ニコンカスタマーサポートセンター(□221)にご相談ください。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV 機器、OA 機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
 - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
 - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

● 本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-FiおよびBluetooth機器としてお使いください。 Wi-FiおよびBluetooth機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任 を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-FiおよびBluetooth機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。



取り扱い上のご注意

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□vi~□ix)をお守りください。

カメラについて

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズやレン ズバリアーに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

●水にぬらさないでください

カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理 不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所(寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合)にカメラ を持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因になります。カメラをバッグやビ ニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録デー タが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。 過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、そ の際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 電池やACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態で取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。

● 画像モニターについて

- ・ 画像モニター(電子ビューファインダー含む)は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯(白、赤、青、緑)あるいは非点灯(黒)の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 画像モニターは、日差しの強い屋外などで見えにくいことがあります。
- 画像モニターの表面を強くこすったり、強く押したりすると、破損や故障の原因になります。万一、画像モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでけがをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、ロに入ったりしないようご注意ください。



184



取り扱い上のご注意

電池について

使用上のご注意

- 使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が0℃~40℃の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに 使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、ビニール袋などに入れて絶縁してください。

● 充電について

撮影の前に充電してください。付属の電池は、ご購入時にはフル充電されておりません。 ・ 周囲の温度が5℃~35℃の室内で充電してください。

- 電池内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、
 性能劣化の原因にもなります。カメラの使用直後など、電池内部の温度が高くなっているときは、電池の温度が下がるのを待ってから充電してください。
 このカメラを大体充電んCマグゴターまたけパンコンに接着して充電する場合、電池の
 - このカメラを本体充電ACアダプターまたはパソコンに接続して充電する場合、電池の 温度が0℃以下、50℃以上のときは、充電をしません。
- 充電が完了した電池を、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- 充電直後に電池の温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

● 予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備電池をご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があ ります。

● 低温時には残量の十分な電池を使い、予備電池も用意する

電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメ ラを冷やさないようにしてください。

消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温 し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温 に戻ると使える場合があります。

● 電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚 れは、乾いた布で拭き取ってください。

● 残量のなくなった電池は充電する

残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返 すと、電池の寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなった電池は、充電 してからお使いください。



取り扱い上のご注意

● 保管について

- 電池を使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けたままにすると、電源を切っていても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- 使用後の電池は半年以内に充電するようおすすめします。長期間保管する場合は、半年に一回程度充電した後、電池残量表示が回になるまでカメラで電池を使ってから保管してください。
- ・電池は、ビニール袋などに入れて絶縁し、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃~25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について

電池を十分に充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しい 電池をお買い求めください。

● リサイクルについて



不要になった充電式電池は、接点部をビニールテープなどで絶縁しリサイ クル協力店へお持ちください。

Li-ion 0 覧ください。 第10~は一般社団法人JBRCホームページ(https://www.jbrc.com)をご

> - 数字の有無と数値は電池に よって異なります。

本体充電ACアダプターについて

- ・ 本体充電ACアダプター EH-73Pに対応している機器以外で使わないでください。
- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- EH-73P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器 は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- EH-73Pは、家庭用電源のAC 100-240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、 必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグア ダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。





取り扱い上のご注意

メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- メモリーカードは、SD/SDHC/SDXCメモリーカード以外は使えません(CQ213)。
- お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- メモリーカードの書き込み禁止スイッチがロックされていると、撮影、画像の削除、カードの初期化はできません。
- ラベルやシールを貼らないでください。



● 初期化について

- メモリーカードをパソコンで初期化(フォーマット)しないでください。
- 他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメ ラで初期化してください。
 未使用のメモリーカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- メモリーカードを初期化すると、メモリーカード内のデータは、すべて削除されます。
 初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- メモリーカードを入れた後にカメラに [このカードは初期化されていません。初期化しますか?]の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、[いいえ]を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。メモリーカードを初期化してよければ、[はい]を選んで®ボタンを押してください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、 データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。
 - 電池/メモリーカードカバーを開けて、メモリーカードや電池を脱着する
 - カメラの電源をOFFにする
 - ACアダプターを外す







お手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

レンズ/電子ビューファインダー

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意くださ い。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋 や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央 から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬 いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取 れないときは、レンズクリーナー液(市販)で湿らせた柔らかい布で軽く拭い てください。

画像モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾 いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、 硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディー

- ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂 や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

ご注意:カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になりま す。この場合、当社の保証の対象外になります。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、電池を取り出してください。 また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月 に一度」を目安に電池を入れ、カメラを操作するようおすすめします。 カメラを以下の場所に保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- ・ 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺

電池の保管は、「取り扱い上のご注意」の「電池について」の「● 保管について」 (□186)をお守りください。



警告メッセージ

以下のメッセージが表示されたときは、次の内容を確認してください。

表示	考えられる原因や対処法	[ŋ
電池が高温です。 電源を OFF にします。	電源が自動的にOFFになります。温度が下がるまでし		
カメラが高温です。 電源を OFF にします。	ばらく放置してからお使いください。	_	
カードがロック されています。	メモリーカードの書き込み禁止スイッチがロックさ れています。ロックを解除してください。	187	
このカードは 使えません。	メモリーカードへのアクセス異常です。 ・ 動作確認済みのカードを使ってください。		
カードに異常があり ます。	 カートの端子部分かられていないか確認してくたさい。 カードが正しく挿入されているか確認してください。 	16、	213
このカードは初期化 されていません。 初期化しますか?	メモリーカードが、このカメラ用に初期化されていません。 せん。 初期化するとカード内のデータはすべて削除される ため、カード内に必要なデータが残っているときは、 [いいえ]を選び、初期化する前にパソコンなどに保 存してください。[はい]を選んで®ボタンを押すと、 メモリーカードを初期化できます。	16、	187
メモリー残量が ありません。	不要な画像を削除するか、メモリーカードを交換して ください。	16、	28
	画像記録中にエラーが発生しました。 メモリーカードを交換するか、メモリーカード/内蔵 メモリーを初期化してください。	16、	173
画像を保存できませ ん。	これ以上記録できないファイル番号に達しました。 メモリーカードを交換するか、メモリーカード/内蔵 メモリーを初期化してください。	16、	173
	画像コピー先の容量不足です。 コピー先の不要な画像を削除してください。	28	
この画像は編集でき ません。	編集可能な条件を確認してください。	88、	198
動画記録できません。	メモリーカードに動画を記録するのに時間がかかっ ています。 画像記録処理の速いメモリーカードに交換してくだ さい。	98、	213



⑤資料

警告メッセージ

表示	考えられる原因や対処法	Ш.
撮影画像がありませ ん。	撮影済みの画像がありません。 • 内蔵メモリーの画像を再生するには、メモリーカー ドを取り出してください。 • 内蔵メモリー内の画像をメモリーカードにコピー するときは、MENU ボタンを押して再生メニューの [画像コピー]を選んでください。	16 120
このファイルは 表示できません。	このカメラ以外で作成または編集したファイルです。 このカメラでは再生できません。 ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生 してください。	_
この画像は選択でき ません。	RAW画像や、このカメラ以外で撮影した画像は、送 信指定できません。	-
表示できる 画像がありません。	スライドショーなどで表示できる画像がありません。	-
このファイルは 削除できません。	画像にプロテクトがかかっています。 プロテクトを解除してください。	155
フラッシュが閉じて います。	シーンモードの[おまかせシーン]時はフラッシュを 閉じたままでも撮影できますが、フラッシュは発光し ません。	34
フラッシュを上げて ください。	[夜景ボートレート] または [逆光] の [HDR] が [し ない] 時は、フラッシュを閉じたままでは撮影できま せん。	35、37
カードが入っていま せん。	シーンモードの[タイムラブス動画]、[比較明合成]、 ショートムービーショーモードで撮影するときは、メ モリーカードを入れてください。	_
電源を入れなおして ください。	レンズの動作にエラーが発生しました。 レンズに無理な力を加えないでください。 電源を入れなおすと、レンズの動作が正常に戻ります。 電源を入れなおしてもエラー表示が続くときは、ニコ ンサービス機関までご連絡ください。	-
通信エラー	プリンターとの通信中にエラーが発生しました。 カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続をや り直してください。	112
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。 電源をOFFにして電池を入れ直し、もう一度電源を ONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコ ンサービス機関までご連絡ください。	192





警告メッセージ

表示	考えられる原因や対処法	Û
プリンターエラー: プリンターを確認 してください。	エラーの原因を取り除いた後、[継続]を選んで ® ボ タンを押し、プリントを再開してください。 [※]	_
プリンターエラー: 用紙を確認してくだ さい。	指定したサイズの用紙をセットした後、 [継続] を選 んで ⑩ ボタンを押し、プリントを再開してくださ い。*	_
プリンターエラー: 紙詰まりです。	詰まった用紙を取り除いた後、[継続]を選んで ® ボ タンを押し、プリントを再開してください。**	_
プリンターエラー: 用紙がありません。	指定したサイズの用紙をセットした後、[継続] を選 んで ⑩ ボタンを押し、ブリントを再開してくださ い。**	_
プリンターエラー: インクを確認してく ださい。	インクに異常があります。 インクを確認した後、[継続]を選んで 砂 ボタンを押 し、プリントを再開してください。 ^{**}	_
プリンターエラー: インクがありませ ん。	インクを交換した後、[継続]を選んで ® ボタンを押 し、プリントを再開してください。*	_
プリンターエラー: ファイルが異常で す。	プリントする画像ファイルに異常があります。 [キャンセル]を選び ® ボタンを押して、プリントを 中止してください。*	_

※ プリンターの説明書もあわせてご覧ください。





警告メッセージ

故障かな?と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

電源・表示・設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	
電源 ON の状態で、 カメラの操作がで きない	 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。 操作できない状態が続くときは、電源を OFF にする操作をしてください。電源が OFF にならない場合は、電池を入れ直してください。 AC アダブター使用時は付け直してください。 記録中であったデータは保存されません。 保存済みのデータは電池や AC アダブターの取り外しでは失われません。 	-
電源を ON にでき ない	 電池残量がありません。 電池を入れてから電源スイッチが有効になるまでに 数秒間かかります。数秒間経ってから、電源スイッ チを押してください。 	16、17、 185 -
カメラの電源が突 然切れる	 オートパワーオフ機能が働きました。 低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。 カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。 	25 185 —
画像モニター / 電 子ビューファイン ダーに何も映らな い	 電源が入っていません。 電池残量がありません。 オートパワーオフ機能が働きました。 画像モニターと電子ビューファインダーは同時に点 灯しません。画像モニターと電子ビューファイン ダーの切り換えに時間がかかることがあります。 カメラがパソコンと接続されています。 インターバル撮影中、シーンモードの「タイムラブ ス動画]または[比較明合成] で撮影中です。 	20 23 25 - -
カメラの温度が高 くなる	動画撮影や画像送信などで長時間使ったり、周囲の温 度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高く なることがありますが、故障ではありません。	_





こんなときは	考えられる原因や対処法	Ē
カメラ内の電池を 充電できない	 ブラグの接続状態を確認してください。 パソコンで充電するときは、以下の原因が考えられます。 セットアップメニュー [パソコン接続充電] が [しない] になっています。 カメラの電源を OFF にすると、電池の充電は中止されます。 カメラの表示言語と日時を設定していないときや、時計用電池が切れて日時がリセットされたときは充電できません。本体充電 AC アダプターで充電してください。 パソコンが休止状態 (スリープ状態) になると、充電が中止されることがあります。 パソコンの仕様、設定または状態によっては、充電できないことがあります。 	17 175 - 20 - -
画像モニターがよ く見えない	 周囲が明るすぎます。 ・ 暗い場所に移動してください。 ・ 電子ビューファインダーをお使いください。 ・ 画面の明るさを調節してください。 	26 163
電子ビューファイ ンダーがよく見え ない	 ファインダーの視度を調節してください。 電子ビューファインダーの明るさを調節してください。 	26 163
画像モニターと電 子ビューファイン ダーが切り換わら ない	 以下の場合は、表示が切り換わりません。 動画撮影時のズーム操作中 動画再生中 動画編集時 カメラの操作中は、表示が切り換わらないことがあります。 	-
画面で ◎ が点滅す る	 内蔵時計の日時を設定しないと、撮影画面で ◎ が点滅し、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2019/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー [地域と日時]で日時を正しく設定してください。 ウ蔵時計は胸時計などの一般的な時計ほど精度は高 	11、161
撮影日時が正しく 表示されない	くありません。定期的に日時の設定を行うことをお すすめします。	



資料

こんなときは	考えられる原因や対処法	Ē
撮影情報や画像情 報が表示されない	セットアップメニュー[モニター設定]の[モニター 表示設定]が[情報OFF]になっています。	163
[日付写し込み]が 選べない	セットアップメニュー[地域と日時]が設定されてい ません。	161
[日付写し込み]を 有効にしたのに日 付が写し込まれな い	 撮影モードや他の機能の設定によっては、日付を写し込めません。 動画には写し込みできません。 	80、166
電源を入れると地 域と日時の設定画 面が表示される	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。 カメラを再設定してください。 • カメラの時計や一部の設定の保持には、内蔵の時計	
設定内容が初期状 態に戻ってしまっ た	用電池が使われています。時計用電池はカメラに電 池を入れるか AC アダプター(別売)を接続すると 約 10 時間で充電され、カメラの電池を取り出して も数日間動作します。	_
カメラから音がす る	[AFモード] の設定や、選んだ撮影モードによっては、 オートフォーカスの動作音が聞こえることがありま す。	31、143、 150
	 他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。 	80
メニューが選べな い	・無線接続中は、選べないメニューがあります。無線 接続を解除してください。	-
	 HDMIケーブル接続中は、通信メニューを選べません。 	-





撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	
撮影モードにでき ない	USBケーブルを外してください。	110
	 再生モードになっているときは、 ボタン、シャッターボタンまたは (ママンボタンを押してください。 	2、27
	• メニューが表示されているときは、MENU ホタノを押 してください。	121
撮影できない	 冬の点滅中は、フラッシュの充電中です。 本体充電 AC アダプターに接続中は動画を撮影できません。 	58 18
	• HDMIケーブルで接続中は撮影できません。	111
	 残重のめるメモリーカートをカメラに入れてくたさい。 電池残量がありません。 	16 16、17、 185
	 被写体との距離が近すぎます。シーンモードの「お まかセシーン」、「クローズアップ」、またはフォーカ スモードのマクロ AF での撮影をお試しください。 	33、34、 36、63
	 フォーカスモードの設定が合っていません。設定を 確認または変更してください。 	63
ピントが合わない	 オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 	76
	 セットアップメニュー [AF 補助光] を [オート] にしてください。 	169
	 フォーカスモードが MF (マニュアルフォーカス) に なっています。 	63、64
	• 電源を入れ直してください。	-
撮影時の画面に色 の付いた縞模様が 発生する	同じパターンを繰り返す被写体(窓のブラインドなど) に色の付いた縞模様(干渉縞、モアレ)が現れること がありますが、故障ではありません。	_
画像がぶれる	 フラッシュを使ってください。 につばきたしばて掲載してください。 	58
	 SD 感復を上げて撮影してくたさい。 静止画を撮影するときは [静止画手ブレ補正]を、 動画を撮影するときは [動画手ブレ補正] を使って ください 	151、168
	 三脚などでカメラを安定させてください(セルフタイマーを併用すると、より効果的です)。 	61



6 資料

こんなときは	考えられる原因や対処法	
フラッシュ撮影時 に、画像に白い点 が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り 込んでいます。フラッシュを閉じて、フラッシュモー ドを��(発光禁止)にしてください。	58
フラッシュが発光 しない	 フラッシュが閉じています。 撮影モードや他の機能の設定によっては、フラッシュは発光しません。 	25、58 78、80
電子ズームが使え ない	 セットアップメニュー [電子ズーム] が [しない] になっています。 撮影モードや他の機能の設定によっては電子ズーム を使えません。 	169 82、169
[画像サイズ] が選 べない	撮影モードや他の機能の設定によっては、[画像サイ ズ] が選べません。	80、129
シャッター音が鳴 らない	セットアップメニュー [操作音] の [シャッター音] が [なし] になっています。[あり] にしていても、撮影 モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。	172
AF 補助光が点灯 しない	セットアップメニュー[AF補助光]が[なし]になっ ています。[オート]に設定していても、AFエリアの 位置や撮影モードによっては点灯しない場合がありま す。	169
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	188
画像の色合いが不 自然になる	適切なホワイトバランスまたは色合いが選ばれていま せん。	36、66、 130
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなって いるか、ISO感度が高くなっています。 • フラッシュを使ってください。 • 低い ISO 感度にしてください。	25、58 138
画像が暗すぎる	 フラッシュが閉じているか、フラッシュが発光しない撮影モードになっています。 フラッシュが指などでさえぎられています。 被写体にフラッシュの光が届いていません。 露出を補正してください。 ISO 感度を上げてください。 逆光で撮影しています。シーンモードの「逆光」にするか、フラッシュをポップアップさせてフラッシュモードを↓(強制発光/通常発光)にしてください。 	25、58、 78 23 210 66、68 138 37、58
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	66、68



196

6 資料

こんなときは	考えられる原因や対処法	
赤目以外の部分が 補正された	[夜景ボートレート] 以外の撮影モードで、フラッシュ モードを‡◎(赤目軽減自動発光/赤目軽減発光)以外 にして撮影してください。	58、78
美肌の効果が得ら れない	 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られない ことがあります。 4人以上の顔を撮影した画像は、再生メニュー [メ イクアップ効果]の[美肌]をお試しください。 	46 90
画像の記録に時間 がかかる	以下の場合、画像の記録に時間がかかることがありま す。 ・ 暗い場所などで自動的にノイズ低減機能が作動した とき ・ フラッシュを ★◎ (赤目軽減自動発光 / 赤目軽減発 光) にして撮影したとき ・ 以下のシーンモードで撮影したとき - [夜景』の[手持ち撮影] - [夜景]の[F持ち撮影] - [逆光]の[HDR]が[する] - [かんたんパノラマ] ・ [画質]が[RAW]、[RAW+FINE]または[RAW+NORMAL] のとき ・ 美肌機能で撮影したとき ・ 連写で撮影したとき	 59 35 36 37 42 127 46 134
画面や撮影画像に リング状の帯や虹 色の縞模様が見え る	逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内外に ある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様(ゴース ト)等が写し込まれることがあります。光源の位置を 変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しくだ さい。	_





再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	
再生できない	 このカメラ以外で記録した画像は、再生できないことがあります。 このカメラ以外で記録した RAW 画像、または動画は、再生できません。 パソコンで加工したデータは、再生できないことがあります。 インターバル撮影中は再生できません。 	- - 134
画像の拡大表示が できない	 動画は拡大表示できません。 このカメラ以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。 画像サイズの小さい画像は、画面の倍率表示と画像の拡大率が一致しないことがあります。 	_
画像編集ができな い	 画像によっては編集できません。編集で作成した画像は、再編集できないことがあります。 メモリーカード / 内蔵メモリーに空き容量がありません。 このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。 動画は、画像編集できません。 	44、88
画像を回転できな い	このカメラ以外で撮影した画像は回転できません。	-



故障かな?と思ったら



外部機器関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	
こんなときは スマートフォンと 無線接続できない*1	 考えられる原因や対処法 はじめて無線接続するときは、付属の「SnapBridge 接続ガイド」をご覧ください。 無線接続済みの場合、以下の操作をしてください。 カメラの電源を入れ直してください。 SnapBridge アブリを再起動してください。 一度接続を解除してから再度接続してください。 「大力、うの「通信メニュー」の設定を確認してください。 [機内モード]を [しない] にしてください。 [Bluetooth] → [通信機能]を [有効] にしてく ださい。 [接続先切替]を[スマートフォン]にしてください。 「接続先切替]を[スマートフォン]にしてください。 「接続先切替]を[スマートフォン]にしてください。 「接続先切替]を[スマートフォン]にしてください。 「方が動く物(ない)」、 「方の度続先に、2 台以上のスマートフォンを登録した場合、カメラの「通信メニュー] → [Bluetooth] → [ベアリング済み機器]で、接続したいスマートフォンを登録したときは、アブリ側で接続先を切り換えてください。 オ分に残量のある電池をお使いください。 ・ 十分に残量のある電池をお使いください。 ・ 大量のあるメモリーカードをカメラに入れてください。 スマートフォンの Bluetooth、Wi-Fi および位置情報機能の設定を有効にしてください。 シのにしてください。OFEの増会 	 158 159 16 110
	[画像取り込み] および [リモート撮影] は使えます が、画像の自動送信はできません。	



こんなときは	考えられる原因や対処法	m
SnapBridge アプ リで無線接続中の スマートフォンに 画像を送信できな い*1	 ・ 自動送信するときは、以下の操作をしてください。 - カメラの [通信メニュー] → [撮影時画像送信] → [静止画] を [する] にしてください。 - SnapBridge アプリの □ タブ → [自動連携設定] → [自動連携] を ON にしてください。 	158 —
	 SnapBridge アプリの □ タブ → [自動連携設定] → [自動転送] を ON にしてください。 	-
	- カメラの [通信メニュー] → [Bluetooth] → [電 源オフ中の通信] が [しない] のときは、カメラ の電源を ON にするか、[する] にしてください。	159
	 Bluetooth通信時に送信するコマ数が多いときは、画 像送信中に通信が切断されることがあります。カメ ラの電源を入れなおすと、スマートフォンに再接続 されます。以下の場合は、スマートフォンに再接続 すると画像送信が再開されます。 	_
	 カメラの [通信メニュー] → [撮影時画像送信] → [静止画] が [する] のとき カメラの [再生メニュー] → [送信画像の指定] で、送信画像が指定されているとき カメラの操作中は、画像の送信機能が使えないこと 	_
	や、送信が停止することがあります。	
SnapBridge アプ リで無線接続中の スマートフォンか らリモート撮影が できない ^{※1}	 内蔵メモリーまたはメモリーカードのメモリー残量 がない場合は、リモート撮影ができません。不要な 画像を削除するか、残量のあるメモリーカードを入 れてください。 	-
	 カメラの操作中は、リモート撮影が使えないことが あります。 	-
SnapBridge アプ リで、静止画をオ リジナルサイズで 送信できない ^{※1}	カメラの【撮影時画像送信】および【送信画像の指定】 では、取り込む画像サイズは2Mサイズに制限されま す。オリジナルサイズで静止画を取り込むには、 SnapBridgeアプリの【画像取り込み】をお使いくださ い。	_
SnapBridge アプ リでWi-Fi接続時に 通信状態が悪い/ 画像送信速度が極 端に遅い ^{※1}	カメラの [通信メニュー] → [Wi-Fi] → [接続設定] でチャンネルを変えると改善することがあります。	159





こんなときは	考えられる原因や対処法	
リモコン ML-L7 を 操作してもカメラ が反応しない ^{※2}	 カメラとリモコン ML-L7 (別売)が接続されていません。リモコンの電源ボタンを押して接続してください。撮影画面に同が表示されていない場合は、再度ペアリングして接続してください。 リモコンは撮影時の操作にのみ使用できます。 リモコンの Fn1/Fn2 ボタンは、このカメラとでは使用できません。 	207 205 205
リモコン ML-L7 と ペアリングできな い ^{※2}	カメラの「通信メニュー」の設定を確認してください。 ・ [接続先切替] を [リモコン] にしてください。 ・ [機内モード] を [しない] にしてください。 ・ [Bluetooth] → [通信機能] を [有効] にしてくだ さい。	158
接続中のスマート フォンやパソコン に、カメラ内の画 像が表示されない	カメラ内のメモリーカードに保存された画像などが 10,000個を超えると、それ以降に撮影された画像は、 接続した機器に表示されないことがあります。 ・メモリーカード内の画像を減らしてください。必要 な画像はパソコンなどに保存してください。	_
画像がテレビに映 らない	 パソコンまたはプリンターがカメラに接続されています。 メモリーカードに画像が記録されていません。 内蔵メモリーの画像を再生するには、メモリーカードを取り出してください。 	- - 16
カメラをパソコン に 接続 し て も、 Nikon Transfer 2 が自動起動しない	 カメラの電源が OFF になっています。 電池残量がありません。 USB ケーブルが正しく接続されていません。 パソコンにカメラが正しく認識されていません。 Nikon Transfer 2 が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer 2 については ViewNX-i のヘルプをご覧ください。 	 16、17、 185 110、116 -
カメラをプリン ターに接続して も、 PictBridge 画 面が表示されない	PictBridge対応プリンターの種類によっては、セット アップメニュー [パソコン接続充電]を [オート] に 設定していると、PictBridge画面が表示されず、プリ ントできない場合があります。[パソコン接続充電] を [しない] にしてプリンターに接続し直してください。	175
プリントする画像 が表示されない	 メモリーカードに画像が記録されていません。 内蔵メモリーの画像を再生するには、メモリーカードを取り出してください。 	— 16



201

6 資料

こんなときは	考えられる原因や対処法	
カメラ側で用紙設 定ができない	PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラ で「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サ イズを設定してください。 ・ カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応 していません。 ・ 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使って います。	-

※1 付属の「SnapBridge接続ガイド」、およびSnapBridgeアプリのオンラインヘルプ もあわせてご覧ください。

※2 リモコン ML-L7 (別売) 付属の使用説明書もあわせてご確認ください。




記録データのファイル名

このカメラで撮影した静止画および動画には、以下のようにファイル名が付けら れます。

ファイル名: DSCN 0001.JPG

1 2 3

①識別子	 カメラの画面には表示されません。 DSCN:編集していない静止画、動画、動画編集で作成した静止画 RSCN:トリミング画像 FSCN:トリミング以外の画像編集で作成した画像、動画編集で 作成した動画
②ファイル番号	 0001から9999までの連番で付けられます。 インターバル撮影の場合、撮影のたびに新しいフォルダーが作成 され、ファイル番号0001から始まる一連の画像が保存されます。
③拡張子	ファイルの種類を示します。 • JPG : JPEG 静止画 • .NRW : RAW 静止画 • .MP4 : 動画



[画質](□127)の設定を [RAW+FINE] または [RAW+NORMAL] にして撮影した 場合、同時に記録したRAW画像とJPEG画像は、同じ識別子とファイル番号になります。 画像は同じフォルダーに保存され、ファイル数は同時記録したRAW画像とJPEG画像を 合わせて1ファイルとカウントされます。

✓ 記録フォルダーについて

このカメラで撮影した静止画および動画は、メモリーカード内または内蔵メモリー内の フォルダーに記録されます。

- フォルダー名には、100から999までの連番がつきます。
- 以下のときは、新しいフォルダーが作成されます。
 - フォルダー内のファイル数が999に達したとき
 - フォルダー内のファイル番号が9999に達したとき



記録データのファイル名



使用できるアクセサリー

充電器	バッテリーチャージャー MH-65P ^{※1} 残量のない状態からの充電時間は、約2時間30分です。		
ACアダプター	ACアダプターEH-62F ^{*2} <取り付け方>		
	ACアダプターのコードをACアダプターの満に奥まで入れてから電 池室に入れてください。次に、電池/メモリーカードカバーを閉める 前に、コードを電池室の満に奥まで入れてください。コードが溝か らはみ出していると、カバーを閉めたときにカバーやコードを破損 するおそれがあります。		

リモートコント リモコン ML-L7 ローラー ML-L7の使い方は「リモコン ML-L7」(□205) をご覧ください。

- ※1 日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめの上、お買い求めください。
- ※2 日本国内専用電源コード(AC 100 V 対応)付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。 また、オンラインショップ(ニコンダイレクト)でもお求めいただけます。 https://shop.nikon-image.com/

国または地域によって、販売していない場合があります。 アクセサリーの最新情報は、当社ウェブサイトやカタログなどでご確認ください。



204

6 資料

リモコン ML-L7

別売のリモコン ML-L7をカメラとペアリング^{*}して(ロ207)、リモコンからカメ ラを操作することができます。このカメラでは、撮影時に「リモコン各部の名称 と機能(COOLPIX A1000の場合)」(ロ205)の操作ができます。

- ** カメラとリモコンをBluetoothで接続する設定を、ここでは「ペアリング」と呼びます。
 ・ リモコンは1台のカメラにつき1個のみペアリングできます。別のリモコンをペアリングすると、最後にペアリングしたリモコンのみ有効になります。
- リモコン ML-L7 付属の使用説明書もあわせてご確認ください。

リモコン各部の名称と機能(COOLPIX A1000の場合)



	操作部	機能	
1	ーボタン/+ボタン	撮影画面の表示中、-ボタンを押すと広角側に、+ボタン を押すと望遠側にズームします。	
2	動画撮影ボタン	ボタンを押すと動画撮影を開始し、もう一度押すと終了します。	
3	マルチセレクター	 撮影画面でカメラのマルチセレクターと同様に、フラッシュモード(□058)、セルフタイマー(□061)、フォーカスモード(□063)、クリエイティブスライダー(□066)、露出補正(□068)などを設定できます。 マニュアルフォーカス時は、▲▼でピント合わせができます(□064)。 	



	操作部	機能
4	電源ボタン	電源ボタンを押すと、リモコンの電源がONになり、ペアリ ング済みのカメラを探し始めます。そのまま長押し(3秒以 上)すると、ペアリングしていないカメラを探し始めます。 電源がONの状態で電源ボタンを押すとOFFになります。
5	状態表示ランプ	ランプの色や挙動によって、リモコンの状態や撮影の動作 状態を表示します。詳しくは、「リモコンの状態表示ランプ について(COOLPIX A1000の場合)」(口206)をご覧く ださい。
6	シャッターボタン	カメラのシャッターボタンに対応します。 ・ 半押し / 長押し機能はありません。 ・ セルフタイマー撮影では、カウントダウン中に押すと、 撮影を中止できます。
7	🞯 (決定) ボタン	選択項目の決定をします。 マニュアルフォーカス調整時に押すと、ピント合わせを終 了します。
8	Fn1 (ファンクショ ン1) /Fn2 (ファン クション2) ボタン	このカメラでは使用できません。

リモコンの状態表示ランプについて(COOLPIX A1000の場合)

色	状態	内容
緑	約1秒間隔で点滅	ペアリング済みカメラを検出中
緑	速く点滅(約0.5秒間隔)	ペアリング中
緑	約3秒間隔で点滅	カメラと接続されている状態
オレンジ	1回点滅	静止画撮影開始
オレンジ	2回点滅	静止画撮影終了([タイムラブス動画]、 [比較明合成])
赤	1回点滅	動画撮影開始
赤	2回点滅	動画撮影終了



206

6 資料

カメラとリモコンをペアリングする

はじめてリモコンを使うときには、カメラとのペアリングが必要です。

- 1 カメラのMENUボタンを押す
- マルチセレクターの
 を押し、▲▼で^(T)メニューアイコンを選び、 ®ボタンを押す
- 3 [接続先切替]を選び、®ボタンを押す



4 [リモコン]を選び、®ボタンを押す



- 5 [リモコンとの接続]を選び、®ボタン を押す
 - カメラがペアリング待機中になります。









6 リモコンの電源ボタンを長押し(3秒以上)する

- カメラとリモコンのペアリングがはじまります。この間、リモコンの状態表示ランプが約0.5秒間隔で点滅します。
- ペアリングが完了すると、カメラとリモコン が接続されます。撮影画面にすると、同が表示 されます。
- ペアリングに失敗したことを知らせるメッ セージが表示されたら、手順5からやり直して ください。



カメラの接続先をスマートフォンに切り換える

- カメラの通信メニュー [接続先切替] を、[リモコン] から [スマートフォン]
 へ切り換えてください (□158、207)。
- スマートフォンでSnapBridgeアブリを起動し、カメラとスマートフォンが接続 されると、撮影画面に®が表示されます。
- はじめてスマートフォンと無線接続するときは、付属の「SnapBridge接続ガイド」 をご覧ください。





主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX A1000

型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	1604万画素(画像処理で減少することがあります)
撮像素子	1/2.3型 原色CMOS、総画素数1679万画素
レンズ	光学35倍ズーム、NIKKORレンズ
焦点距離	4.3-151 mm (35mm判換算24-840 mm相当の撮影画角)
開放F値	f/3.4-6.9
レンズ構成	11群13枚(EDレンズ4枚)
電子ズーム倍率	最大4倍(35mm判換算で約3360mm相当の撮影画角)
ミブレ補正機能	レンズシフト方式(静止画)
	レンズシフト方式と電子式の併用(動画)
オートフォーカス	コントラスト検出方式
	 先端レンズ面中央から約 50 cm ~∞ (広角側)、
撮影距離範囲	
	 マクロ AF 時は元端レノス面中矢から約 T Cm ~∞ (広 角側) 約 20 m ~∞ (望遠側)
AFTUZ	旗脳減オート、マニュアル(スホット)、マニュアル(惊 準) マニュアル(ワイド) ターゲット追尾 ターゲッ
/ 1 2 3 /	+// (二二)/// (ジート// ジージン/ トファインドAF
ファインダー	電子ビューファインダー、0.2型液晶、約116万ドット相
779799-	当、視度調節機能付き(-4~+4 m ⁻¹)
視野率(撮影時)	上下左右とも約98%(対実画面)
視野率(再生時)	上下左右とも約98%(対実画面)
	」広視野角3型TFT液晶モニター(タッチパネル)、反射防止
画像モニター	コート付さ、約103万トツト 舞度調節機能付き (5段階)
	1件反詞的成形内で(3段階) チルト方式
視野率(撮影時)	上下左右とも約98% (対実画面)
視野率(再生時)	上下左右とも約98%(対実画面)
記録方式	
記録媒体	内蔵メモリー (約81 MB)、SD/SDHC/SDXCメモリーカード
対応規格	DCF、Exif 2.31準拠
	静止画:JPEG、RAW(NRW)(ニコン独自フォーマット)
ファイル形式	動画:MP4(映像:H.264/MPEG-4 AVC、音声:AACス
	テレオ)

 ・う 資料
 主な仕様

209

記	録画素数	
	静止画	16M [4608×3456]、8M [3264×2448]、 4M [2272×1704]、2M [1600×1200]、 16:9 12M [4608×2592]、3:2 14M [4608×3072]、 1:1 [3456×3456]
	動画	2160/30p(4K UHD)、2160/25p(4K UHD)、 1080/30p、1080/25p、1080/60p、1080/50p、 720/30p、720/25p、720/60p、720/50p、 HS 720/4 倍、HS 1080/2 倍、HS 1080/0.5 倍
IS	O感度(標準出力感度)	 ISO 100 ~ 1600 ISO 3200、6400 (P、S、A、Mモード時に設定可能)
露	出	
	測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光、スポット測光
	露出制御	プログラムオート(プログラムシフト可能)、シャッター 優先オート、絞り優先オート、マニュアル露出、AEブラ ケティング可能、露出補正(±3段の範囲で1/3段刻み) 可能
シ	ャッター方式	メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用
	シャッタースピード	 1/2000~1秒 1/2000~8秒(S、A、Mモード) 1/4000秒(高速連写時の最高速) 25秒(シーンモード[比較明合成]の[星軌跡])
絞	5 5	電磁駆動による3枚羽根虹彩絞り
	制御段数	7(1/3 EVステップ)(広角側)(A、M モード)
t	ルフタイマー	• 10 秒、3 秒 • 5 秒(自分撮りタイマー)
7	'ラッシュ	
	調光範囲 (ISO感度設定オート時)	約0.5~6.0 m(広角側) 約2.0~3.0 m(望遠側)
	調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
外	部インターフェース	
	USB端子	Micro-USB端子(付属のUC-E21以外のUSBケーブルは使わないでください)、Hi-Speed USB ・ダイレクトプリント (PictBridge) 対応
	HDMI出力端子	HDMIマイクロ端子(Type D)





Wi-Fi (無線LAN)	
準拠規格	IEEE 802.11b/g(無線LAN標準プロトコル)
周波数範囲(中心周波数)	2412~2462 MHz (1~11 ch)
出力	9.98 dBm (EIRP)
認証方式	オープンシステム、WPA2-PSK
Bluetooth	
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver. 4.1
国油粉筋田(山心国油粉)	Bluetooth : 2402~2480 MHz
/可/汉女X毛田(中/心/可/汉女X)	Bluetooth Low Energy 2402~2480 MHz
出力	Bluetooth : 3.54 dBm (EIRP)
щ <i>и</i> , у	Bluetooth Low Energy 2.98 dBm(EIRP)
	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12(リチウム
電源	
	AC アタノター EH-62F (別売)
充電時間	約2時間30分(本体充電ACアダプター EH-73P使用時、 残量のない状態からの充電時間)
電池寿命※1	
静止画撮影時	約250コマ(EN-EL12使用時)
動画撮影時 (実撮影電池寿命) ^{※2}	約55分(EN-EL12使用時)
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
寸法(幅×高さ×奥行き)	約114.2×71.7×40.5 mm(突起部除く)
質量	約330g(電池、メモリーカード含む)
動作環境	
使用温度	0℃~40℃
使用湿度	85%以下(結露しないこと)
 ・ 仕様データは、CIPA(カ> 	(ラ映像機器工業会)の規格またはガイドラインに準拠して

- います。
- ※1 電池寿命は、SnapBridgeを使用していないときの値です。また、使用温度、撮影 間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用状況によって異なります。
- ※2 動画の連続撮影可能時間(1回の撮影で記録可能な時間)は、メモリーカードの残量 が多いときでも最長29分です。また、動画のファイルサイズの上限は、1ファイル につき最大4GBです。29分未満の動画撮影でも、1ファイルのサイズが4GBを超え ると複数のファイルに分割され、連続再生できません。



Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12

形式	リチウムイオン充電池		
定格容量	DC 3.7 V、1050 mAh		
使用温度	0℃~40℃		
寸法(幅×高さ×奥行き)	約32×43.8×7.9mm		
質量	約22.5 g		

本体充電ACアダプター EH-73P

電源	AC 100-240 V、50/60 Hz、MAX 0.14 A
定格入力容量	12-18 VA
定格出力	DC 5.0 V、1.0 A
使用温度	0°C∼40°C
寸法(幅×高さ×奥行き)	約55×22×54 mm
質量	約51g

製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。 ~ AC (交流)、--- DC (直流)、回 クラス I 機器 (二重絶縁構造)

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- カメラに表示されるサンプル画像、および説明書内の画像やイラストは、機能を説明 するためのイメージです。



使用できるメモリーカード

SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードが使用できます。

- UHS-Iに対応しています。
- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6 (ビデオスピードクラスV6) 以上のメモリーカードをおすすめします。[動画設定] が [2008 2160/30p] (4K UHD) または [2008 2160/25p] (4K UHD) の場合は、UHSスピードクラス3 (ビデオスピードクラスV30) 以上のメモリーカードをおすすめします。転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- カードリーダーなどをお使いの場合は、お使いのメモリーカードに対応していることをご確認ください。
- メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。

商標説明

- Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商 標または商標です。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録 商標であり、株式会社ニコンはこれらのマークをライセンスに基づいて使用し ています。
- Apple[®]、App Store[®]、Apple□ゴ、Mac、OS X、macOS、iPhone[®]、iPad[®]、 iPod touch[®]およびiBooksは、Apple Inc.の米国およびその他の国における商 標または登録商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社(https://www.aiphone.co.jp/)のライセンスに基づき使用しています。
- AndroidとGoogle PlayおよびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。 Androidロボットは、Googleが作成および提供している作品から複製または変 更したものであり、Creative Commons 3.0 Attributionライセンスに記載され た条件に従って使用しています。
- iOSの商標は、米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc.のライセンス に基づき使用しています。
- Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、およびReaderは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。





- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。 (i) AVC規格に従い動画をエンコードすること(以下、エンコードしたものをAVC ビデオといいます) (ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、または AVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手した AVCビデオをデコードすること 上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許 諾されていません。 詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。 http://www.mpegla.comをご参照ください。

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、©2012 The FreeType Project (https://www.freetype.org)のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、©2019 The HarfBuzz Project (https://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz) のものです。すべて の権利はその所有者に帰属します。



主な仕様



索引

<u>マーク・英数</u>

🗖 オート撮影モード		31、	32
✿ クリエイティブモート	÷	31.	51
SCENE シーンモード		31、	33
A 絞り優先オートモード		31、	53
S シャッター優先オートモ	ード	:	
		31.	53
📾 ショートムービーショー		ード	
		31.	103
P プログラムオートモード		31	53
$M = \nabla P = \nabla P$		31	53
	•••••	51.	27
	•••••	 77	01
	 ר	2/	. 04
	Z.	24	. 70
		2/.	85
T 望遠人一厶	2、	24,	/0
穒 AE-L/AF-L ボタン	3、	6、	171
冥 クイックバックズームカ	、タン	/	
	2	、4、	71
🞯 決定ボタン	3、	5、	120
▶ 再生ボタン	3	、6、	27
而 削除ボタン	3	、6、	28
●(▶▼動画撮影)ボタン.	3	、5、	25
Fnファンクションボタン	2	. 6.	69
4C フラッシュポップアッ	プレ	バー	
	3	25	58
MENII メニューボタン		6	120
	J` 2	6	26
	J	、 0、 57	66
M クリエイティンヘライラ ふ セルフタイフ		57	
	•••••	57.	. 01
		57.	. 03
		57.	58
送 露出補止	57.	66,	68
1 コマ表示 13、	27、	84,	85
AC アダプター	1	10、	204
AE-L/AF-L ボタン設定	12	26、	171
AE ブラケティング	12	23、	139
AF エリア		12、	24
AF エリア選択 69)、12	23、	140

AF 表示		10
AF補助光 2	126	169
ΔF 王— ド 123 124	143	150
AIL I IIIIII 125、124、 Av/Tv	126	170
	120	102
Blustoath	175	105
	123	139
	 00	174
D- J1 J1 J J J J J J	09、	124
	1.76	105
EVF の日勤切り換ん	120	105
FN ホクノ設と	110	09
	110	174
	126	1/4
HDMI マイクロ端ナ	3、	110
HDR		3/
HS <u>劉</u> 囲	14/、	149
ISO 感度設定	123、	138
Li-ion リチャーシャフルバッ	テリー	-
		212
MF ピーキング	126、	179
Micro-USB 端子		
	112、	116
M モード露出反映表示	123、	144
PictBridge	110、	112
SD メモリーカード 16、	187、	213
SnapBridge アプリ		158
USB ケーブル 17、110、	112、	116
ViewNX-i		116
Wi-Fi	125.	159
_		
<u></u>		
アイセンサー	3.	26
赤目軽減自動発光	59.	60

赤目軽減自動発光	59.	60
赤目軽減発光	59.	60
赤目補正	90、	124
アクティブ D- ライティング		66
鮮やかさ	45.	66
アプリ		158
位置情報	126、	178
色合い		66

色温度	131
インターバル撮影134	4、136
打ち上げ花火 ③ 3	33、37
笑顔自動シャッター	50
オート撮影モード 3	31、32
オートパワーオフ	5、172
オートフォーカス	
	3、150
おまかせシーン * 3	33、34
音量	106

<u>カ</u>

カードの初期化16、	126、	173
顔認識オート		140
顔認識撮影		. 75
拡大表示	27、	84
画質	123、	127
風切り音低減	124、	152
画像回転	124、	155
画像コピー	124、	156
画像コメント	126、	176
画像サイズ	123、	129
画像編集		. 88
画像モニター	、19、	188
カレンダー表示		. 85
かんたんパノラマ 🗖	33、	42
かんたんパノラマ再生		. 44
簡単レタッチ	89、	124
感度制限オート		138
機内モード	125、	158
逆光 🖺	33、	37
強制発光		. 59
記録可能コマ数	23、	128
記録可能時間	96、	98
組み合わせて使えない機能…		. 80
クリエイティブスライダー…	57、	66
クリエイティブモード	31、	51
グループ画像	28、	86
グループ表示設定	124、	157
クローズアップ 🗱	33、	36
言語 /Language	126、	174
広角ズーム		. 70
高速連写		134

サ

*	
	27、86、106
再生メニュー	120. 153
再生モード	27
サイドズームレバー	2.4.24
サイドズームレバー設定	126 170
生むり場影	134 135
1110日1111日111日111日111日111日11日11日11日11日11	28 87
出影	23 31 96
退於	/7 103
」 取 形 回 数	
退於同府	163
退於後の回家衣小	125 158
烟影时凹隊亾店 提影效了	104
1取影終」	
14成シーユー 120 12以上 - ビ	J、127、130 21
撮影モートダイ ヤル Z	4、23、31
リマータイム	21、162
リムイ1ル衣示	
三脚インバ	
シーンモート	
時走	
目動発光	
視度調節タイヤル	
自分撮りタイマー	
絞り値	
絞り優先オートモード	
シャッター音	172
シャッター音の設定	
シャッタースピード	53、56
シャッターボタン	、4、24、73
シャッター優先オートモー	-ド 31、53
充電器	204
充電ランプ	
ショートムービーショーメ	ニュー
	103
ショートムービーショーモ	:
	31、103
吊時 AF	143、150
使用できるアクセサリー…	
住口沿離	70 200
///////世世世年 ••••••••••••••••••••••••••••	





6 資料

初期化		16、	173
シングル AF	. 14	43、	150
ズーム		24	70
ズームレバー 2、	4、	24.	70
ストラップ			. 15
ストラップ取り付け部		2.	15
スピーカー			3
スペシャルエフェクト	. 10	03.	104
スポーツ 🕿		33.	34
スマートフォンと接続	1	25.	158
スマートフォンと同期		、	161
スライド			
スライドショー	. 1	24.	154
スローシンクロ			. 59
スローモーション動画	. 14	47.	149
静止画手ブレ補正	1	26.	168
静止画の切り出し	10	06	108
游亚昌约约9月日日 接続先切替	1	25	158
設定音	•••	231	172
設定クリアー	1	26	179
設定 クラク	1	25	159
セットアップメニュー	1	20	161
セリアフラージュ	• • •	20	47
セルフタイマー	•••••	57	61
セルフタイマー解除設定	1	26	167
セルフタイマーランプ	• • •	20、	61
セレクトカラー &	•••••	22	30
ビレン カン 🌶	1	25.	172
	· · ·	20、	152
返回回隊の相足 御光古式 60	· · · ·	24、	122
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		23、	155
	•••••		20
2 2 1* SUF 1	•••••	55.	. 39
タ			
 ターゲット追尾	. 14	41、	142
ターゲットファインド AF		74、	141
タイムゾーン		21、	161
タイムラプス動画 뎒		33、	101

ダイレクトプリント......110、112 タッチ撮影......26、72 タッチ操作......126、179 タッチパネル.....7

タップ		7
端子カバー	7. 11	10
半日二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	13	34
平 5 地域と日時 20 12	6 16	51
医% こ 日 内	6 17	77
百 [F]崖[[]]刊[[]]][[]]] 通堂 ΔF	6	53
區市 AI 涌尚登米		50
通市元九	0 15	50
	0 11	11
ノレビ	0, 1	י י המ
电///	······ 4	20
电/// ヘイツナ / 电/// ノノノ 電マゴ / 70 13		20
电丁スーム	0, 10	99
电ナヒューファイフター 3 10 2	6 19	20
	5 21	11
电心VI、10、17、10 霊洲 / メエリニカニ ドカバニ	J, Z	
	7 11	10
	/、 i	10
电心戏里		25
動回丹土27、9 動画坦影		20
	25、5	90
動画版影中の静止回記球	10	10
動画設定12 計画チブレゼエ	4, 14	1 5
動画手ノレ佣止Ⅰ2	4、15	
町凹編集	10)/
町回×ニュー 12	0, 14	15
時計	0, 16	51
トリミンク	84、9	94
トリイフイト 🖀	3	33

<u>ナ</u>

内蔵メモリー		16
内蔵メモリーの初期化		173
内蔵メモリー表示	11	、13
夏時間	21、	162
日時の設定	20、	161
認証マークの表示	. 126、	180
ノイズ低減フィルター	. 123.	144

<u>//</u>

 バージョン情報	126、	180
パーティー 🕱	33	35
パソコン	110、	116
パソコン接続充電	126、	175





バッテリーチ	ャージ	ヤー		204
早送り動画			. 147、	149
半押し			4、24	、73
ビーチ 😰				33
比較明合成 🔊			33	、40
ヒストグラム	表示		66	、68
日付写し込み			. 126、	166
日付の表示順			21、	161
美肌			45	、46
ピント	24、73	3、140、	143、	150
ファイル名				203
ファンデーシ	ョン		45	、46
フィルター効果	果		92、	124
風景 🖬				33
フォーカスモー	ード		57	、63
フォーカスロ	ック撮	影		77
フォーマット			16、	173
フラッシュ			2、25	、58
フラッシュモー	ード		57	、58
プリ AF				143
プリセットマ	ニュア	ル		132
フリック				7
プリンター			. 110、	112
プリント		110、	113、	114
フレームレー	ト設定		. 124、	152
プログラムオ-	ートモ	ード	31	、53
プロテクト設定	È		. 124、	155
ベストフェイ	ス 🕑		33	、45
ペット 🖌			33	、38
ペット自動シ	ャッタ	—		38
ヘルプの表示				163
ポートレート	ž			33
望遠ズーム				70
ホワイトバラ	ンス	69、	123、	130
本体充電 AC 2	ヮダプ	ター		
		vi、17、	186、	212

マ

<u></u> マイク (ステレオ)		2
マクロ AF		63
マニュアルフォーカス	63、	64
マニュアル露出モード	31、	53

マルチセレクター	120
メイクアップ効果 45、90、	124
目つぶり軽減	49
メモリーカード16、187、	213
メモリーカードスロット	16
メモリーカードの初期化16、	173
メモリー残量 23	、96
メモリーの初期化126、	173
モニター設定 126、	163
モニターの明るさ	163
モニター表示設定	163

<u>ヤ</u>		
夜景 🖬	33	36
夜景ポートレート 🗹	33	、35
夕焼け 🚔		33
雪 8		33
用紙設定	113、	114

リナウムイオン充電池
vi、16、17、185
リモコン
リモコンとの接続125、158
料理 1
レディーライト58
連写
レンズ
ロータリーマルチセレクター3、5
露出補正

G



ニコンプラザについて

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。 ※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っています。

ニコンプラザショールーム ナビダイヤル 0570-02-8080

ニコンプラザサービスセンター ナビダイヤル 0570-02-8060

- ・
 音声ガイダンスにしたがってご利用ください。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセン ター(03)6702-0577におかけください。

ニコンプラザの所在地、営業時間などについては、下記URL をご覧ください。

https://www.nikon-image.com/support/showroom/





修理サービスのご案内

■インターネットでのお申込み

ニコンイメージングジャパン修理センターで承ります。 下記のホームページからお申込みいただけます。

https://www.nikon-image.com/support/repair/

- ニコンピックアップサービスで発送する場合 修理品梱包用資材のお届けから修理が完了した製品のご返送 までをセットにしたサービスです。全国一律の料金にて承ります(大きさや重 さには制限があり、取り扱いできない製品もあります)。
- ご自身で発送する場合

インターネットでお申込みいただいた後、お客様ご自身で修理品を梱包し、修 理センターまで発送してください。

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26 修理センターナビダイヤル 0570-02-8200
 ※ 修理センターでは、宅配便、郵送をお受けします。ご来所の方の受付はしておりません。

■お電話でのお申込み

お電話でのお申込みの場合は、ニコンピックアップサービスをご利用いただけます。

ニコンピックアップサービス専用フリーダイヤル 0120-02-8155

営業時間:9:30~18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業などを 除く毎日)

- ※上記フリーダイヤルは、修理のお申し込み専用です。修理内容に関するお問い 合わせにはお答えできません。修理内容に関するお問い合わせは修理センター へお願いいたします。
- ■サービスセンターでのお手続き

ニコンプラザのサービスセンター窓口でお見積り・受付をいたします。

▶ 修理品をお預けいただく場合のご注意

- ボディーキャップやレンズキャップが付属している製品の場合は、製品保護のため、 装着してお預けください。
- 修理に必要と思われるもの以外の付属品は、ご自身で保管ください。
- カメラなどの修理では、受付や修理の過程で撮影データをやむを得ず消去する場合があります。大切なデータは必ずバックアップをお取りください。



220

修理サービスのご案内



補修用性能部品と修理可能期間について

補修用性能部品(機能維持に必要な部品)の保有期間内を、修理可能期間とさせ ていただきます。なお、部品保有期間の経過後も修理できる場合もありますので、 ニコンサービス機関、ご購入店または最寄りの販売店にお問い合わせください。ま た、水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、保有期 間内であっても修理できません。この故障や破損の程度の判定は、ニコンサービス 機関にお任せください。

修理に関するお問い合わせ先

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター

修理センター ナビダイヤル 0570-02-8200

営業時間:9:30~18:00 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業などを 除く毎日)

- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。
- 最新情報につきましては、下記のホームページをご覧ください。 https://www.nikon-image.com/support/repair/

製品の使い方に関するお問い合わせ先

■インターネットでのお問い合わせ

https://www.nikon-image.com/support/contact/

■お電話でのお問い合わせ

お電話でお問い合わせいただく前に本説明書の「故障かな?と思ったら」 をご参照 ください。

ニコンカスタマーサポートセンター ナビダイヤル 0570-02-8000

営業時間:9:30~18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業などを 除く毎日)

- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。
- ファクシミリは、(03) 5977-7499 にお送りください。
- 最新情報につきましては、下記のホームページをご覧ください。 https://www.nikon-image.com/support/contact/

お問い合わせ時のお願い

おわかりになる範囲で「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、問題が発生した場合は「手順」、「現象(表示されたメッセージ)」、「発生頻度」などをご確認のうえ、お問い合わせください。

6 資料

修理に関するお問い合わせ先



■ ニコンイメージング会員「製品登録」のご案内 ■

ニコンでは製品を安全に、安心してご使用いただくため「製品登録」へのご協力 をお願いしております。ご登録いただいた製品に関するファームアップ情報や重 要なお知らせなどをメールでご案内いたします。

■製品登録方法

製品は、「ニコンイメージング会員」(無料)の「製品登録」ページからご登録い ただけます。ニコンイメージング会員登録および製品登録は以下ニコンホーム ページからお手続きください。

ニコンイメージング会員のご案内

https://www.nikon-image.com/enjoy/membership/about/

■ニコンイメージング会員とは

登録製品に関するサポート情報・ニコン製品情報や、お得で便利 な会員特典*などフォトライフをよりお楽しみいただくための会 員サービスです。

※特典は登録製品ごとに異なります。

■ご注意

- ご登録にはメールアドレスとインターネットに接続できる環境が必要です。
- 登録製品の製品番号(製品本体および保証書に記載)が必要です。
- 特典の内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

ニコンイメージングサポートページのご案内

https://www.nikon-image.com/support/

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報 をご覧いただけます。製品をより有効にご利用いただくために、 定期的なアクセスをおすすめします。





CT0K03(10) 6MQ00810-03

© 2019 Nikon Corporation

